Panasonic

アクアハート　Kシリーズ
3方向介助タイプ
2020サイズ

# 取付設置説明書

■施工前にこの取付設置説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
（ポップアップ排水栓取り付けの際、ドリル（キリ先φ8.5）が必要となります。施工前にご用意ください。）
■特に「安全上のご注意」（2〜4ページ）は、施工される前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
■この取付設置説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
■電気工事は関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者」が行なってください。
■裏配管以降の水道配管工事は専門業者にご依頼ください。
■本体や水栓金具、その他機器に付属されている取扱説明書は、お施主様に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。
紛失したり汚れたりしないよう大切に保管し、施工完了後、お施主様または建築工事責任者に直接お渡しいただくか、タオル掛けなど目につく所に取り付けておいてください。
■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

GVN2461S 13.12

# 安全上のご注意 必ずお守りください

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

## ⚠警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

### 全体的なこと

アース線接続

- **アース工事は、電気設備技術基準に関連する法令・規制などに従って、必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事を行う**
  誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

禁　止

- **電気機器の配線に付属部品の固定ねじで傷を付けない**
  傷が付くと、火災や漏電の原因となります。

分解禁止

- **商品の改造や仕様変更は絶対にしない**
  商品の改造や仕様変更は事故の原因となります。

必ず守る

- **本説明書は、バスルームの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。**
  建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
  流通業者（販売店）を通して「本体の取付・設置」を行う場合は、「建設工事部分」と「バスルームの本体取付・設置」を区別して行ってください。
- **電気工事・水道工事は、関連する法令・規制に従って、必ず「有資格者」が行う**
  火災、感電、水漏れの原因となります。
- **開口部のバリ取りは確実に行う**
  バリ取りをしないとけがや水漏れの原因となります。
- **換気扇・照明器・ミラー・握りバー・混合水栓などの付属部品は、取付設置説明書に従い、指定位置に確実に取り付ける**
  思わぬ事故や故障の原因となります。
- **電気接続の際は、使用電線のサイズ、本数と圧着部のサイズとが適切な組み合わせになっていることを確認する**
  また、そのサイズに合った専用工具で締める
  適切な組み合わせになっていなかったり、専用工具以外で締め付けると、火災の原因となります。
- **結線は緩みのないように確実に接続する**
  過熱・火災の原因となります。

### 壁

必ず守る

- **壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う**
  飛び散った切りくずが目に入ってけがをするおそれがあります。

## ⚠注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

### 全体的なこと

禁　止

- **重量物は一人で運ばない**
  一人で運ぶと、けがをするおそれがあります。
- **ねじの締め付け後は、空回りさせない**
  パッキンがねじ切れたり、ねじ山が破損し、締め付け不良や水漏れの原因となります。
- **清掃時に、溶剤（シンナーなど）は使用しない**
  変色･変形やひび割れによる水漏れの原因となります。

必ず守る

- **運搬や取付設置は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う**
  守らないと、けがをするおそれがあります。
- **シーリング材充てんは指定個所に確実に行う**
  確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となったり、補強合板が十分に固定されません。
- **工事に使う溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示に従って正しく使う**
  誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、部品の損傷や劣化の原因になります。
- **専用工具の使用個所では、必ず専用工具を使用する**
  専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。
- **ねじはまっすぐ垂直に締め付ける**
  斜めに締め付けると最後まで締め付けられず、水漏れの原因となります。
- **締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する**
  ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。
- **電気機器は、その機器の定格電圧で使用する**
  定格電圧以外で使用すると事故の原因となります。

# ⚠注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

## エプロン

必ず守る

- **ねじは、必ず手回しドライバーで固定する**
  電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に固定フランジの取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。
- **エプロンせきカバーは正しく取り付ける**
  正しく取り付けないと、エプロンがはまりにくいなどの原因になります。
- **エプロンせきカバー周囲のシーリング材充てんは確実に行う**
  守らないと、水漏れの原因となります。
- **エプロン支持具（ラッチ）は指示どおりに正しく取り付ける**
  正しく取り付けないと、エプロンがはまりにくい、落下するなどの原因となります。

## 床・浴槽

禁　止

- **床や浴槽の端には乗らない**
  バランスを崩して転倒し、けがをするおそれがあります。

## 壁

禁　止

- **目地の再利用は絶対にしない**
  破損や潤滑剤の付着などにより、水漏れの原因となります。

必ず守る

- **シリコンバックアップ材の取り付けを確実に行う**
  水漏れの原因となります。
- **パネルに開口がある場合は必ず裏補強する**
- **開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する**
  裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されず、水漏れのおそれがあります。
- **平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む**
  すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。
- **床ブロックは必ず所定の位置に取り付ける**
  必要な個所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- **コーナージョイナーを取り付けるまで、壁パネルは自立しないので、壁パネルを手で支えておく**
  壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- **コーナー上ブロックは確実にはめる**
  コーナーブロックが外れると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- **壁パネルとジョイナーは、しっかり支えてブロックを取り付ける**
  しっかり支えないと、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- **目地を取り外した後、新しい目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る**
  目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損し、水漏れのおそれがあります。
- **潤滑剤を噴きつけた目地は、たとえ外観に問題のない場合でも、再使用しない**
  目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。

## 浴槽

必ず守る

- **浴槽を据え付ける際に、ポップアップ排水栓のレリースや排水管を破損しないように注意する**
  破損すると、水漏れの原因となります。
- **水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する**
  専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。
- **浴槽バックハンガーは、取り付け指定位置に確実に取り付ける**
  確実に取り付けないと、使用中にはずれたりしてけがの原因となります。

## 浴槽・カウンター

禁　止

- **浴槽やカウンターなどに乗って作業をしない**
  足を滑らせ、けがをするおそれがあります。

## 天井

必ず守る

- **シーリング材充てんは天井パネル連結部に合わせて確実に行う**
  確実に施されていないと、水漏れの原因となります。
- **天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する**
  落下し、けがや破損のおそれがあります。
- **クリップピンは、結束バンドで確実に固定する**
  ルーバーが落下し、けがをするおそれがあります。

## 壁・床

必ず守る

- **壁・床などのシーリング材充てんは、シーリング材で確実に行う**
  水漏れにより家財を汚したり腐らせる原因となります。
- **壁下パッキンは、水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける**
  守らないと、水漏れの原因となります。

## ミラー

禁　止

- **鏡の落下防止金具の解体は絶対にしない**
  落下して、けがをするおそれがあります。

必ず守る

- **鏡裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがす**
  はがさないと、鏡が落下してけがをするおそれがあります。
- **ミラー受け具は確実に固定する**
  ずれていたり曲がっていると、鏡が落下してけがをするおそれがあります。

## 混合水栓

禁　止

- **メンテナンスカバーを踏まない**
  メンテナンスカバーが破損して、水漏れの原因となります。

必ず守る

- **混合水栓は、ニップルにシールテープを7～8回巻いてねじ接続する**
  シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。

# ⚠注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

## 配管・混合水栓

禁止

- **配管は急角度に曲げない**
  配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。

必ず守る

- **排水管の接続は、排水トラップと浴槽排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む**
  守らないと、水漏れの原因となります。
- **締め付けリングのねじ固定は水平の位置で固定する**
  水平位置で固定をしないと、キリ加工時に配管を傷つけ、水漏れの原因となります。
- **排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む**
  守らないと、水漏れの原因となります。
- **給水・給湯管、排水管、混合水栓は確実に接続する**
  確実に接続しないと、水漏れの原因となります。
- **パッキン類がよじれないようにナットを締め付ける**
  パッキン類がよじれると、水漏れの原因となります。

## 洗い場床パン

禁止

- **床パンコーナー部のパッキンは、重ねばりしない**
  壁パネルと壁パネルの目地高さなどが合わなくなります。

必ず守る

- **パッキンは床パンの指定位置に合わせて、確実にはり付ける**
  確実にはり付けないと、水漏れの原因となります。

## 排水トラップ

禁止

- **排水トラップを締め付ける際にトラップ締付工具の下端でトラップ底を傷付けない**
  トラップが割れると、水漏れの原因となります。
- **トラップのねじ込み部分およびUパッキンには、シーリング材を使用しない**
  トラップやＵパッキンが変形し、水漏れの原因となります。

必ず守る

- **排水トラップのUパッキンは、正しい向きで取り付ける**
  守らないと、水漏れするおそれがあります。

## 握りバー

必ず守る

- **握りバーの裏補強は確実に行う**
  確実に行わないと、落下事故の原因となります。
- **握りバーの取付座は正しい向きに取り付ける**
  握りバーが外れて、けがの原因となります。
- **握りバーの受け具は正しい向きに取り付ける**
  握りバーが外れて、けがの原因となります。

## 照明器具

必ず守る

- **照明カバーは確実に取り付ける**
  守らないと落下し、けがをするおそれがあります。

## ドア

禁止

- **ターンナットは重量物を固定しない**
  落下によるけがの原因になります。

必ず守る

- **下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを確認する**
  パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。
- **外したドアは、上下逆さにして縦置きする**
  ドアの下部・縦部のエアタイト材（パッキン）が損傷すると、水漏れの原因となります。
- **ドア下枠と床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける**
  すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。
- **ドア横小壁は、床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける**
  すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。
- **ドアの下枠は必ず水平になるよう取り付ける**
  傾きがあると、水漏れや走行不良の原因となります。

## 浴槽パン

禁止

- **シーリング材を架橋ポリエチレン管に付着させない**
  シーリング材の成分が架橋ポリエチレン管を侵食してひび割れし、水漏れの原因となります。
- **点検口ふたを踏まない**
  点検口ふたが破損して、水漏れの原因となります。

必ず守る

- **浴槽床パンの上で作業したり、脚立などを置く際は、開口・凹凸部に注意する**
  足を踏み外したり、脚立が倒れてけがをするおそれがあります。
- **先行シーリングは確実に行う**
  守らないと、水漏れの原因となります。
- **防水テープの接着面は汚さない。汚した場合はリグロインで拭き取る**
  守らないと、テープの接着が弱くなり、水漏れの原因となります。
- **防水テープはしわにならないようにはり付ける。はり付け後はテープ全面を押さえつけて、接着面に空気だまりなどないようにする**
  守らないと、テープの接着が弱くなり、水漏れの原因となります。
- **アジャスターキャップなどにがたつきのないことを確認する**
  確実に取り付けないと、水漏れの原因となります。

# もくじ


安全上のご注意 …… 2
もくじ …… 5
施工手順 …… 6
部材搬入・間配り～部材チェック …… 8

## 1 床の据え付け…… 9

ユニット墨出し …… 9
引戸専用トラップの取り付け／
ドア下排水管の接続 ……10
ドア下排水管固定金具の取り付け
（B勝手の場合のみ） ……11
雑排水管の取り付け　スラブコロガシ配管 ……12
フロート本体の取り付け ……13
水張りテスト ……15
雑排水支持固定金具の取り付け ……16
アジャスターボルト位置図 ……17
床レベル調整 ……18
床据え付け高さとアジャスターボルトの確認 ……19
床点検口の取り付け ……20

## 2 壁パネルの前加工……21

壁加工の注意事項／
照明コードプロテクターの取り付け ……21
照明の取り付け／シーリング ……22
水栓固定金具の取り付け／
壁掛けハンガーの取り付け ……23
握りバーの取り付け／
握りバー補強プレートの取り付け ……24
床フランジ部へのパッキン貼り付け ……25

## 3 壁パネルの建て込み……26

床ブロック配置図／壁パネル組み立て順序 ……26
壁パネルの建て込み ……27
壁パネルコーナージョイント ……28
壁パネル平部ジョイント ……30
ドア横ジョイナーの取り付け ……32

## 4 ドア枠の取り付け……33

付属部品一覧 ……33
引手の取り付け ……34
穴隠し用キャップの取り付け ……35
枠の組み立て ……36
下枠止水テープの貼り付け ……37
ドア下のシリコンシーリング ……38
枠の取り付け ……39

## 5 天井の取り付け……40

天井養生フィルムの取り外し／
ジョイントボックスの取り付け ……40
天井パネル固定順序 ……41
壁パネル目地の打ち込み ……43
天井廻し縁の打ち込み／シリコンシーリング ……45

## 6 最終作業……46

躯体チェック／床固定 ……46
浴槽バックハンガーの取り付け ……47
サイドエプロンの取り付け ……48
フロート弁付き目皿の前加工／
排水パッキンの取り付け・浴槽の据え付け ……51
ポップアップ排水栓の取り付け ……53
フロート弁の取り付け／
エプロン支持具の取り付け ……55
浴槽補強金具の取り付け ……56
シリコンシーリング（浴槽周り） ……58
エプロンの取り付け ……59
エプロンの高さ調整 ……60
エプロンの調整／排水口蓋の取り付け ……61
ドア周り仕上げ
（W1600サイズ3枚引き戸の場合） ……62
ドアの吊り込み ……64
ドアの戸車調整 ……65
ドアの軸受け調整／
引手付および固定障子の固定 ……66
錠部ツマミの取り付け／
錠の交換方法（参考） ……67
縦型鏡の取り付け ……68
器具取り付け用穴あけ／タオル掛け（オプション）・
シャワーフック（混合水栓）の取り付け ……69
小物トレイの取り付け／
座シャワー：補強金具の取り付け／
洗面器置き台の取り付け ……70
混合水栓の取り付け／水栓エルボの取り付け ……71
シリコンシーリング ……72
断熱材、防音材をご使用の場合の施工上のご注意／
通水（排水）チェック ……73
点検口取り付け／清掃仕上げ ……74
乾式目地の取り外し方 ……75
ビスセット ……76
施工に必要な工具 ……77
施工後のチェック ……裏表紙

# 施工手順

※現場状況および納まりにより
施工順序が変わる場合があります。
事前に打合せ調整により決定して
ください。

施工図確認

現場打合せ

墨出し

部材搬入

部材チェック

アジャスターボルト
の取り付け

引き戸用トラップの取り付け
雑排水管取り付け

スラブコロガシ配管

フロート本体の取り付け

水張りテスト

床レベル調整・位置出し

壁パネルの前加工

照明コードプロテクターの取り付け

エクセレント照明の取り付け

シーリング

水栓固定金具の取り付け

壁掛けハンガーの取り付け

握りバー補強プレートの取り付け

握りバーの取り付け

浴槽バックハンガーの取り付け

床フランジ部への
パッキン貼り付け

壁パネルの建て込み

床ブロックの取り付け

壁パネルの建て込み

壁パネルコーナージョイント

壁パネル平部ジョイント

ドア横ジョイナーの取り付け

3枚引き戸の取り付け

ジョイントボックス
の取り付け

天井の取り付け

躯体チェック

壁パネル目地の打ち込み

天井廻し縁の打ち込み

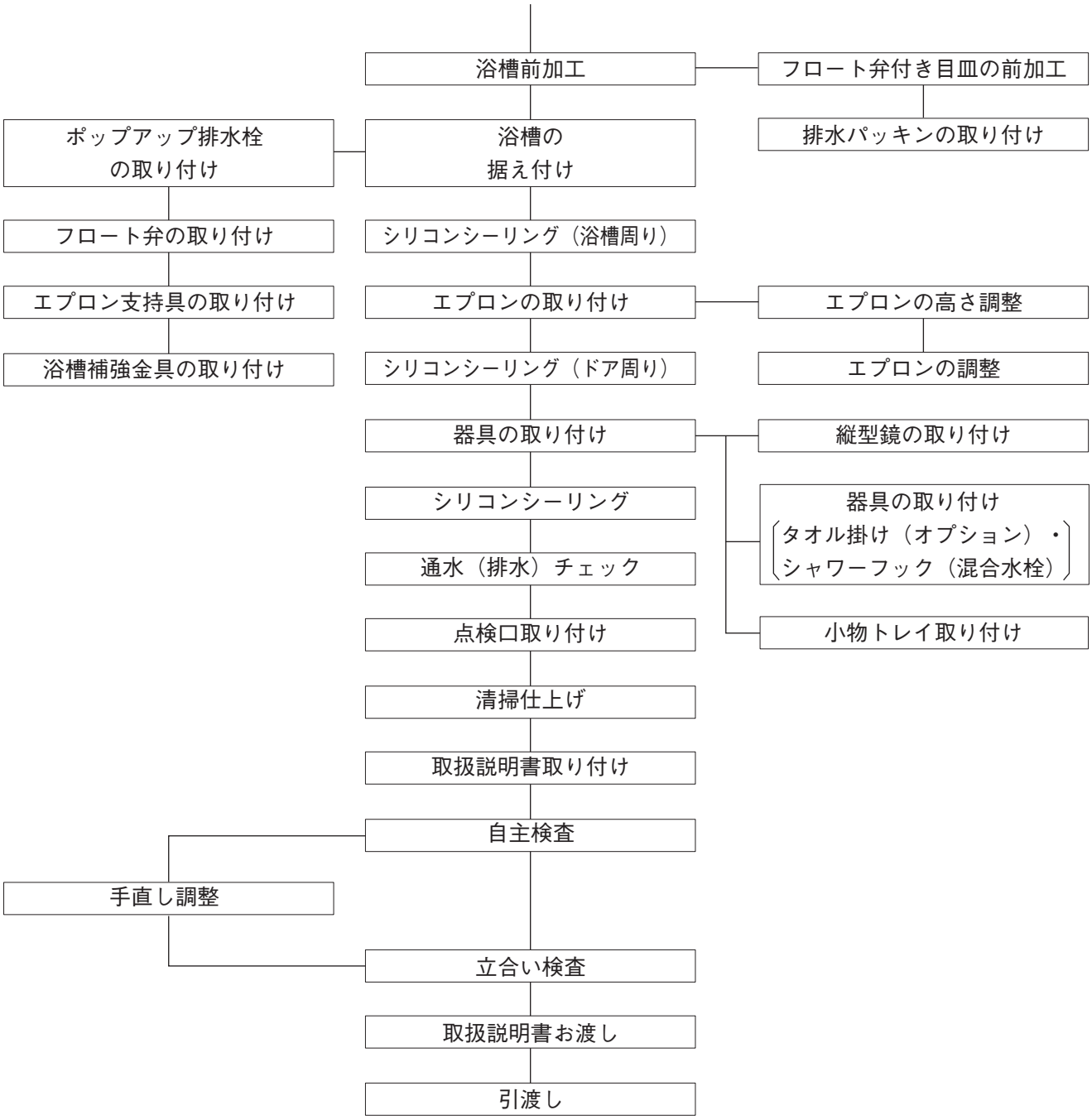
シリコンシーリング

床固定

床点検口の取り付け

サイドエプロンの取り付け

釜接続工事（設備工事と連携）



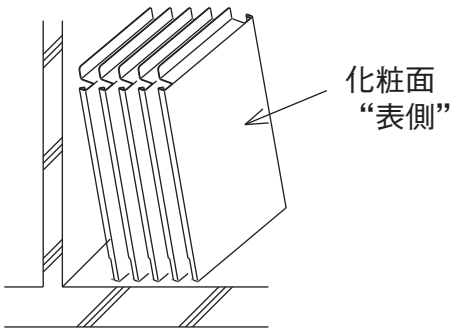

※施工に必要な工具については、77ページをご覧ください。

# 部材搬入・間配り～部材チェック

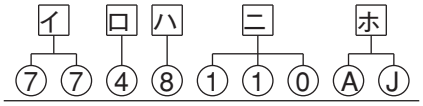
## 1　部材搬入～間配り

① 部材の搬入は事前に打合せ、確認した“時間”“方法”で行なってください。
◆仮置場所（ストックヤード）は他の作業を防げ、損傷、雨水、溶接火花などに注意してください。
◆揚重機の運転操作が必要な場合は必ず有資格者が行なってください。

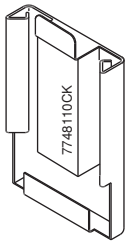
② 壁パネルの間配りは“施工図”又は“壁パネル配置図”で品番（配置番号）を確認して行なってください。
◆積み降し～持ち運びは化粧面にスリ傷をつけないように、ずらしたり、すべらしたりしないでください。
◆化粧面を内側にして持ち運びしてください。
◆化粧面を表側にそろえて仮置してください。



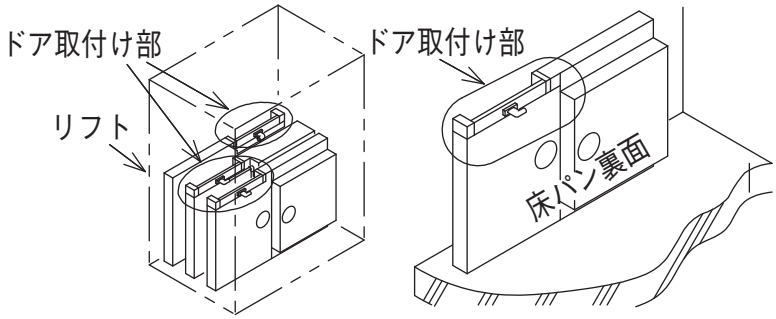

＜品番の表示位置と見方＞
・壁パネル“裏面”に表示



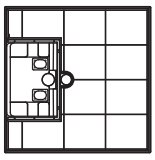

イ :壁パネル全高:1978mm
ロ :壁　材　質　:4.eパネル目地無し
5.eパネル目地有り
ハ :壁パネル全幅:
ニ :“施工図”または”壁パネル配置図”で
品番（配置図番号）を確認してください。
ホ :壁　　柄:（例）　CK＝ビアンコマーブル



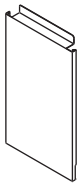

③ 床パン揚上リフトの積み込み・建て掛けの注意。
◆ドア取り付け部（アルミ部材側）を必ず上側にし
床の積み込み・建て掛けを行なってください。




④ 主要部材の重量は下表の通りです。揚重～間配り作業の基準にしてください。

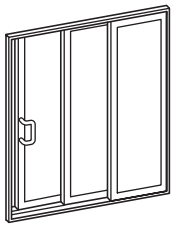


床パン
2020≒110kg／台

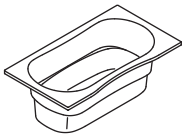


eパネル
max≒22kg／枚
（11kg／m²）

15kg／枚
（4枚割り）



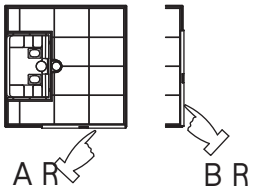
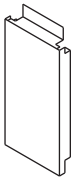
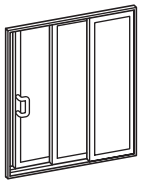
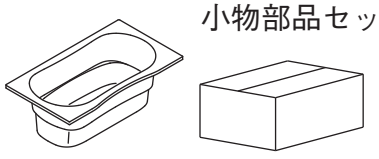
3枚引き戸
≒26kg／セット



バスタブ
≒20kg／台

## 2　部材チェック

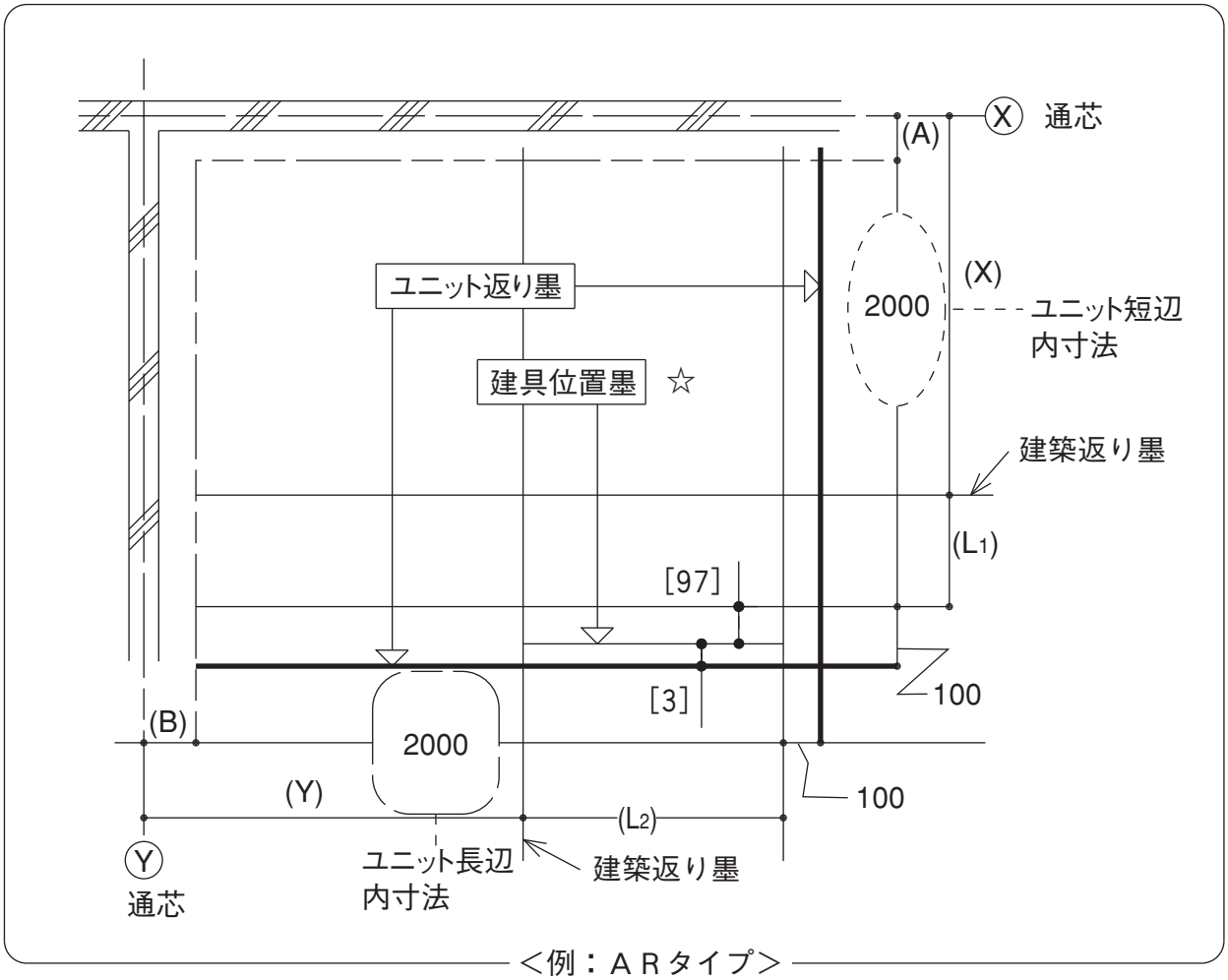
各部材の員数確認と種類（タイプ）を出荷明細表（品番：数量）で照合してください。

| 床　パ　ン | 壁（天井）パネル | 建　具 | 器具・アクセサリー |
|---|---|---|---|
|  |  |  | 小物部品セット<br>  |
| ・建具取付部（勝手）<br>〜<br>・R・L　→　台数 | ・ユニットタイプ（勝手）<br>〜<br>・配置番号 → 枚数 | ・本　　数 | ・必要個数<br>R・L勝手のあるものは個数とあわせて確認してください。 |

# 1　床の据え付け

## ユニット墨出し

建築平面図面及びユニット納まり図面に基づきユニット墨出しを行なってください。




＜例：ＡＲタイプ＞

(X)、(Y)：建築返り墨の寸法
(A)、(B)：通芯からユニット内寸までの寸法（施工図を参照）
(L1)、(L2)：建築返り墨からユニット内寸までの追い寸法

ユニット返り墨は床位置出し確認時の間違い防止の為、区切りの良い寸法（例:100）を用いてください。

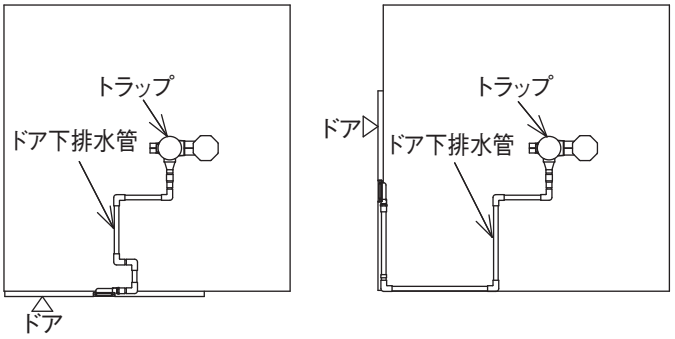
☆　建具位置墨はドア枠の位置寸法確認時の最終的な重要寸法です。特に注意して墨出しを行なってください。

| 点　検　項　目 | 基　　準 | 点　検　方　法 |
|---|---|---|
| 1．墨出し基準寸法 | 納まり寸法<br>建築返り墨 | 施工図と照合<br>建築会社に確認 |
| 2．墨出し面清掃 | | 目　視 |

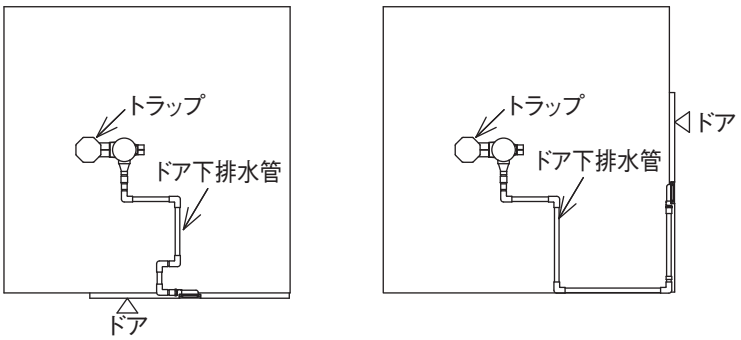
# 引戸専用トラップの取り付け

・トラップ及び、次工程のドア下排水管は、床パン据え付け前に取り付けてください。
・トラップにR勝手・L勝手用がありますので注意してください。
・トラップ取り付けは、通常のトラップ同様に取り付けてください。
・ドア勝手による、ドア下排水管経路に注意してください。

R勝手　＜浴槽裏面図＞

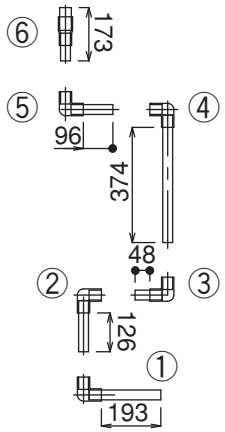



L勝手　＜浴槽裏面図＞

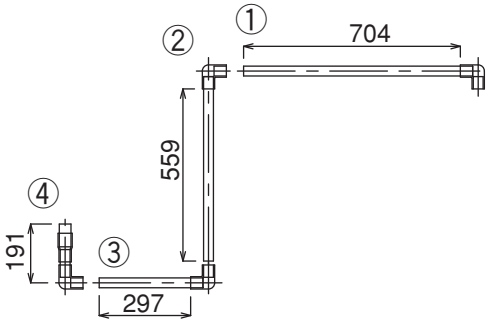



＜ドア下排水管寸法図＞

A勝手




B勝手

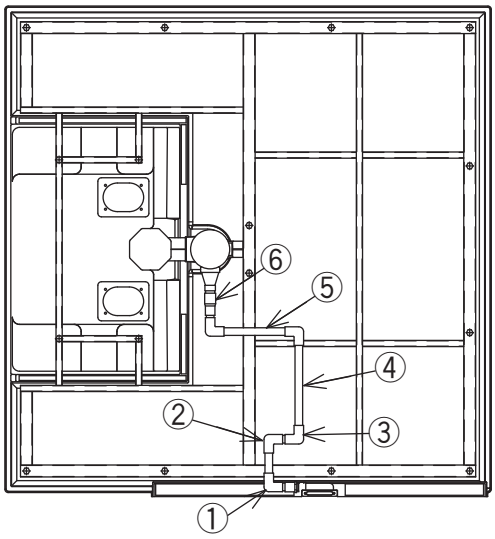



注）トラップに付属のチラシでは施工しないでください。

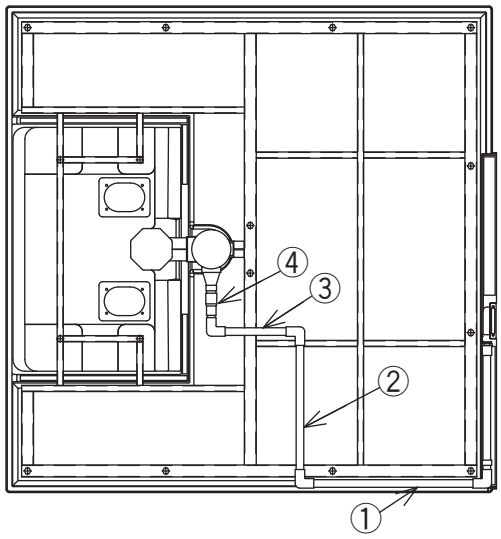
# ドア下排水管の接続

・ドア下排水管部材の確認

A勝手の場合

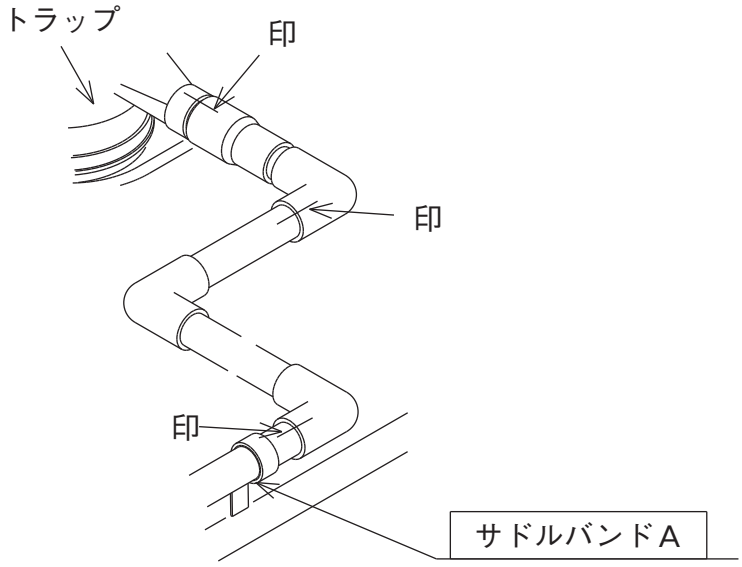



B勝手の場合

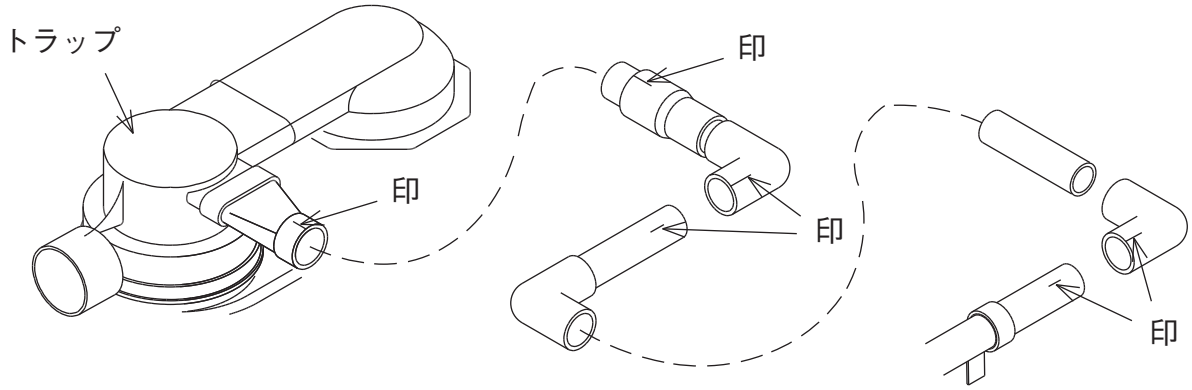


（1）ドア排水管セットを仮組みし勾配を決め、接続する排水管に
印を付けてください。（逆勾配でないことを確認してください）

（必要な場合は、サドルバンドAを取り外し、排水管接続後に確実に取り付けてください）

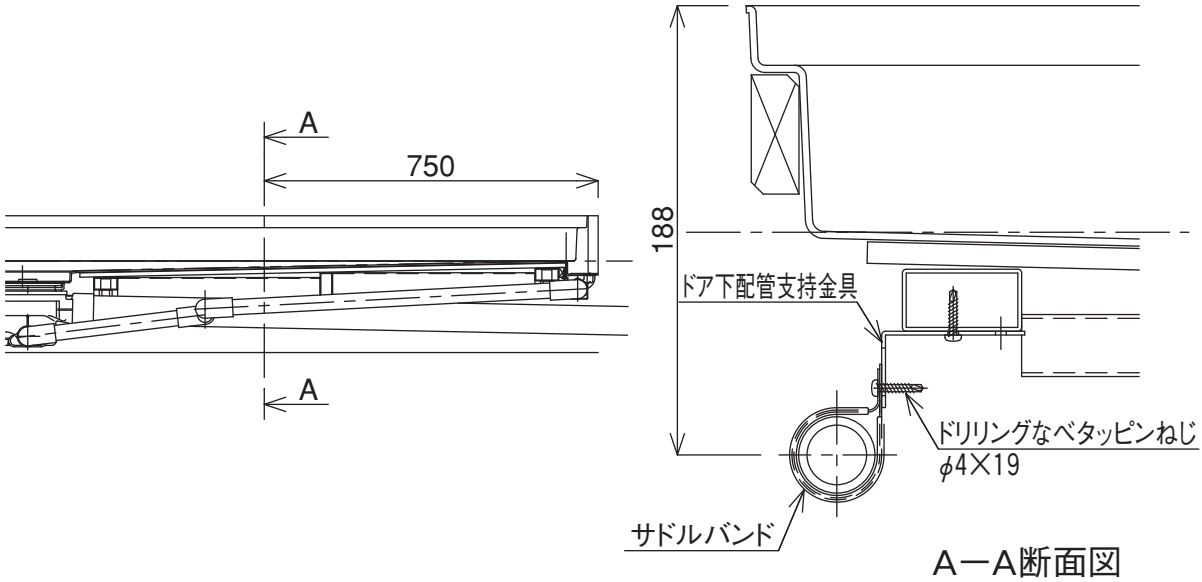



（2）ドア排水管セットを接着剤で接続してください。
（仮組み時に付けた印が合うように接続する）




## ドア下排水管固定金具の取り付け（B勝手の場合のみ）

B勝手の場合のみ指定の箇所にドア下排水管支持を取り付けてください。



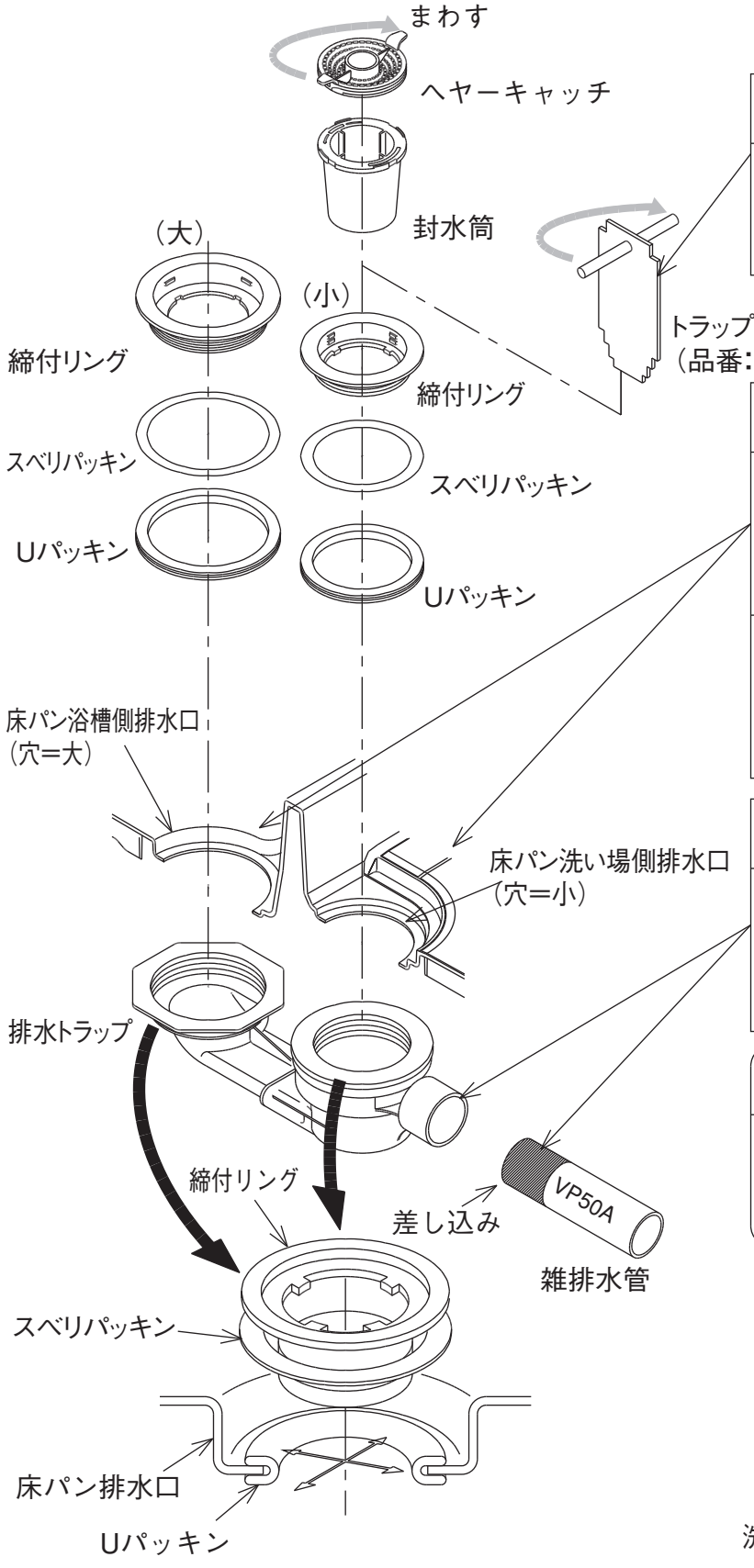

A－A断面図

# 雑排水管の取り付け　スラブコロガシ配管

・床パンにトラップを取り付けてください。

※三方壁などで外側からアジャスターボルトの調整ができない場合はアジャスターボルト調整後に取り付けてください。

◆トラップ取り付け穴の大きさが、浴槽側（大）・洗い場側（小）と違うので注意する。




**⚠注意**

必ず守る
・必ず専用工具を使用してください。
（専用工具を使用しないと、部材等が破損し水もれの原因となります。）

**⚠注意**

必ず守る
・トラップ取り付けの際、Uパッキン（2カ所）をしっかりと取り付けてください。
（Uパッキンをしっかり取り付けないと、水もれの原因となります。）

禁　止
・トラップのねじ込み部分及びUパッキンにはシーリング材を使用しないでください。
（トラップやUパッキンが変形し、水もれの原因となります。）

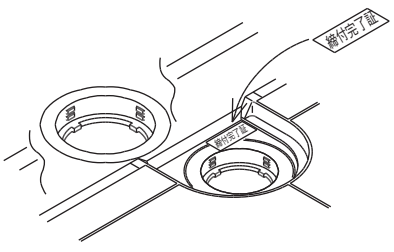
**⚠注意**

必ず守る
・トラップ差し込み口及び雑排水管差し込み部に塩ビ接着剤を全周塗布してください。
（全週塗布しないと、水もれの原因となります。）

## 施工のポイント

・Uパッキンを取り付ける際、矢印のように外側へ押し広げて取り付けてください。
（締付リングが入りにくい場合があります。）

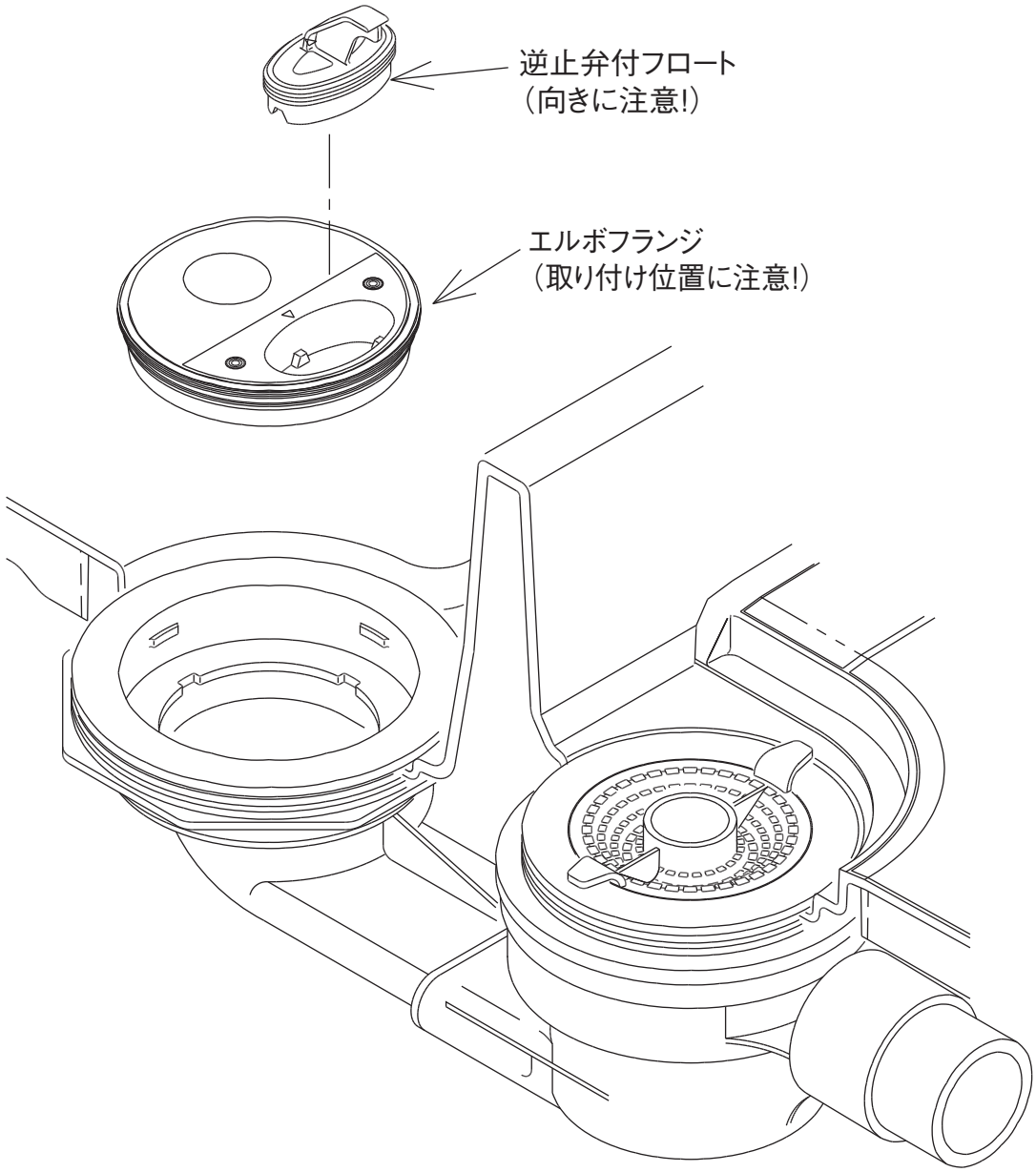
締付完了シール




洗い場側排水トラップに付属の締付完了シールを貼る。

# フロート本体の取り付け

・逆止弁付フロートを、エルボフランジに取り付けてください。
・エルボフランジをトラップに取り付けてください。
★床パン側のエルボフランジの取り付け方向を指示するマーキングと逆止弁付フロートのツマミ位置を合わせる。
★エルボフランジを力強く押し込む。（トラップのフランジより５ｍｍ程度押し込む）



## ⚠注意

必ず守る

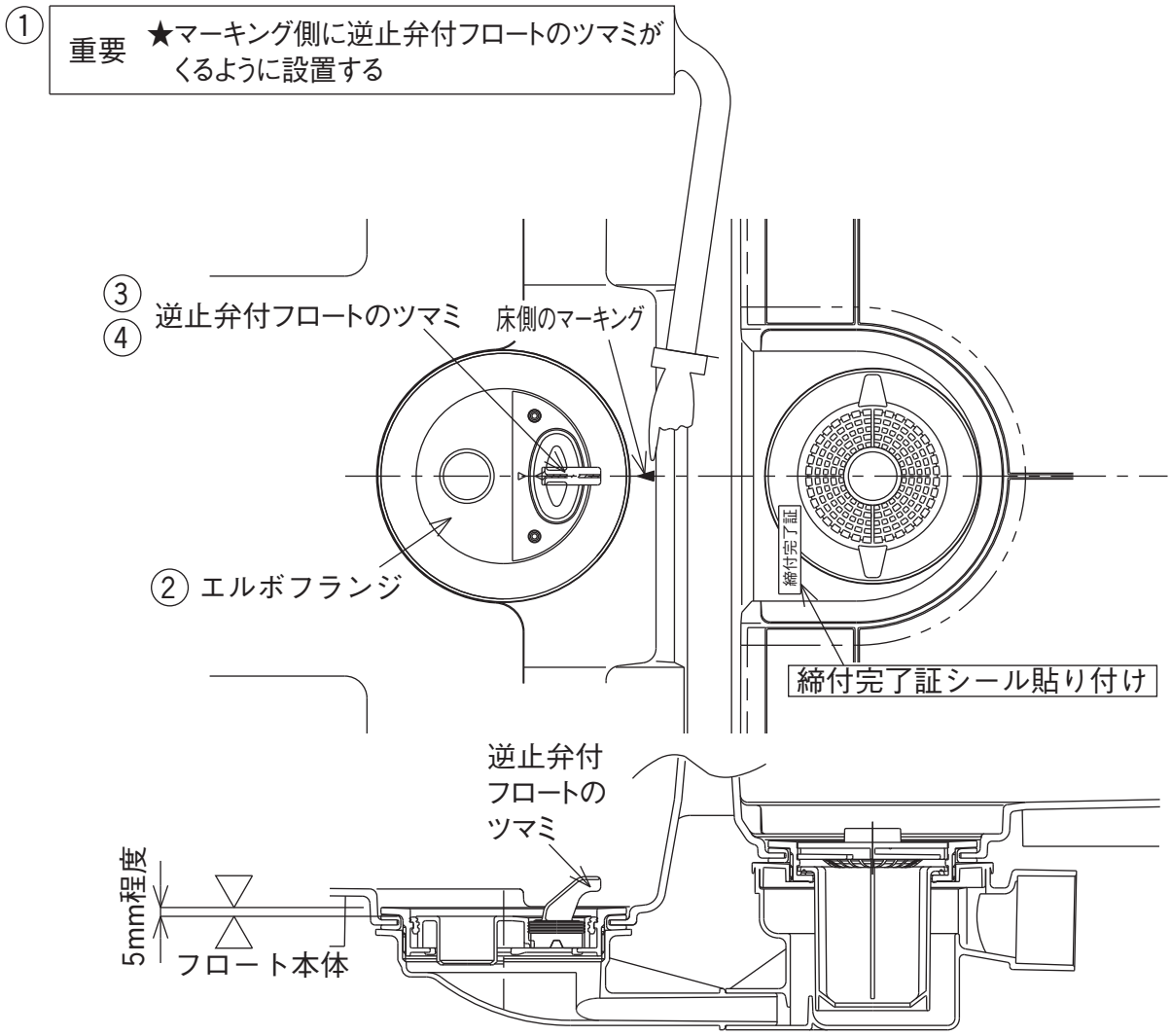
① エルボフランジの位置を、床パン側のマーキングに合わせてください。
（位置を合わせないと、浴槽設置後、浴槽排水口とトラップ排水口の穴がずれ、浴槽排水時に床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。）

② エルボフランジを確実にトラップのフランジに押し込んでください。
（確実に押し込まないと、浴槽設置時に、槽排水栓部との干渉や、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水がドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。）

③ 逆止弁付フロートにゴミ詰まりが無き事を確認してください。
（ゴミ詰まりがあると、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。）

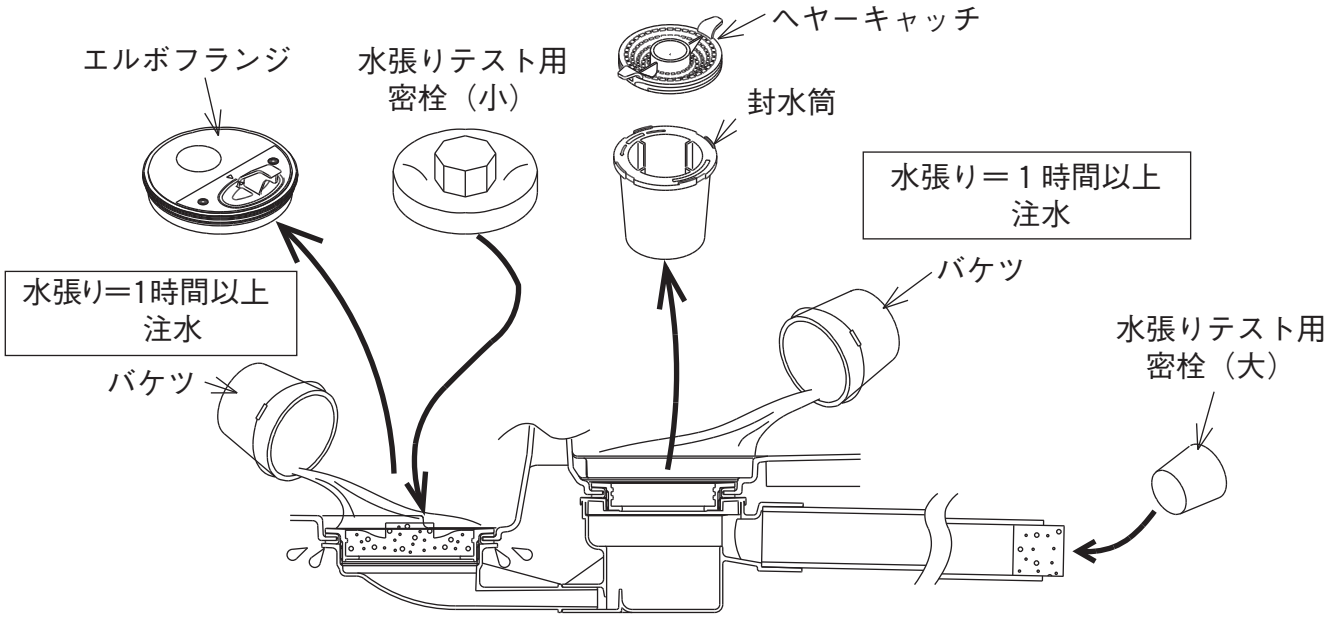
④ 逆止弁フロートを確実にエルボフランジに押し込んでください。
（確実に押し込まないと、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。）

★トラップ締め付け後に、締付完了証 シールを貼り付けてください。



# 水張りテスト

★ヘヤーキャッチ、封水筒、エルボフランジをはずして密栓を取り付け、水張りテストを行ない水もれのないことを確認してください。
★再度エルボフランジを取り付ける場合、取り付け方向などに注意してください。



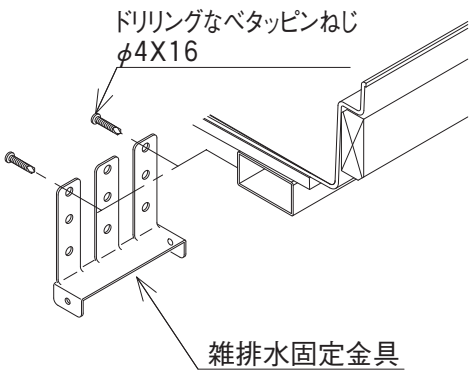

・水張り時間、方法、場所などの詳細は件名ごとに打ち合わせ、決定してください。

| ⚠注意 | |
|---|---|
| 必ず守る | ・エルボフランジの位置を、床パン側のマーキングに合わせてください。<br>（位置を合わせないと、浴槽設置後、浴槽排水口とトラップ排水口の穴がずれ、浴槽排水時に床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。）<br>・エルボフランジを確実にトラップのフランジに押し込んでください。<br>（確実に押し込まないと、浴槽設置時に、槽排水栓部との干渉や、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水がドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。） |

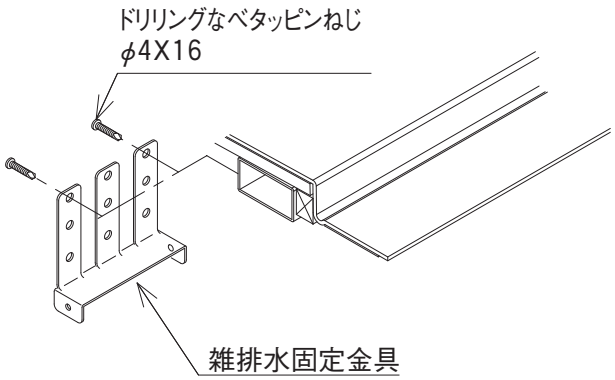
# 雑排水支持固定金具の取り付け

① 雑排水支持固定金具を取り付ける。
（取り付けねじは、固定金具セットに付属）

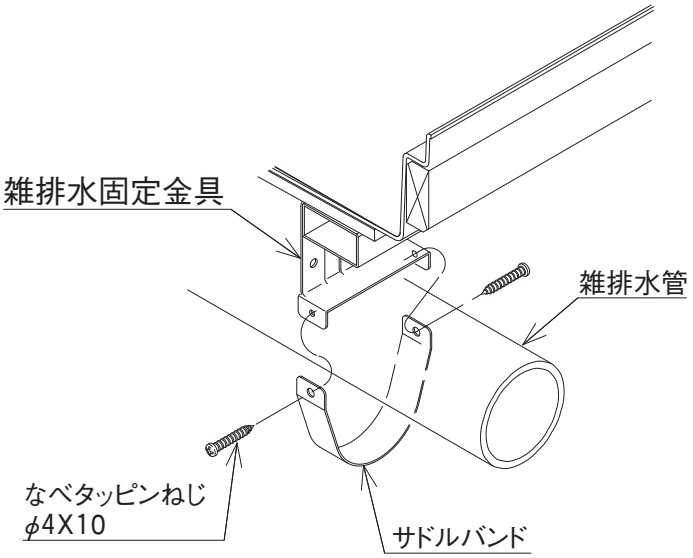
雑排水管がドア下を通過する時




雑排水管がドア下を通過しない時

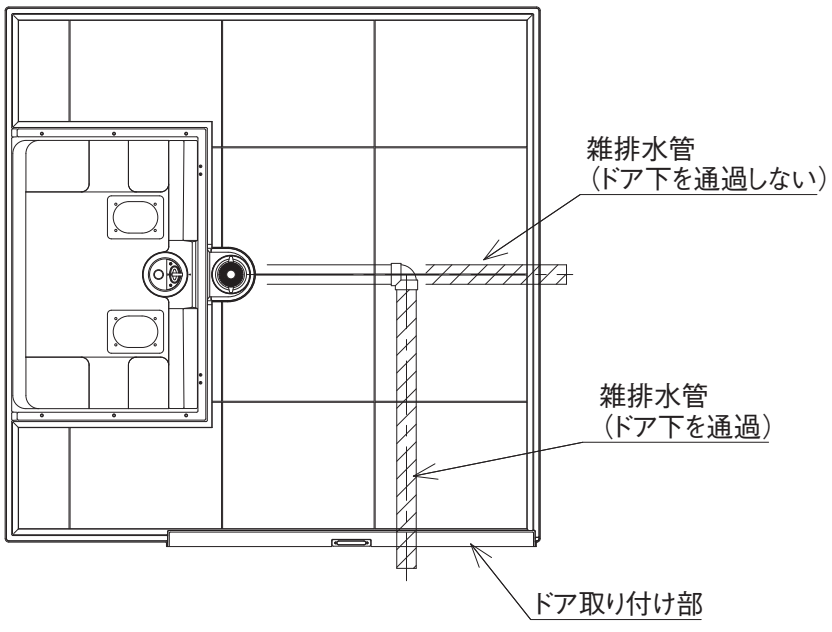



② 雑排水管をサドルバンドで固定する。




## 施工のポイント

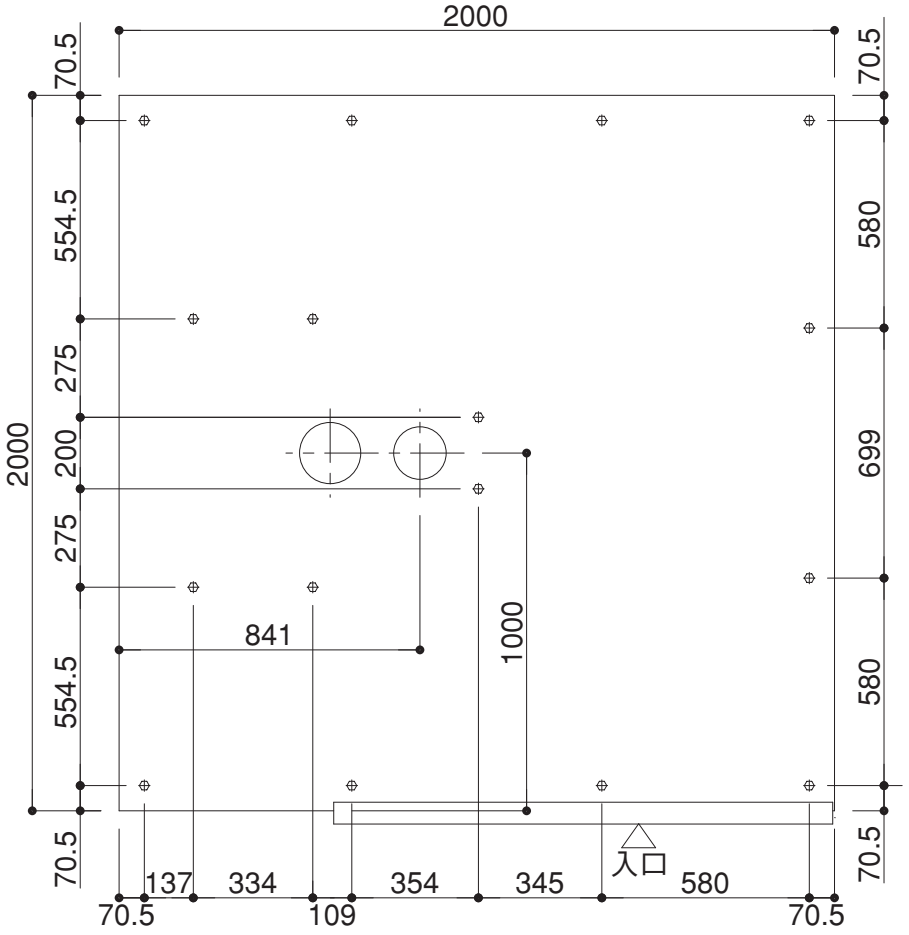
・雑排水管の勾配は必ず1'10"（1.17°）
を確保してください。
（排水管の勾配を確保しないと
排水に支障が出ます。）



# アジャスターボルト位置図

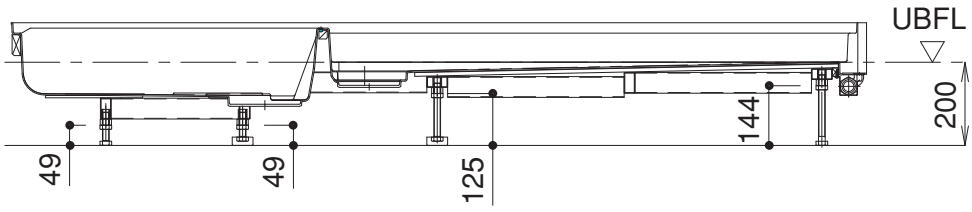
＊本図はＡＲ勝手・ＢＲ勝手共通です。（本図の入口位置はＡＲ勝手を示す。）
＊本図はＲ勝手を示し、Ｌ勝手は本図と対称です。

## 2020

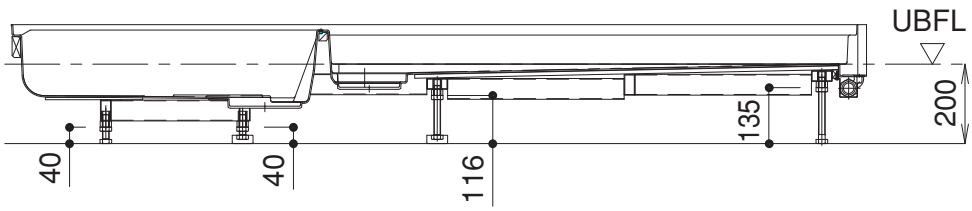



＜アジャスターボルト目安寸法図＞

【アジャスターボルト品番：ＶＡＧＶＡＹ６１５１の場合ボルト長さ参考図】




【アジャスターボルト品番：ＶＡＧＶＡＹ６１５の場合ボルト長さ参考図】




※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて施工してください。

# 床レベル調整

## 施工のポイント

・床レベル～位置出しの～基準となる陸墨、ユニット返り墨は事前に必ず確認してください。
あわせて施工図の収まり寸法も確認してください。
（確認せずに施工すると、建築仕上げが出来なくなるおそれがあります。）

手順1　陸墨を墨基準としてレベルの設置高さ寸法 (B) を測定してください。

手順2　レベル出し基準面から、レベルの設置高さの寸法:4点（(X1) (X2) (X3) (X4)）を測定し、アジャスターボルトで高さを調整してしてください。

| 高さ調整の計算式 | 測定値： (X1) ＝ (X2) ＝ (X3) ＝ (X4) ＝ A ＋ B － (H) |
|---|---|

### (H) 寸法の求め方

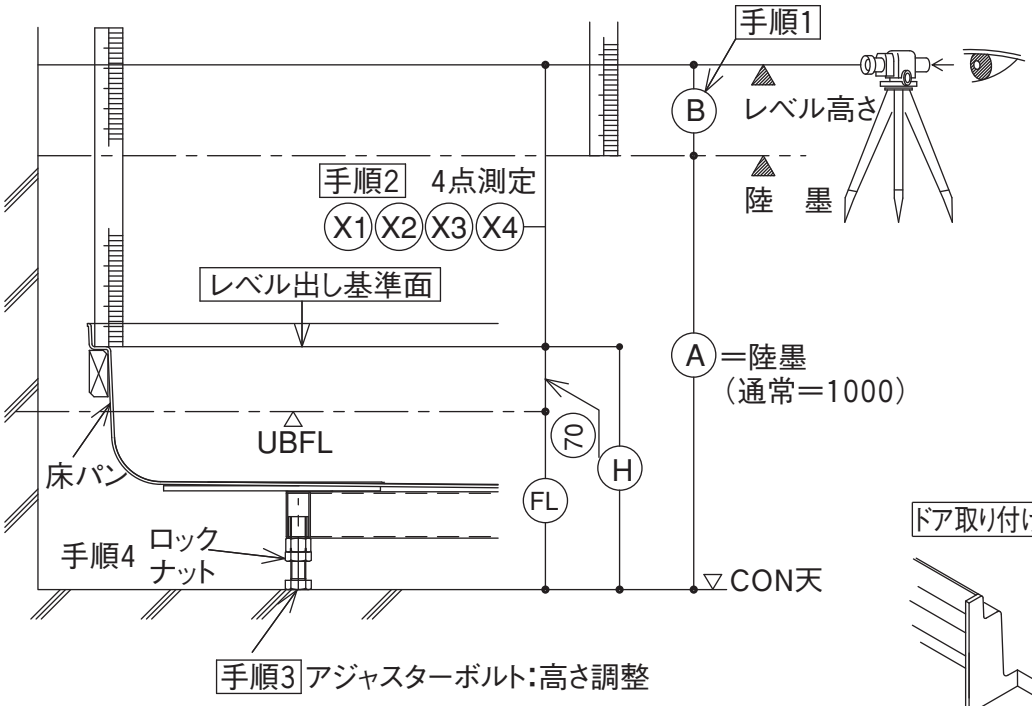
(H) ＝ (FL) ＋ (70)

ユニットFL

レベル出し基準面の高さ寸法

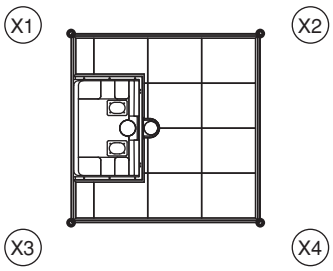
手順3　アジャスターボルト:（ハンドレイ床：16点）支持、全数の調整後再度レベルを確認してください。

手順4　ロックナットを固定してください。〈床の洗い場側中央部の4本のアジャスターボルト（ゴムキャップ付きもしくはゴム板敷き）のロックは床固定のときに行ないます。〉

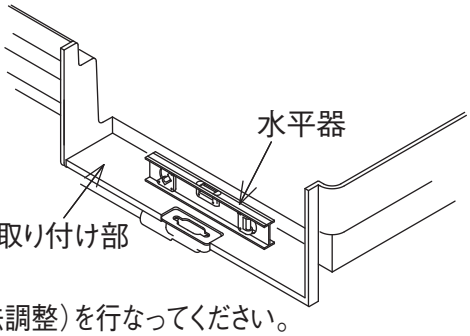



## お願い

・床パンに貼り付けた養生フィルムは、施工引き渡し直前まで外さないようお願いします。

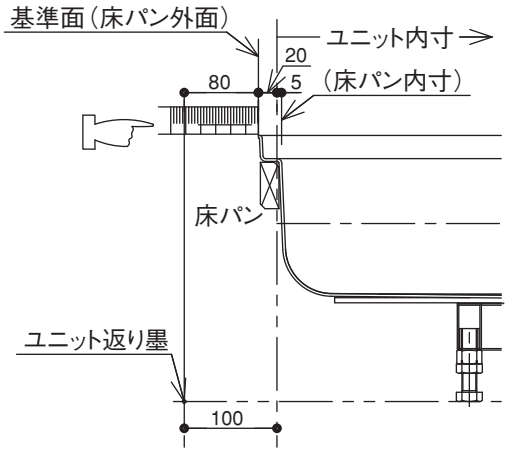


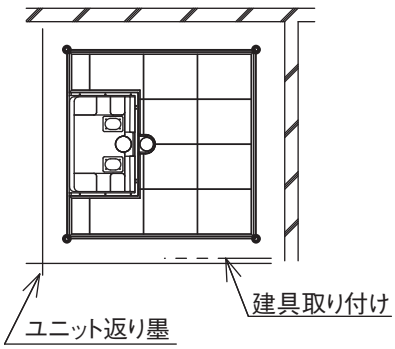

ドア取り付け部の左右のレベルを確認ください。




# 位置出し

床パン外面を基準にユニット返り墨までの位置出し（寸法調整）を行なってください。



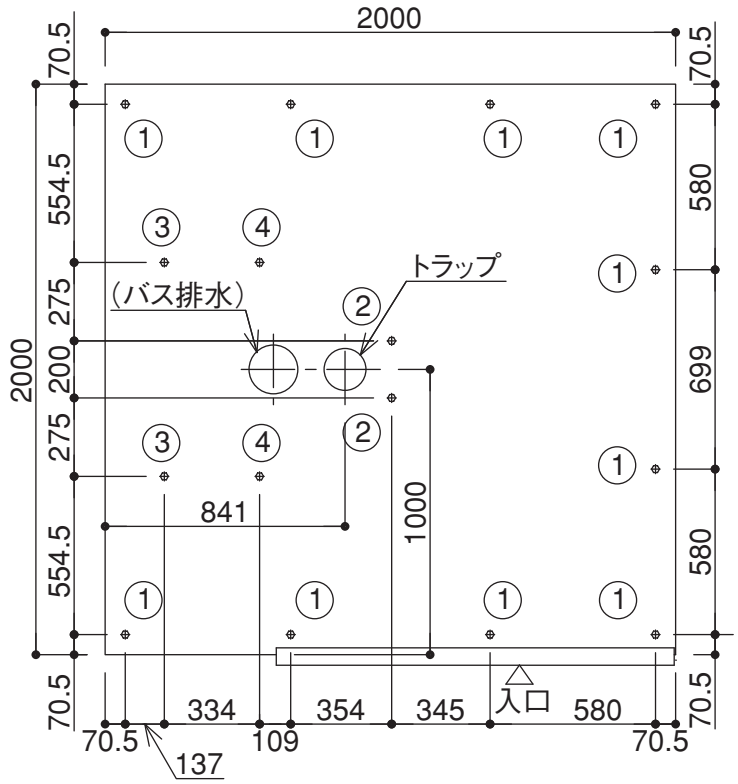




＊　位置出しは、長辺、短辺の二面で行ない、位置出し後、建具取り出し部の位置出しを最終確認してください。

# 床据え付け高さとアジャスターボルトの確認

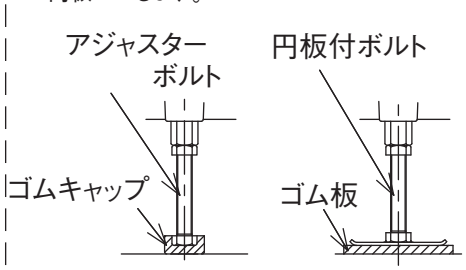
1．アジャスターボルトの長さを確認し床に取り付ける。

| | | アジャスターボルト据え付け寸法 | 取り付け参考寸法 | 品　番 | ボルト長さ（L）と本数／1室 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施工図より床据え付け高さ（ユニットFL）を求める<br><br>UBFL=200mm<br>（沓づり高さ＝203㎜） | 【2020】 | FL+200 | 下図参照 | GVAY615 | ①L＝160:10本<br>②L＝130:2本<br>③L＝ 70:2本<br>④L＝ 60:2本 | 計16本<br>（ナット付き） |
| | | | | GVAY6151 | ①L＝170:10本<br>②L＝140:2本<br>③L＝ 80:2本<br>④L＝ 70:2本 | 計16本<br>（ナット付き） |




※本図はＲ勝手にて示し、Ｌ勝手は対称とする。

※木造用の場合は、アジャスターボルト先端に円板がつきます。



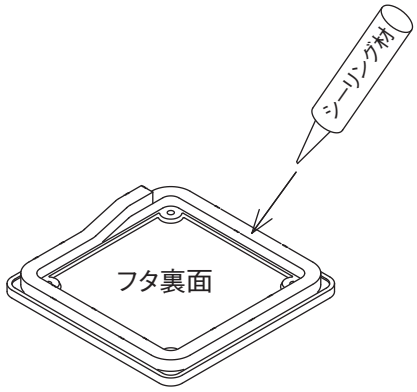

＜コンクリート用＞　＜木造用＞

2.周囲12本は床据え付け時にレベル調整し、②と④のアジャスターボルトは壁・天井組み立て後の床固定のときに調整する。
（②と④のアジャスターボルトがカタカタと床鳴りしないようにしてください）

| 点　検　項　目 | 基　　準 | 点検方法 |
|---|---|---|
| 1．アジャスターボルトの本数 | １６本 | 目　　視 |
| 2．ナットの取り付け（有無） | 各ボルトに１ケ | 目　　視 |
| 3．アジャスターボルトの取り付け寸法 | 取り付け参考寸法 | スケール |
| 4．②と④アジャスターボルトに<br>ゴムキャップ又はゴム板の取り付け<br>（取り付けないと床鳴りの原因になります。） | 中央アジャスターボルト4本 | 目　　視 |

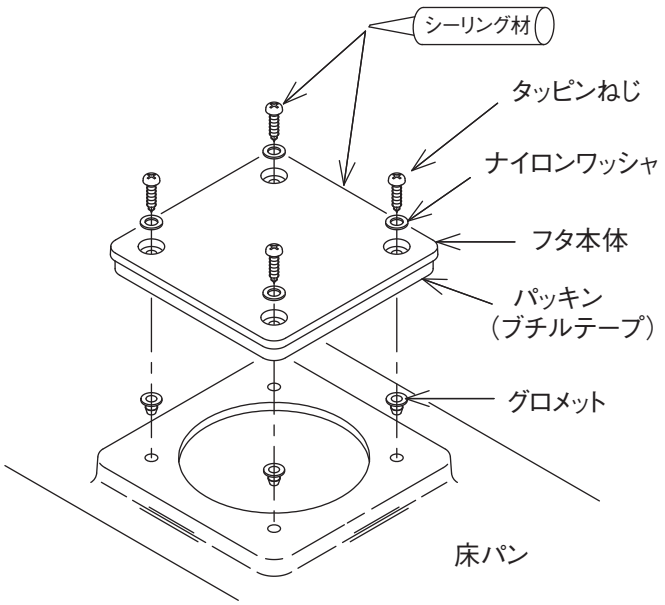
# 床点検口の取り付け

① フタの取り付けまえにパッキン上にシーリング材を塗布しておく。




② 床パンにグロメットを挿入する。

③ フタを床パンに固定後、フタの周囲とねじ頭部分を必ずシリコンシーリングする。
＜シーリング材は切れ目なく、多目に塗布してください。＞



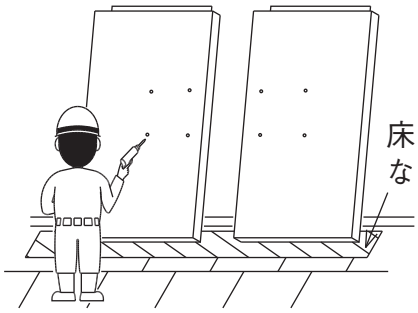

| ⚠注意 | |
|---|---|
| 必ず守る | ・点検口取り付け部分は事前によく清掃してください。<br>（清掃しないと水もれの原因となります。）<br>・点検口周囲・ネジ頭部にはシリコンシーリングをしてください。<br>（シリコンシーリングしないと、水もれの原因となります。） |

# 2　壁パネルの前加工

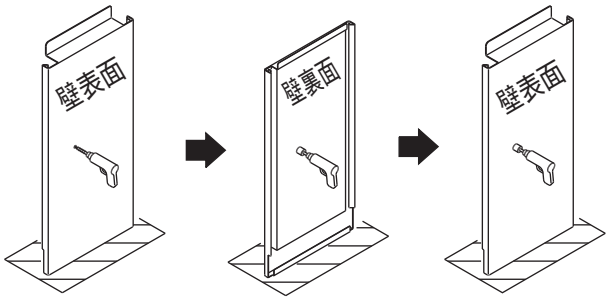
## 壁加工の注意事項

・壁加工は、下記の事に注意して加工願います。
（壁加工時に発生する鉄粉により、もらい錆び、擦り傷などの防止の為）

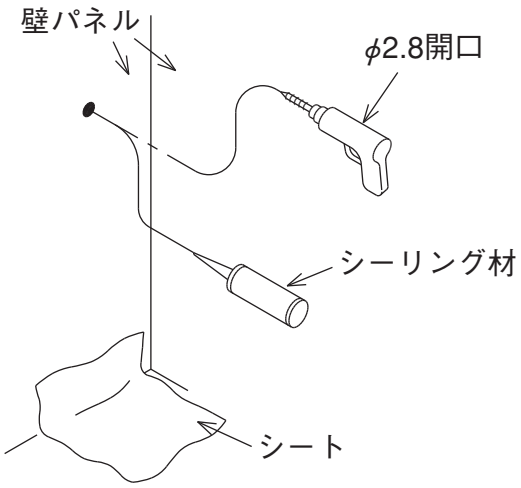
① 壁加工は必ず室外にて、加工願います。



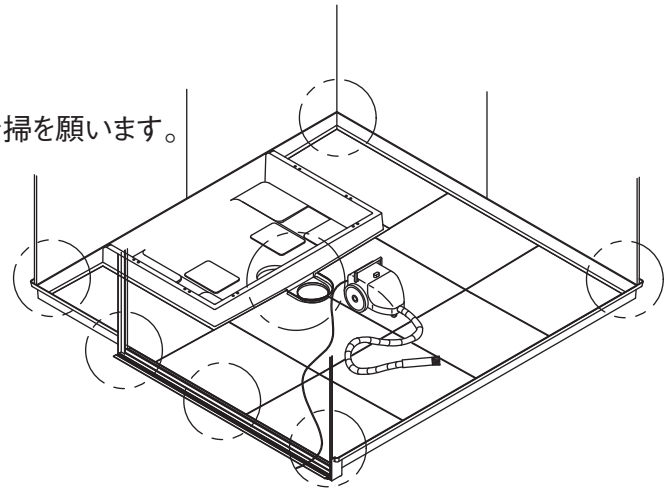

・壁パネル穴開口の手順
・壁表面からφ2.8程度のキリにて下穴を開ける。
・壁裏面からホールソーにて石膏ボードのみ穴開口します。
・最終仕上げに、壁表面からホールソーにて穴を開口する。




② 現物合わせなどで、ユニット内の加工が必要な場合
・作業場所の下に、シート等を敷く
・加工個所にシーリング材を塗布する
上記の作業をしてから、加工を開始してください。
（鉄粉の飛散防止、擦傷等の防止のため）
加工後はシーリング材を拭きとってください。
（強く擦らないでください。擦傷になるおそれがあります。）




③ 必ず浴槽設置前に、ユニット内を掃除機などにて清掃を願います。
・コーナー部
・浴槽側の床
・トラップ周辺（内部）
・ドア枠（溝部）
上記場所は重点的に清掃願います。

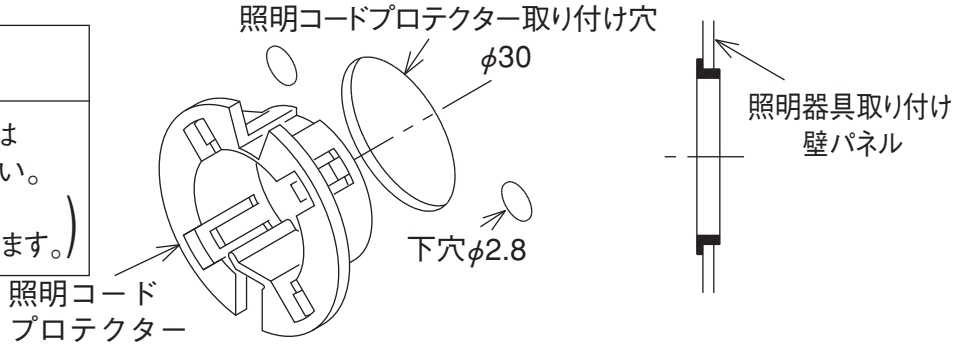


## 照明コードプロテクターの取り付け

**⚠注意**

必ず守る

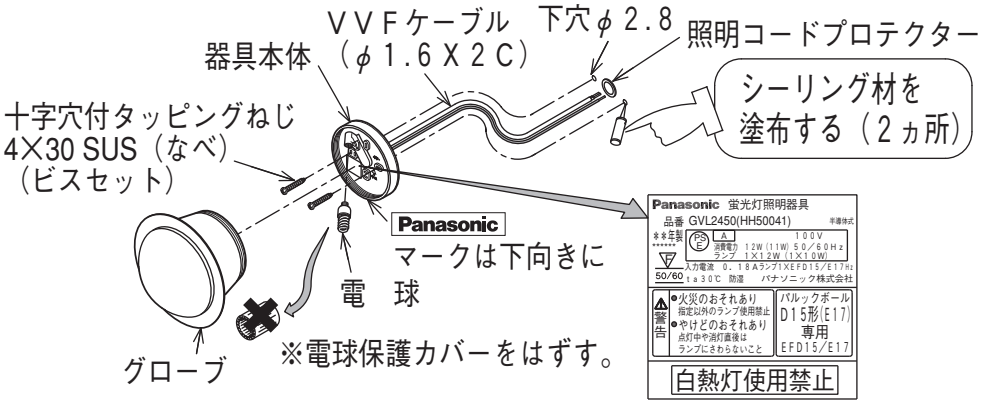
・照明コードプロテクターは
確実に取り付けてください。
（確実に取り付けないと、
火災や感電の原因となります。）



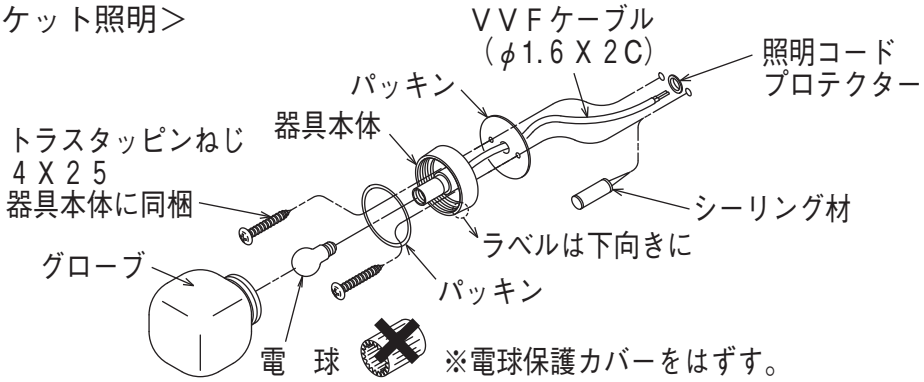
# 照明の取り付け

（注意）照明の本体とグローブには、上下の向きがありますので注意してください。

＜エクセレント照明＞




＜四角丸ブラケット照明＞




## 施工のポイント

・電球及びグローブは、天井廻し縁打込み後取付けてください。
・電球保護カバーを電球取付け時にランプサックを取外してください。
・照明器具は、ラベルが下になるように取り付けてください。

| ⚠警告 | | ⚠注意 | |
|---|---|---|---|
| アース線接続 | ・アース工事は、電気設備技術基準に関する法令・規制などに従って、必ず「電気工事士」によるD種（第三種）設置工事を行ってください。（誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電する原因となります。） | 禁　止 | ・清掃時に、溶剤（シンナーなど）は使用しない。（変色、変形やひび割れによる水漏れの原因となります。） |
| 必ず守る | ・換気扇・照明器具・ミラー・握りバー・混合水栓などの付属部品は、取付設置説明書に従い、指定位置に確実に取り付けてください。（思わぬ故障や事故の原因となります。） | 必ず守る | ・器具取付けの際、下穴に必ずシーリング材を注入してください。（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。）<br>・照明器具を取付指定位置に確実に取付けてください。（確実に取付けないと、使用中に外れたりしてケガの原因となります。）<br>・照明グローブ清掃仕上げの際に、「リグロイン」「シンナー」「ラッカー」等は使用しないでください。（変色や割れの原因になります） |

# シーリング

㊟ 同梱のシーリング材を必ず使用してください。

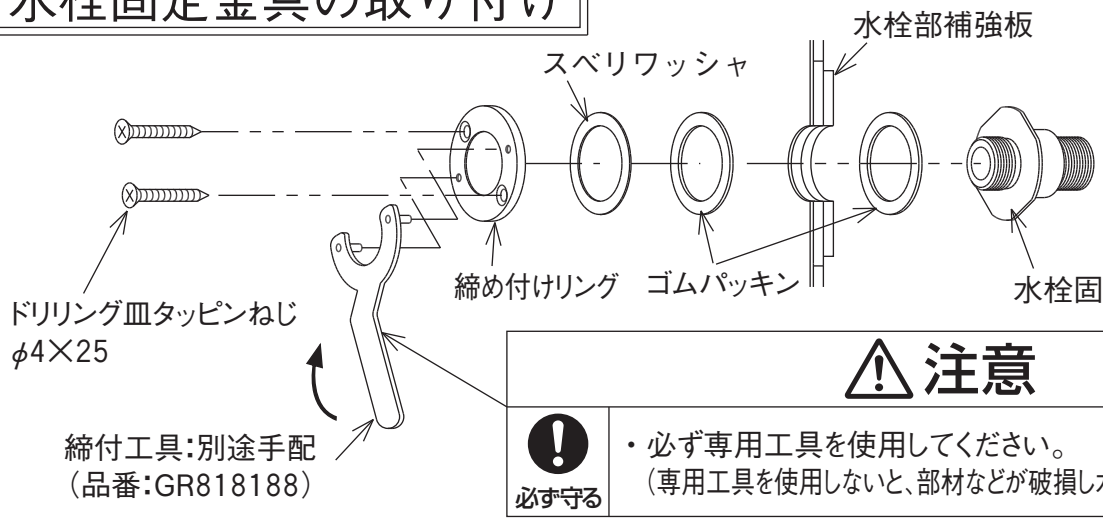
## ⚠注意

| | |
|---|---|
| 必ず守る | ・シーリング箇所の汚れ、水分等は事前にきれいにふき取ってください。<br>・シーリングの必要箇所は確実にシーリングを行なってください。（必要箇所にシーリングをしないと水もれの原因となります。） |

## 施工のポイント

・パッキンとシーリング材の併用止水部については中部に空気が入り込まないよう、ゆっくりとシーリングを行ってください。

## 水栓固定金具の取り付け




**⚠注意**

必ず守る

・必ず専用工具を使用してください。
（専用工具を使用しないと、部材などが破損し水もれの原因となります。）

**⚠注意**

必ず守る

・水栓固定金具を締付工具にて締め付けた後、ドリルねじにて固定してください。
（ねじ固定をしないと、ゆるみにより水もれ及び、落下によるケガの原因となります。）

### 水栓固定金具の取り付けに関する打合せのポイント

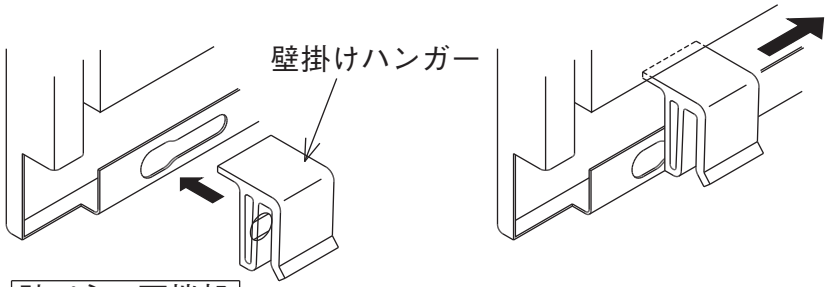
建築納まり図面及び設備配管図面を確認の上、
取り付け工程（時期）を打ち合わせ、調整してください。

---

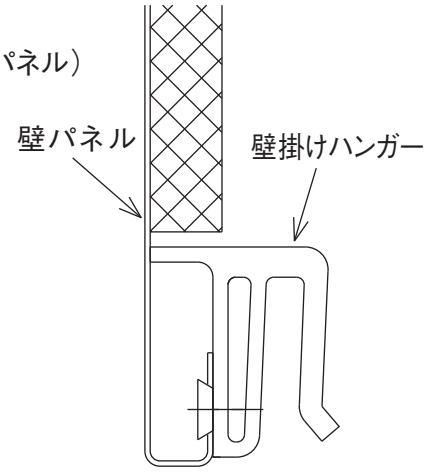
## 壁掛けハンガーの取り付け

壁パネル下端の長穴に、壁掛けハンガーを取り付けてください。（2カ所／パネル）

① 長穴へ入れる。　② 長穴の端まですらす。




壁パネル下端部




断面納まり

# 握りバーの取り付け

① 壁パネル裏面に握りバーの補強プレートをはり付ける。
・シーリング材で、壁パネルの裏から穴に合わせて、しっかりとはり付けてください。

② 〈L型の場合のみ〉握りバーを組み立て、ねじで固定する。
・ねじは手締めで固定してください。

③ 〈L型の場合のみ〉握りバー中央部に受け具を取り付ける。

④ 握りバーを壁に取り付ける。
L型：3個所、I型：2個所

⑤ 握りバーにねじ穴キャップを取り付ける。

取付設置上のお願い〈L型の場合のみ〉

●ねじ穴キャップは2種類の形状がありますので、それぞれ間違えないように取り付けてください。

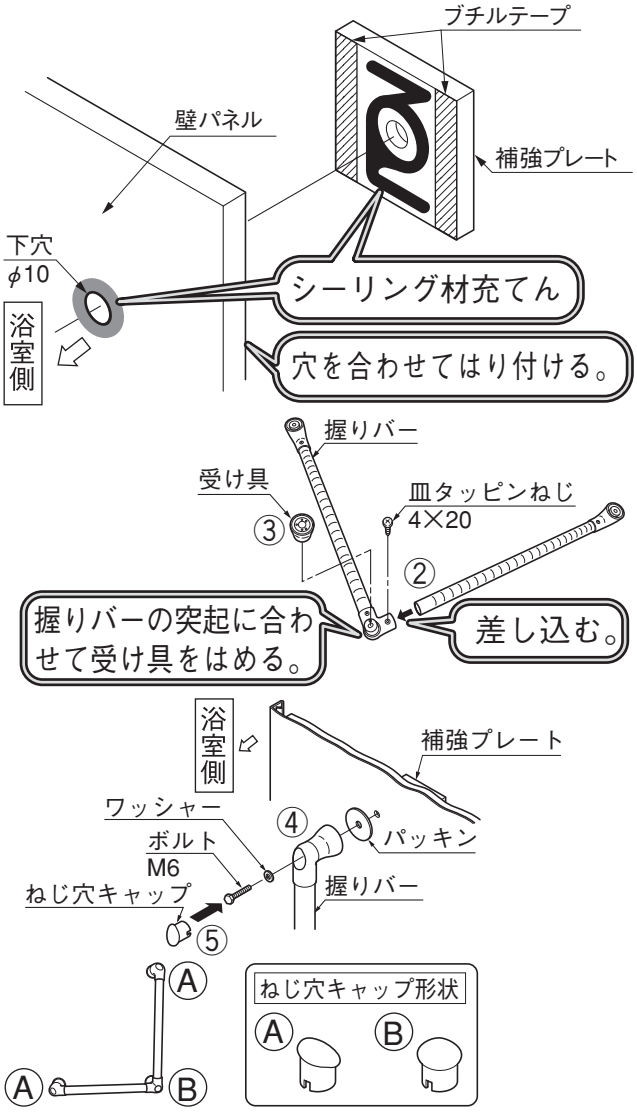
## 施工のポイント

・パッキンはフラット面を壁側にして取り付けてください。
・ブラッケトカバーは手できつく締め付けてください。

## ⚠注意

必ず守る

・握りバーを取り付け指定位置に確実に取り付けてください。
（確実に取り付けないと、使用中に外れたりしてケガの原因となります。）
・器具取り付けの際、下穴に必ずシーリング材を注入してください。
（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。）

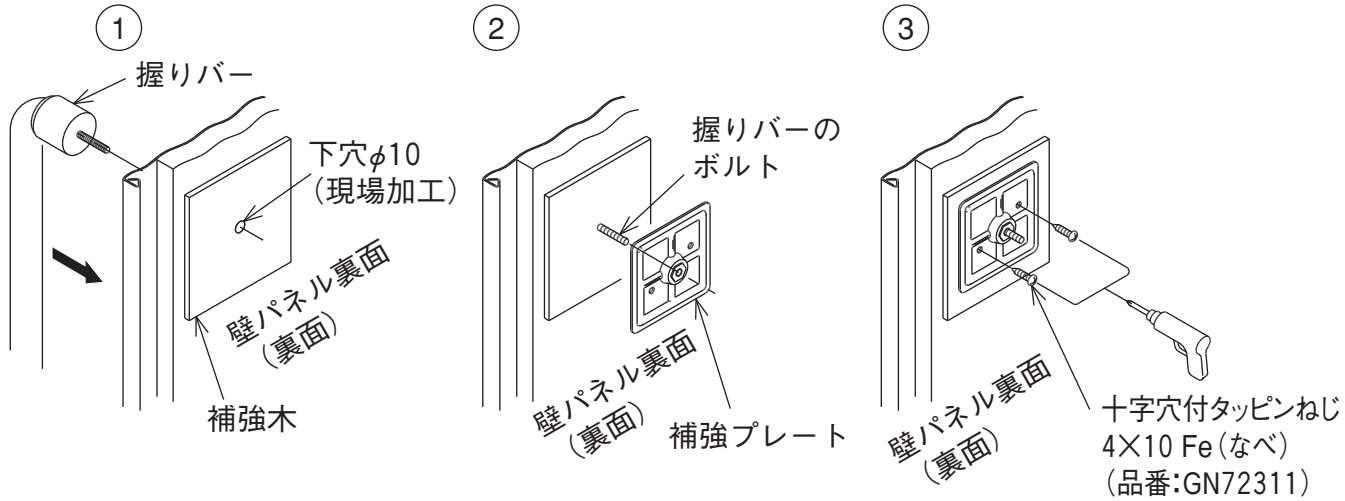



# 握りバー補強プレートの取り付け

① 握りバー取り付け穴に、握りバーのボルトを通してください。

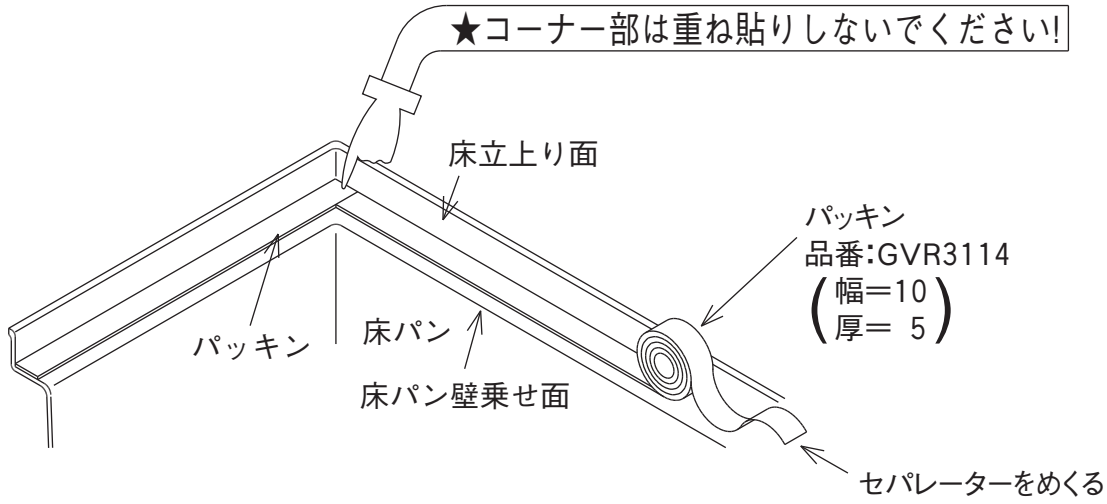
② 握りバーのボルトに、補強プレートを仮固定してください。

③ 補強プレートを、補強木にねじで固定してください。（補強プレート取り付け後は、握りバーを外してください）



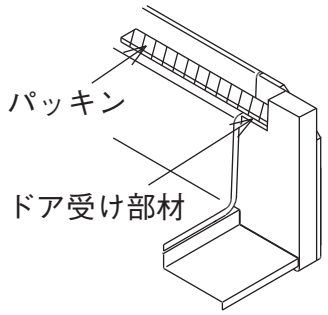
# 床フランジ部へのパッキン貼り付け

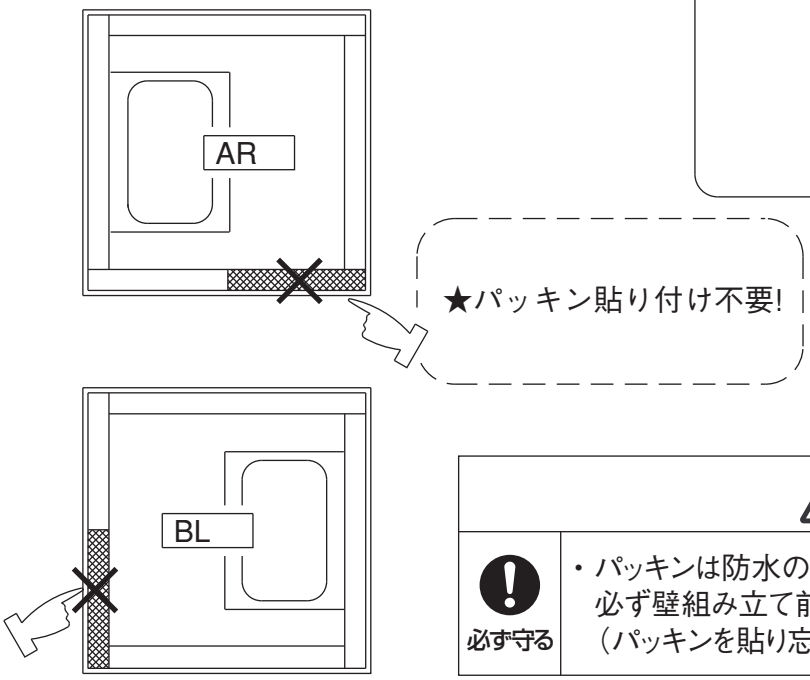
床パン壁乗せ面に、パッキンを床立ち上り面にそわせて貼り付けてください。




## 施工のポイント

パッキンの貼り付けはドア受け部材まで貼り付けてください。




## ⚠注意

必ず守る

・パッキンは防水の補助となる物です。
必ず壁組み立て前にドア幅部分以外に貼り付けてください。
（パッキンを貼り忘れると、水もれの原因となります。）

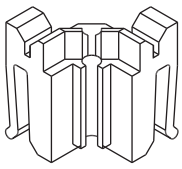
## 施工のポイント

・ドア幅部分のパッキンは、貼り付けないでください。
（壁とドア取り付けビスピッチが合わなくなります）
・コーナー部のパッキンは、重ね貼りしないでください。
（壁と壁目地高さなどが合わなくなります）

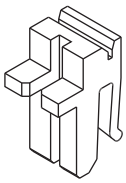
# 3　壁パネルの建て込み

## 床ブロック配置図

・床ブロックを各床コーナー部、
壁平ジョイント部（下図参照）に取り付けて
ください。



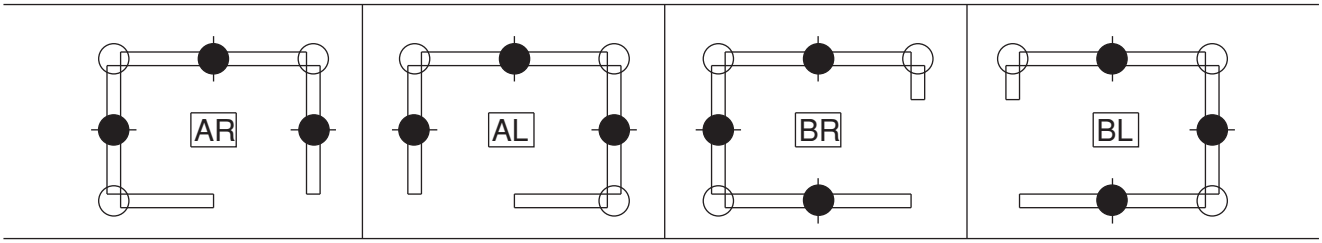
壁コーナーブロック
（ブロックセットに付属）



壁平ブロック
（ブロックセットに付属）

＜床ブロック配置図＞　○・・・壁コーナーブロック　●・・・壁平ブロック

2020

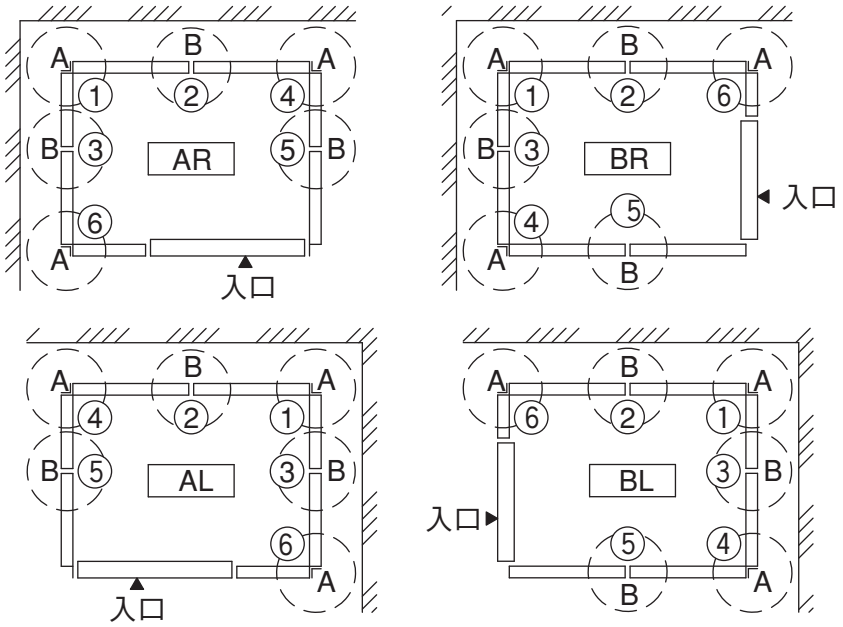



## 施工のポイント

・壁下端部には、必ず壁ブロックを取り付けてください。

## 壁パネル組み立て順序

A　：壁コーナージョイナー
B　：壁平ジョイナー

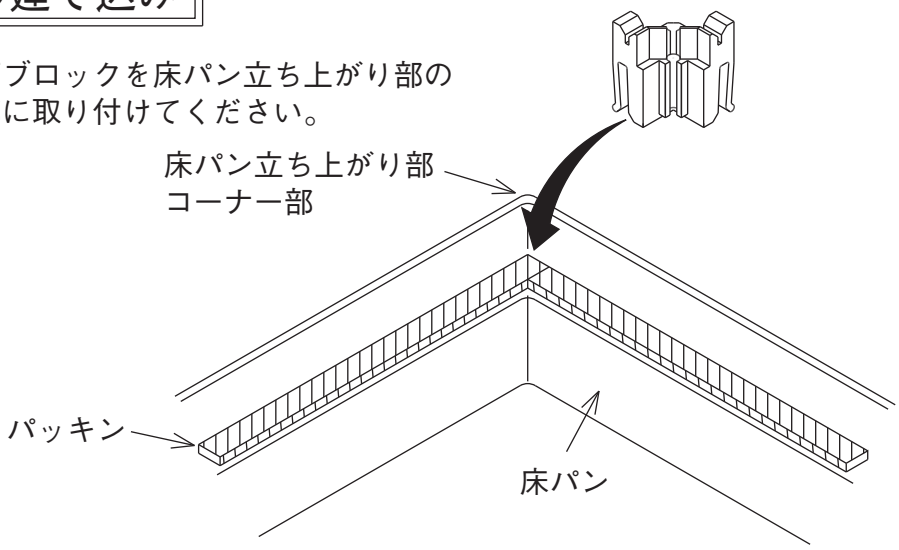



組み立て順序
①＞②＞③＞④＞⑤＞⑥

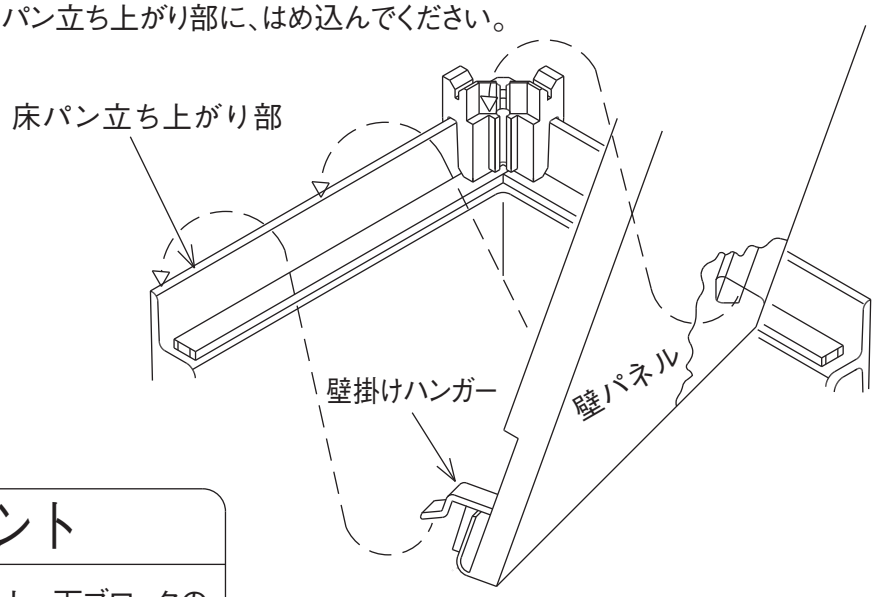
組み立て基準となる壁パネルは、
施工図（納まり図）及び、
現場状況により決定してください。

# 壁パネルの建て込み

① コーナー下ブロックを床パン立ち上がり部の
コーナー部に取り付けてください。

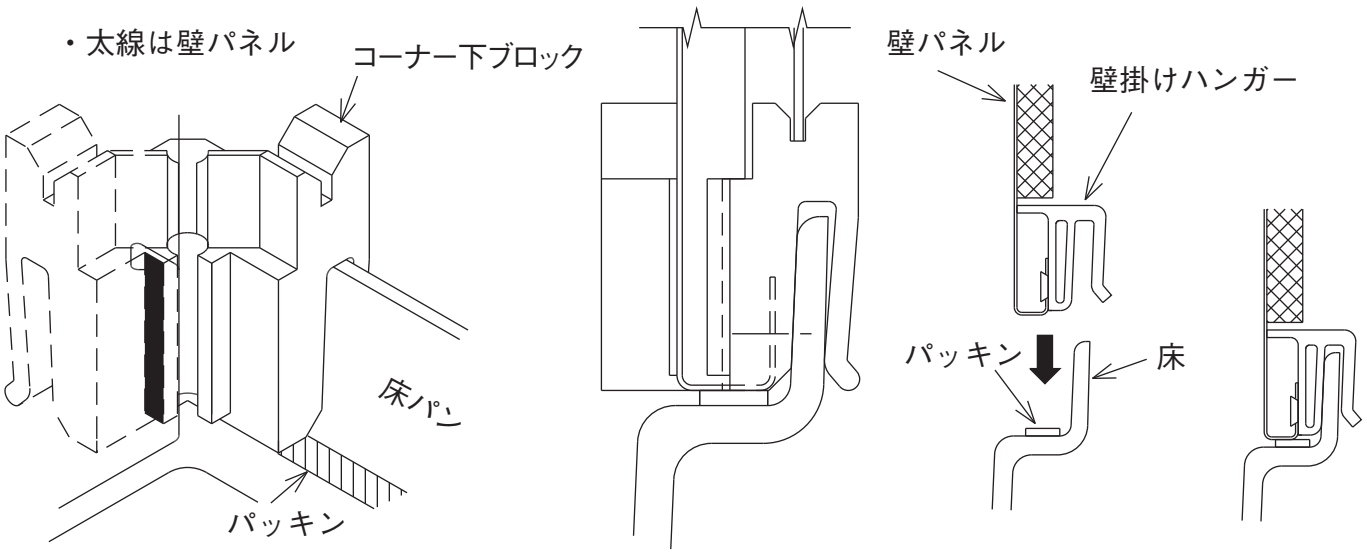



② 壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部に、はめ込んでください。




## 施工のポイント

・壁パネルの下側面をコーナー下ブロックの
（ ■ 部）に当てる。




床～壁　納まりコーナー部

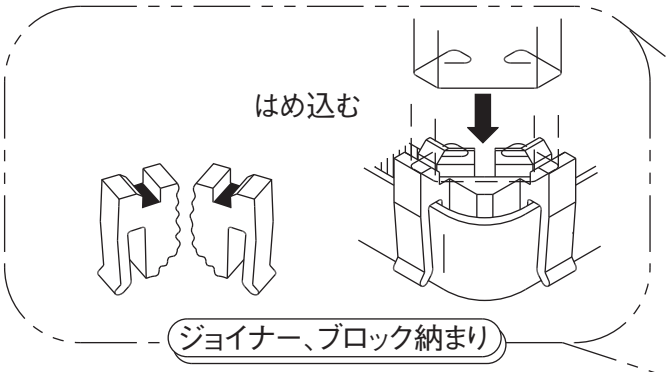
床～壁　納まり

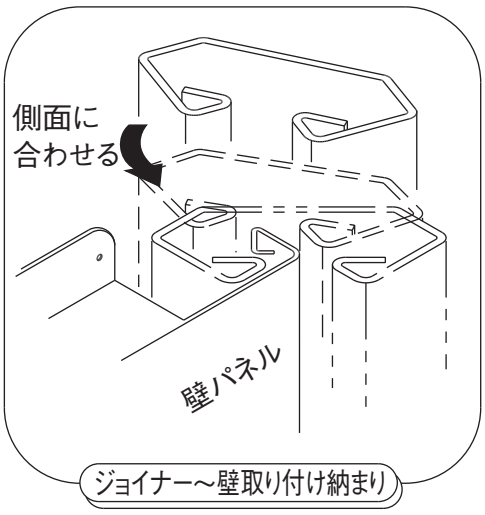
# 壁パネルコーナージョイント

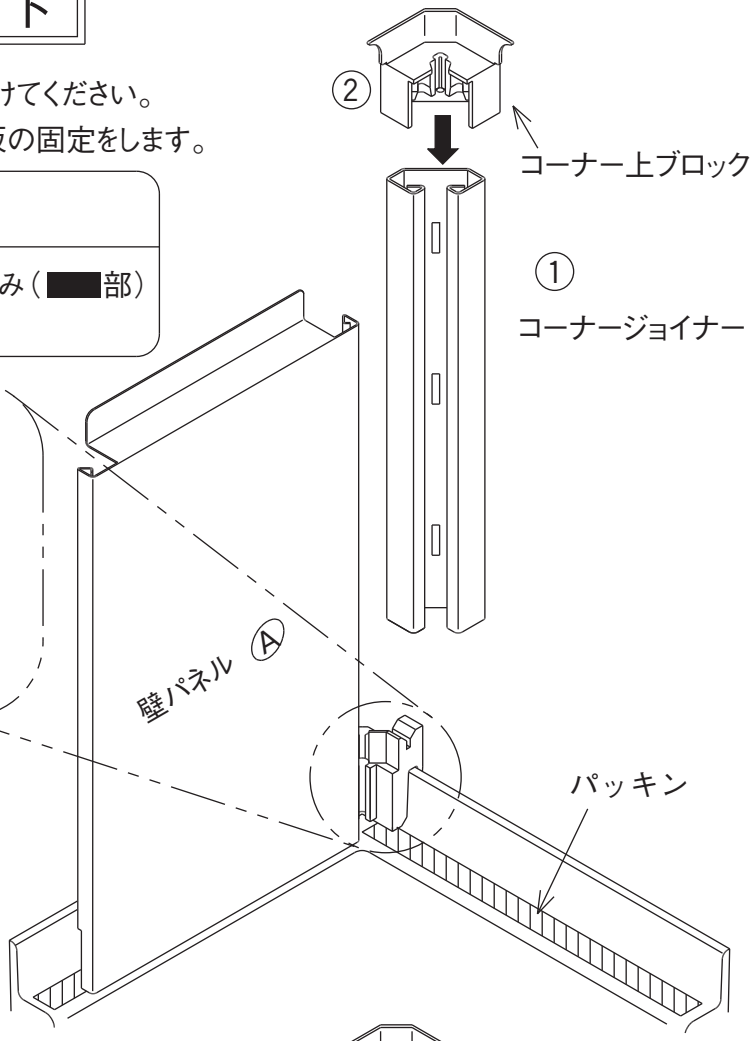
① 壁パネル Ⓐ にコーナージョイナーを取り付けてください。
② コーナー上ブロックをジョイナー上部にはめて仮の固定をします。

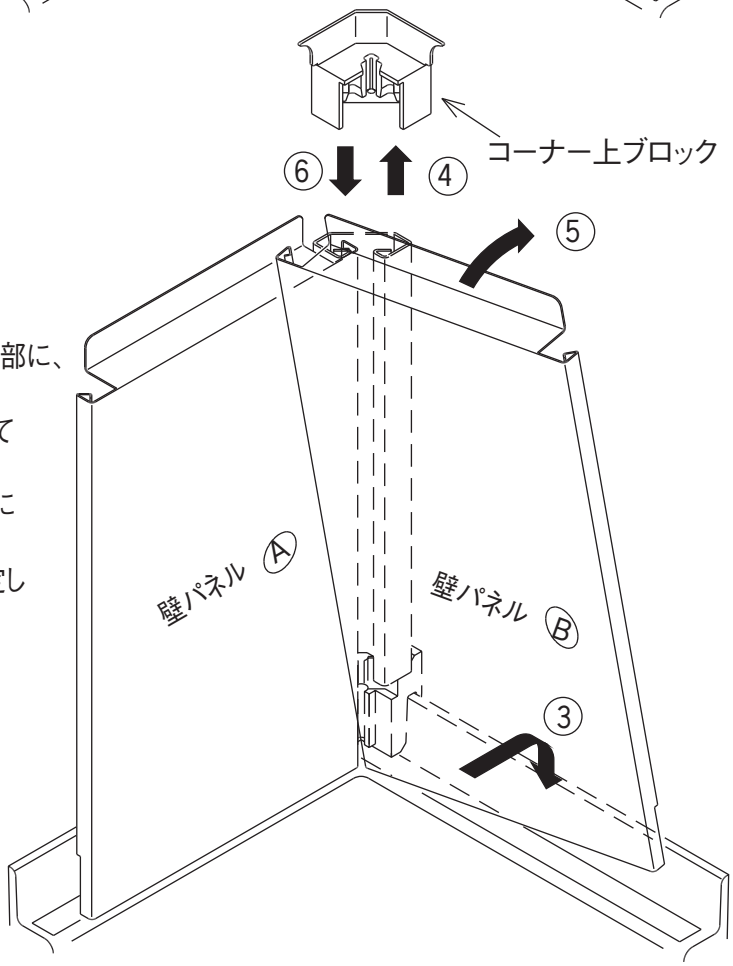
## 施工のポイント

・コーナージョイナー下端をコーナーブロックにはめ込み（■部）
ジョイナーを壁パネル側面に合わせてください。




③ 壁パネル Ⓑ の壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部に、はめ込んでください。
④ ジョイナーにはめたコーナー上ブロックを一旦取り外してください。
⑤ ジョイナーを支えながら壁パネル Ⓑ をジョイナー側に倒し、壁とジョイナーを合わせてください。
⑥ コーナー上ブロックを再度ジョイナー上部にはめて固定してください。

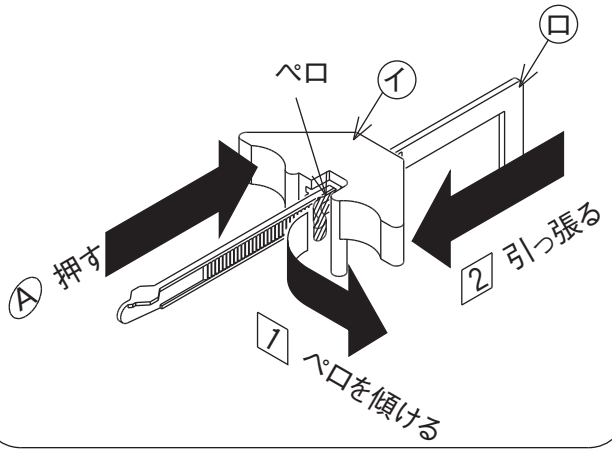
## ⚠注意

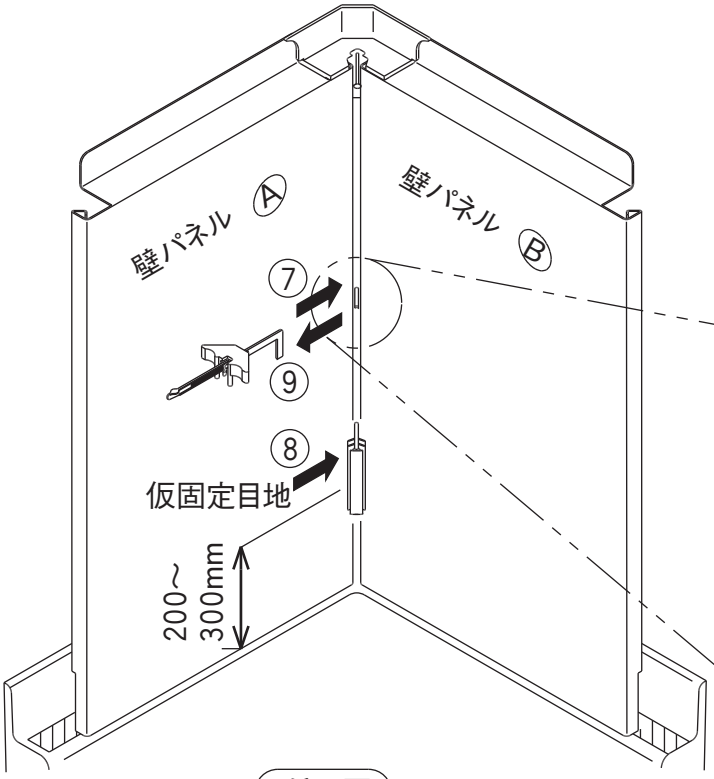
| | |
|---|---|
| 必ず守る | ・壁、ジョイナーをしっかり固定しブロックを付けてください。（しっかり固定をしないと、落下によるケガの原因となります。） |

⑦ スリットにジョイナー固定治具を取り付けてください。
（取り付け方法は右図参照）
⑧ 仮固定目地をパネル下端から200～300mmの位置に仮打ちしてください。
（壁パネルの間に斜めに打ち込む）
⑨ ジョイナー固定治具をスリットから取ってください。

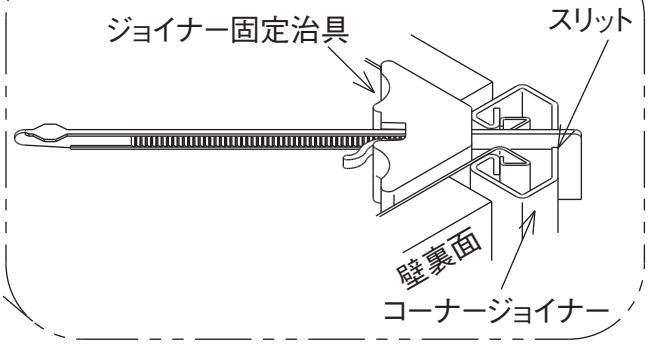
## ジョイナー固定治具使用方法

・取り付け方
・ Ⓐ の方向に (イ) を押す。
・取り外し方
・ペロを 1 の方向にしばらく傾ける。
部品 (イ) を 2 の方向に引っ張る。

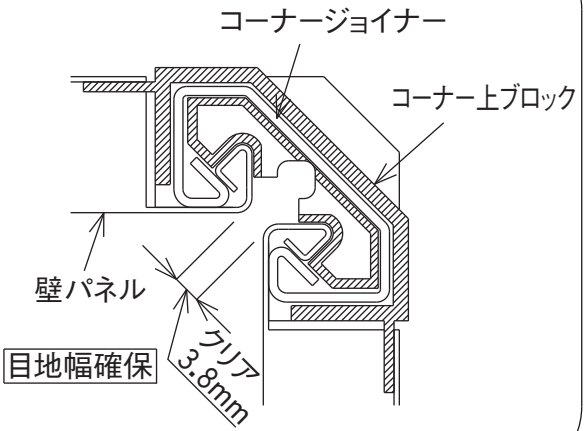


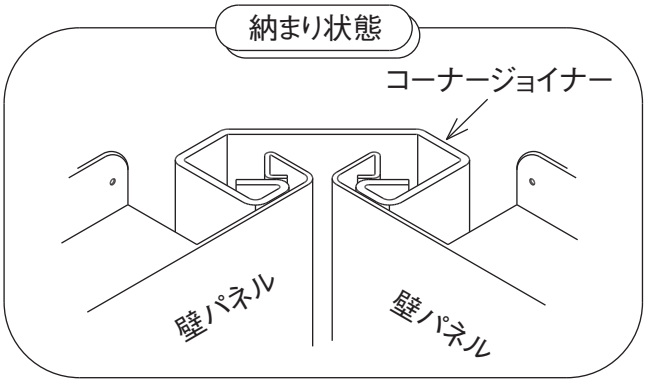

## ジョイナー固定治具取り付け詳細図




## 断面図




## 納まり状態

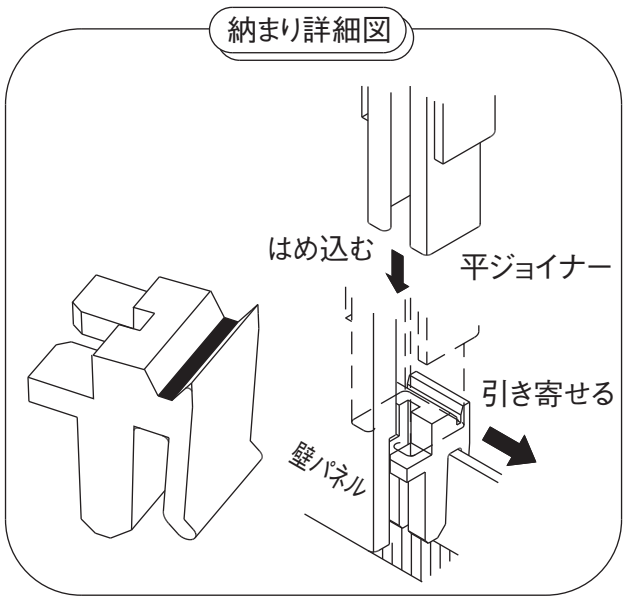


# 壁パネル平部ジョイント

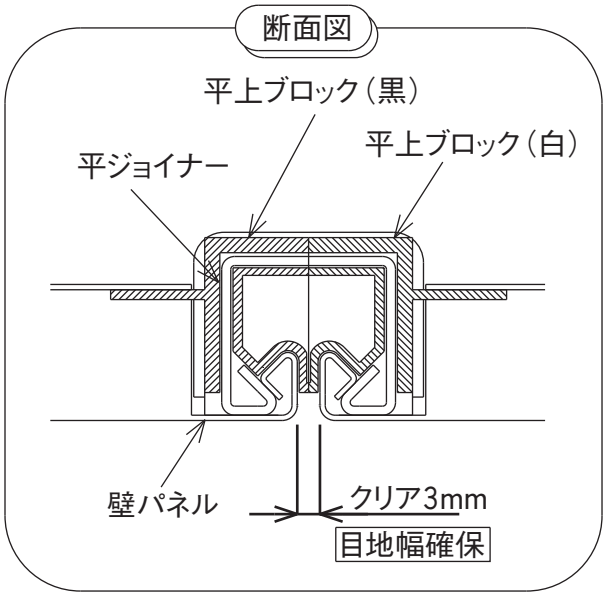
① 壁パネル Ⓑ に、平下ブロックを取り付けて、壁外側に引き寄せてください。
② 壁パネル Ⓑ に平ジョイナーを取り付けてください。
③ 平上ブロックL　黒色をジョイナー上部にはめて壁パネル Ⓑ を固定します。

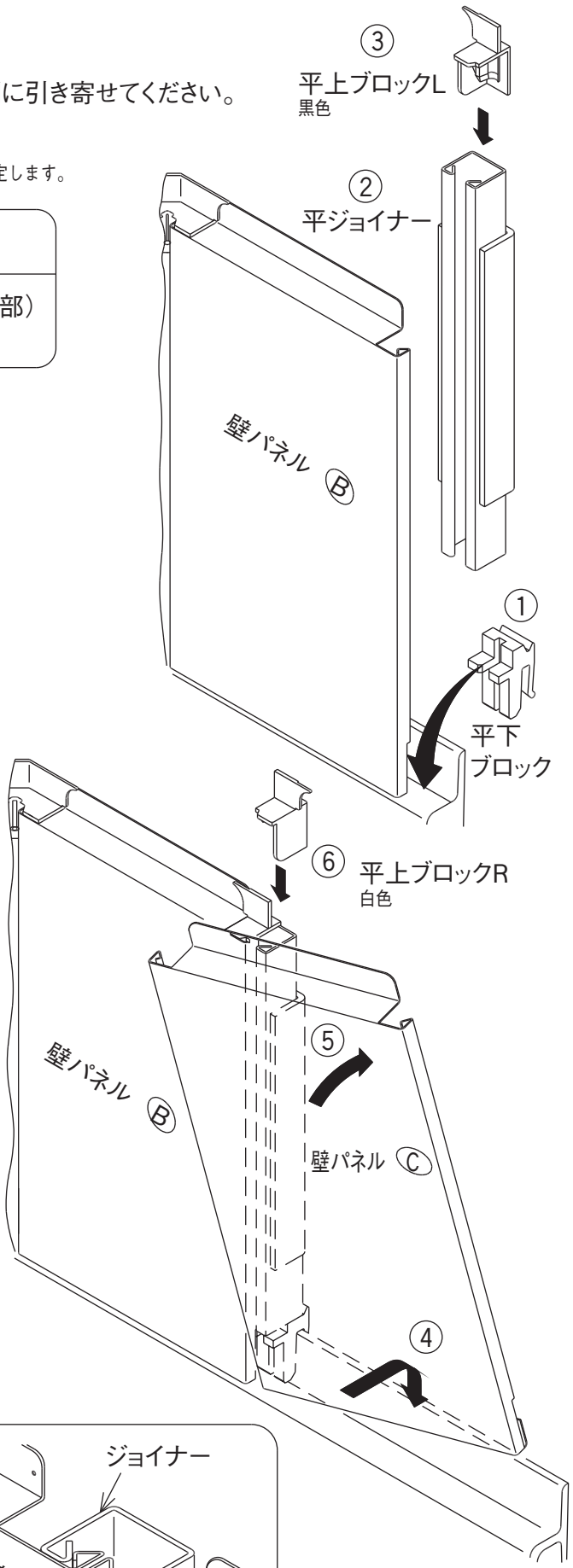
## 施工のポイント

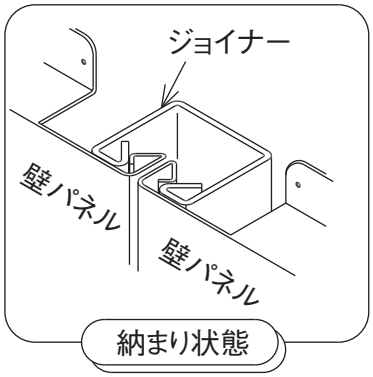
平ジョイナー下端を平下ブロックにはめ込み（ ■ 部）
ジョイナーを壁パネル側面に合わせてください。



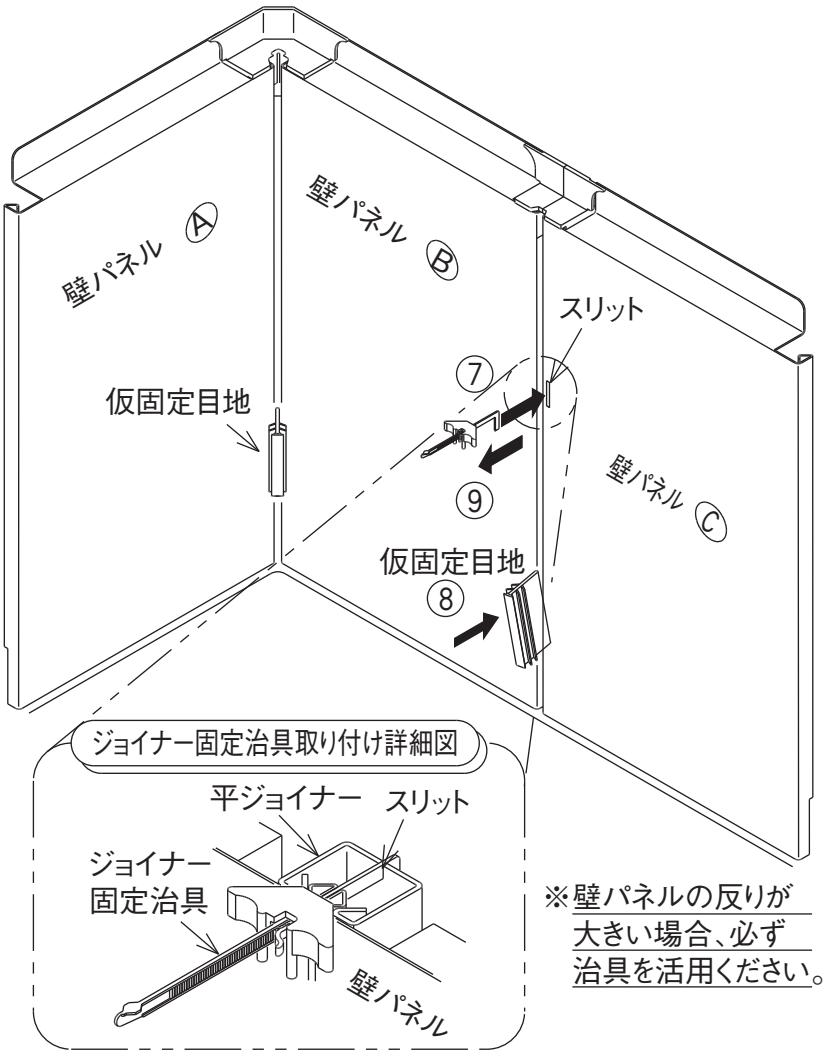

④ 壁パネル Ⓒ の壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部にはめ込んでください。
⑤ 壁パネル Ⓒ をジョイナー側に倒し、壁とジョイナーを合わせて下さい。
⑥ 平上ブロックR　白色をジョイナー上部にはめて壁パネル Ⓒ を固定します。



⑦ スリットにジョイナー固定治具を取り付けてください。（取り付け方法は29ページを参照）
⑧ 仮固定目地をパネル下端から200～300mmの位置に仮打ちしてください。（壁パネルの間に斜めに打ち込む）
⑨ ジョイナー固定治具をスリットから取ってください。





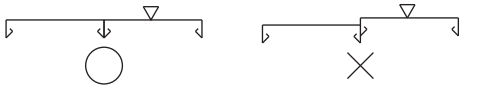


※壁パネルの反りが大きい場合、必ず治具を活用ください。

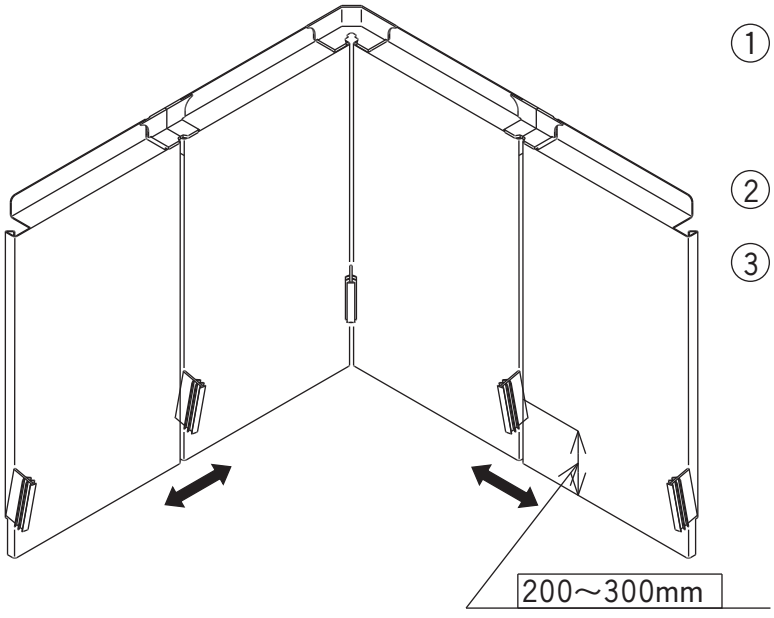
## 施工のポイント

化粧面の出入り無き様、面をそろえてください。

良い例） 化粧面　悪い例） 化粧面



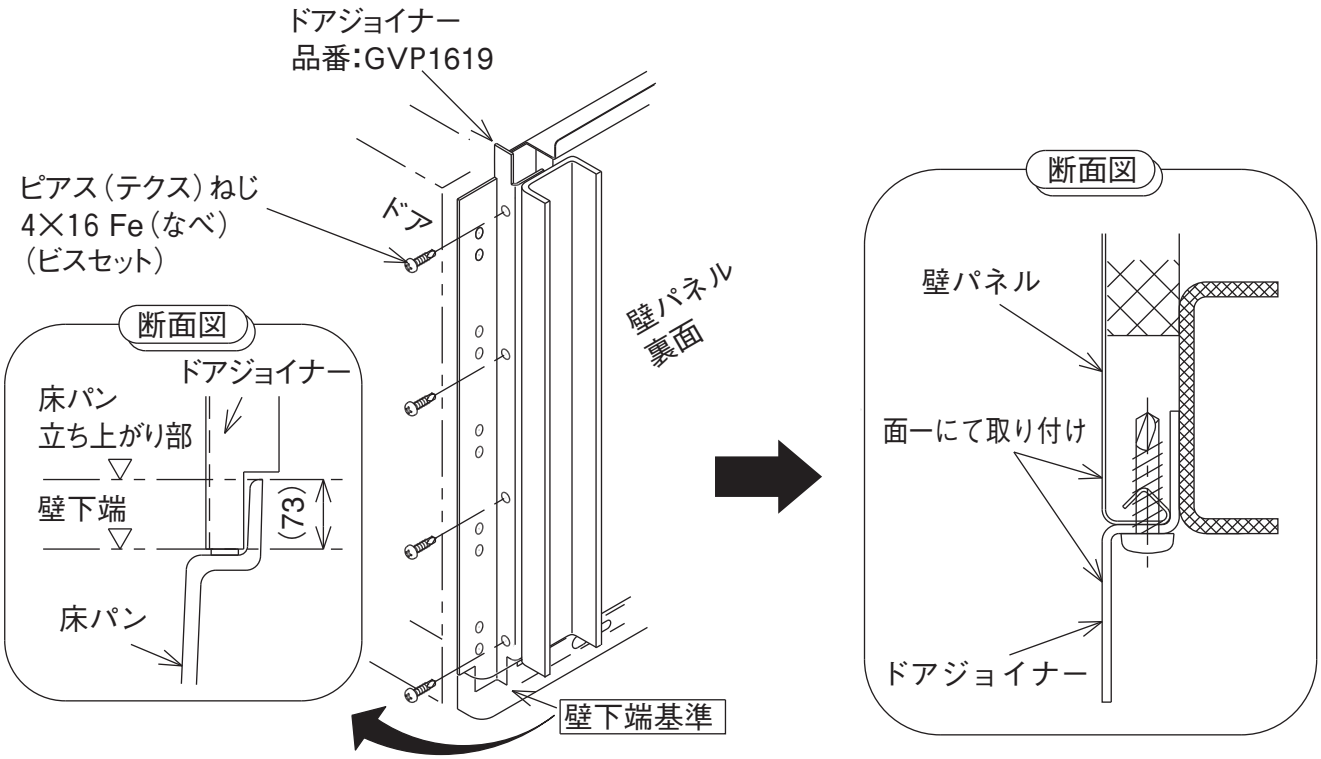
## 施工のポイント




① 壁パネル組み立て都度、仮固定目地を打ち込んでください。（仮固定目地を打たないと、壁パネル間の寄り寸法が一定になりません）
② 仮固定目地は、壁パネル下端より200～300mmを目安に打ち込んでください。
③ 仮固定目地は目地打ち前まで、はずさないでください。

# ドア横ジョイナーの取り付け

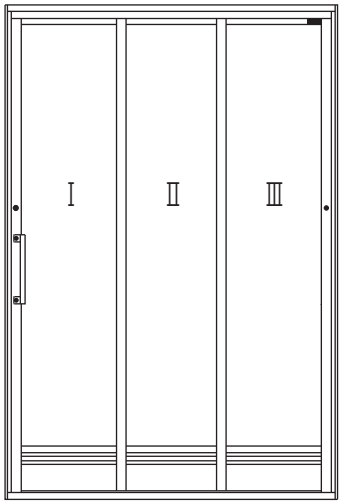
・壁パネル（側面）にドアジョイナーを、壁下端基準 にて、取り付けてください。




| 点　検　項　目 | 基　準 | 点　検　方　法 |
|---|---|---|
| 1.壁パネル表面（化粧面）の損傷（有・無） | 無し | 目視 |
| 2.壁パネルの納まり<br>・出入り、ガタツキは無いか | 無し | 目視 |
| 3.水栓固定金具の取り付け | | 目視 |

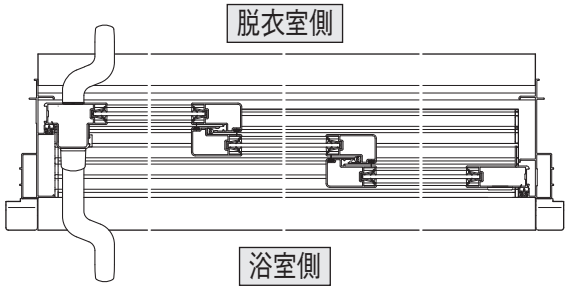
# 4　ドア枠の取り付け

## 付属部品一覧



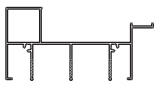
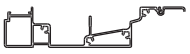
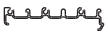

浴室側

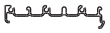
脱衣室側

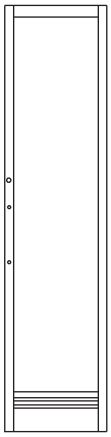
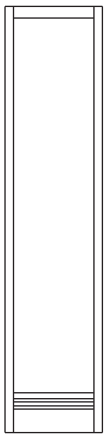
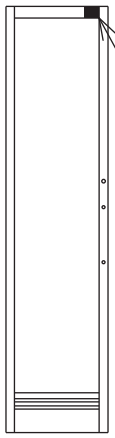


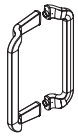
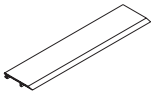
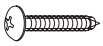
浴室側

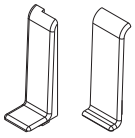
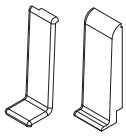
表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。
また、表中の○印の番号は本文中の組立・取付図の番号と連動しています。

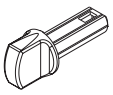
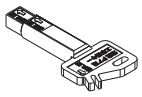
| 姿　図 |  |  |  |
|---|---|---|---|
| 部材名 | 上枠 | 下枠 | 下枠レール(右) |
| 品　番 | ― | ― | ― |
| 個　数 | 1 | 1 | 1 |

| 姿　図 |  | | |
|---|---|---|---|
| 部材名 | 下枠レール(左) | 右縦枠 | 左縦枠 |
| 品　番 | ― | ― | ― |
| 個　数 | 1 | 1 | 1 |

| 番　号 | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ |
|---|---|---|---|
| 姿　図 |  |  |  |
| 品　名 | 引手付障子 | 中間障子 | 固定障子 |
| 品　番 | GRXGVGC170 | GRXGVGC171 | GRXGVGC172 |
| 個　数 | 1 | 1 | 1 |
| 備　考 | GVGH104（ホワイト）付属品です。（その他は全てGVGH103に付属） | | |

| 部品袋No. | 同梱包 | | 部品袋1 | 部品袋2 |
|---|---|---|---|---|
| 番　号 | ① | ② | ③ | ④ |
| 姿　図 |  |  |  |  |
| 品　名 | 大型引手 | ドア前カバー（ホワイト） | 小トラスタッピンねじ（φ5×30） | なべタッピンねじ2種（φ4×25） |
| 品　番 | RLXGVGF150 | RLXGVGC163 | RLXGVGF150 | |
| 個　数 | 1組 | 1 | 4 | 12 |
| 備　考 | | | 引手取付用 | 枠組立用 |

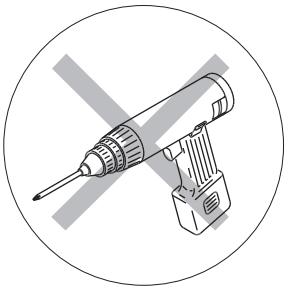
| 部品袋No. | 部品袋3（縦枠取付セット） | | | 部品袋4 | | 部品袋5 | 部品袋6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 番　号 | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ |
| 姿　図 |  | | | | |  |  |
| 品　名 | 丸皿タッピンねじ（φ4×16） | 皿メートルねじ（φ4×25） | 9の字ナット | シーリングドリリングなべタッピンねじ（φ4×25） | 座金組込穴付ねじ（φ5×14） | ドア隅化粧 | ドア隅化粧 |
| 品　番 | GRXGVGC130 | | | GRXGVR4135 | GRXGVR4135 | RLXGVGF102 | RLXGVGF101 |
| 個　数 | 22（予備2本含む） | 10 | 10 | 7 | 2 | 各1 | 各1 |
| 備　考 | 額縁取付用(大工工事に使用) | 縦枠取付用 | 縦枠取付用 | 下枠取付用 | ドレイン取付用 | AL/BR取付用 | AR/BL取付用 |

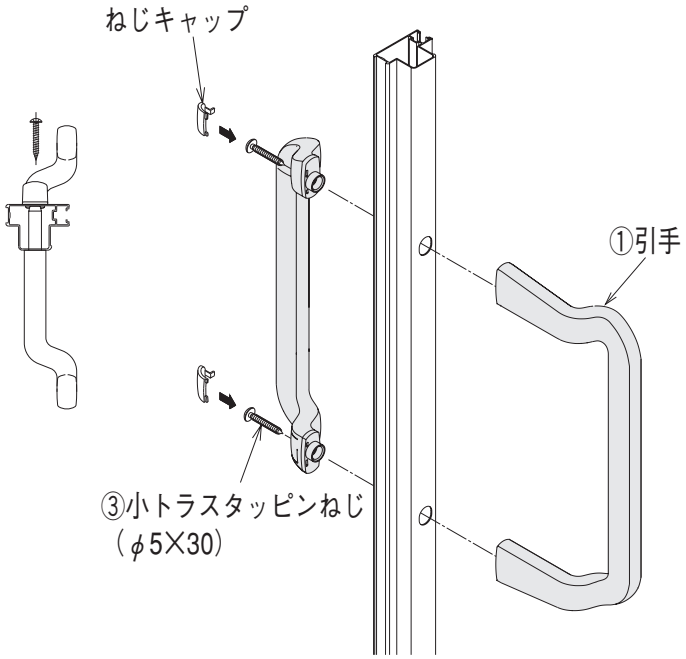
| 部品袋No. | 部品袋7 | | 部品袋8 | 部品袋9 |
|---|---|---|---|---|
| 番　号 | ⑫ | ⑬ | ⑯ | ⑰ |
| 姿　図 |  | |  | |
| 品　名 | サムターン | メダルロック | 工事用キー | 穴隠し用キャップ |
| 品　番 | RLXGVGF151 | | GRXGVGH10163 | GVGY093 |
| 個　数 | 各2 | | 1 | 2 |
| 備　考 | 把手障子用 | | | 固定障子用 |

## 引手の取り付け

①図のように①引手をサムターン側の面から
③ねじで取り付けてください。
②①引手を固定後、ねじキャップを取り付けて
ください。

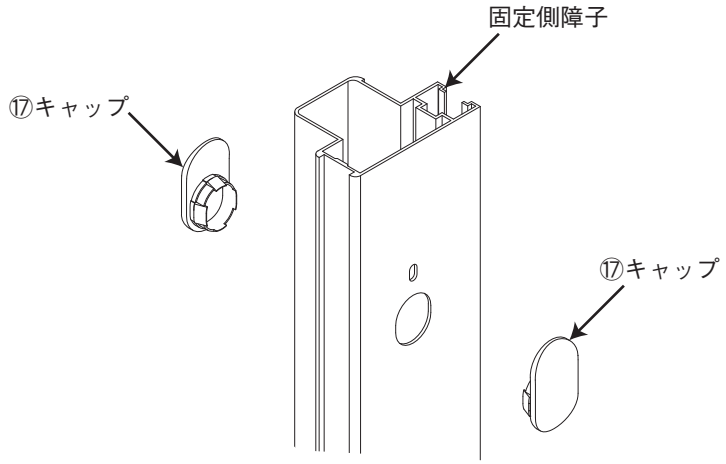
電動ドライバー禁止





# 穴隠し用キャップの取り付け

固定側障子に引き手取り付けの穴を隠すキャップを取り付けてください。

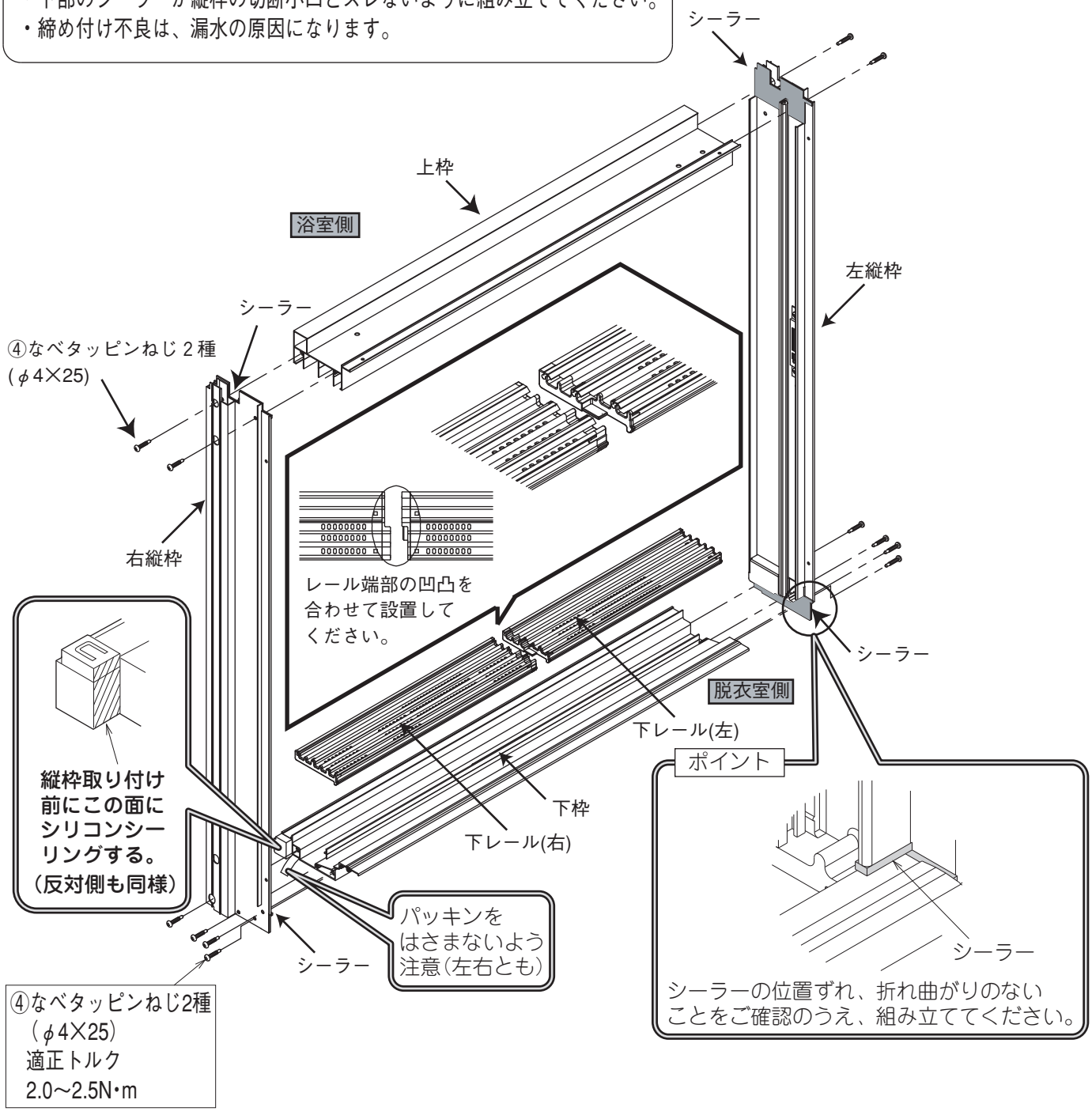


# 枠の組み立て

■枠の水仕舞を保持するため、縦枠にシーラーが貼ってあります。

施工上のご注意

・縦枠と上枠・下枠の組立時、シーラーのはみ出し量が枠形状にそって
いて、均一であることをご確認ください。
・ねじはシーラーの肉厚が半分になるまで、十分に締め付けてください。
・下部のシーラーが縦枠の切断小口とズレないように組み立ててください。
・締め付け不良は、漏水の原因になります。

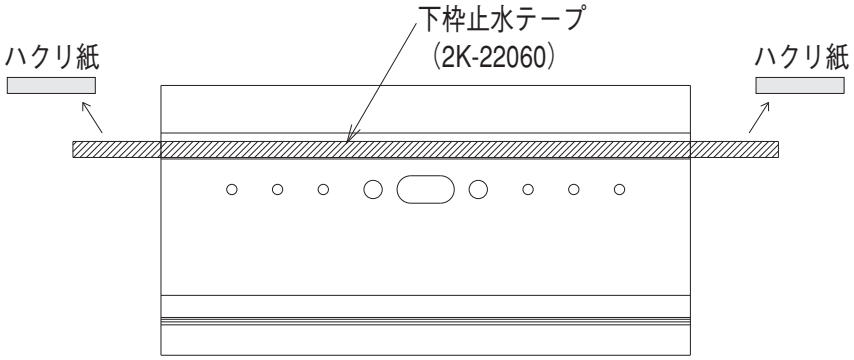



施工上のご注意

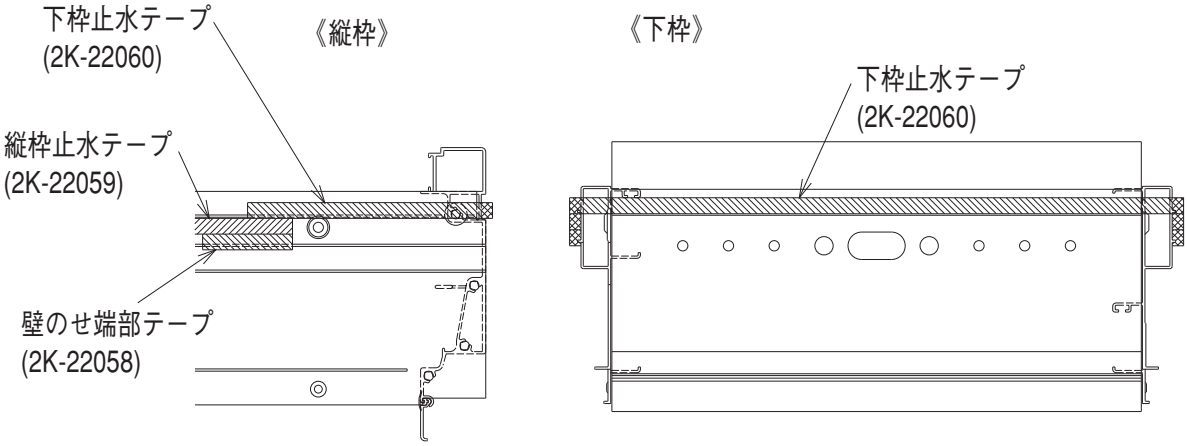
サッシ枠取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、
締め付けトルクは以下を目安に設定し、インパクトドライバーの
使用はさけてください。
　サッシ枠：2.0～2.5N･m(20～25kgf･㎝)程度

# 下枠止水テープの貼り付け

①下枠止水テープ両端のハクリ紙を剥がしてください。




②枠組立後、下枠止水テープを縦枠に貼り付けてください。



# ドア下のシリコンシーリング

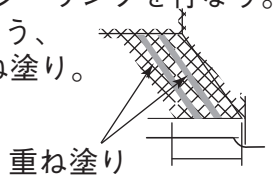
床パンのドアのせ部三周および側面部にシーリング材を塗布し、ドア横の床立ち上がり部にシリコンシーリングしてください。

施工上のご注意

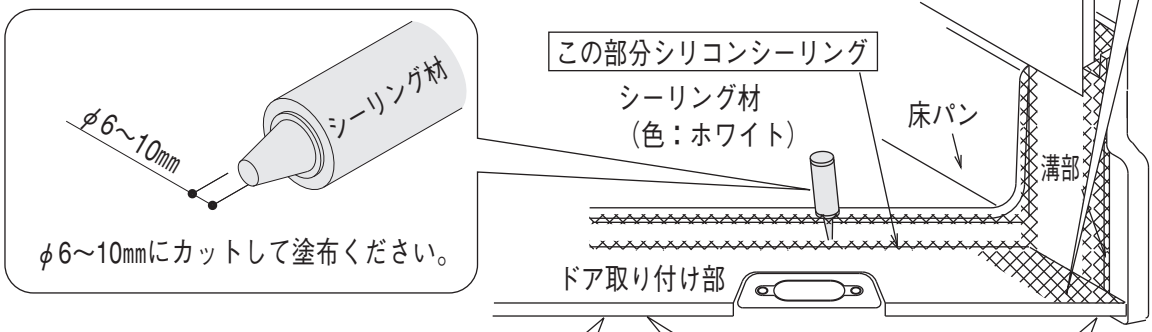
・ドアの取り付けの前に ▨ と ▬ 部にシリコンシーリングしてください。
・ドアのせ部の三周と側面部には、必ず確実にシリコンシーリングを行なってください。
（シリコンシーリングをしないと、水漏れの原因となります。）

・たて3列にシリコンシーリングを行なう。
・すき間ができないよう、
2mm～3mm程度重ね塗り。

反対側も同様

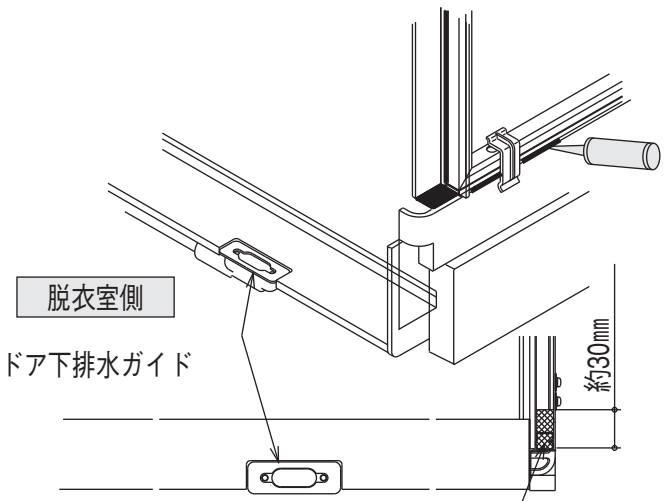


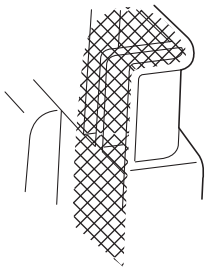

ドアのせ部の三周及び、側面部のシリコンシーリング




φ6～10㎜にカットして塗布ください。

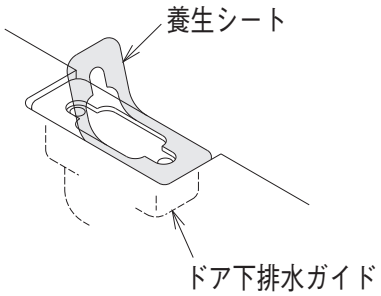
ドア横の床立ち上がり部シリコンシーリング



すき間部分にもシリコンシーリング
を行なう。
完全にすき間を埋める
（少し盛り上がるくらいまで）

# 枠の取り付け

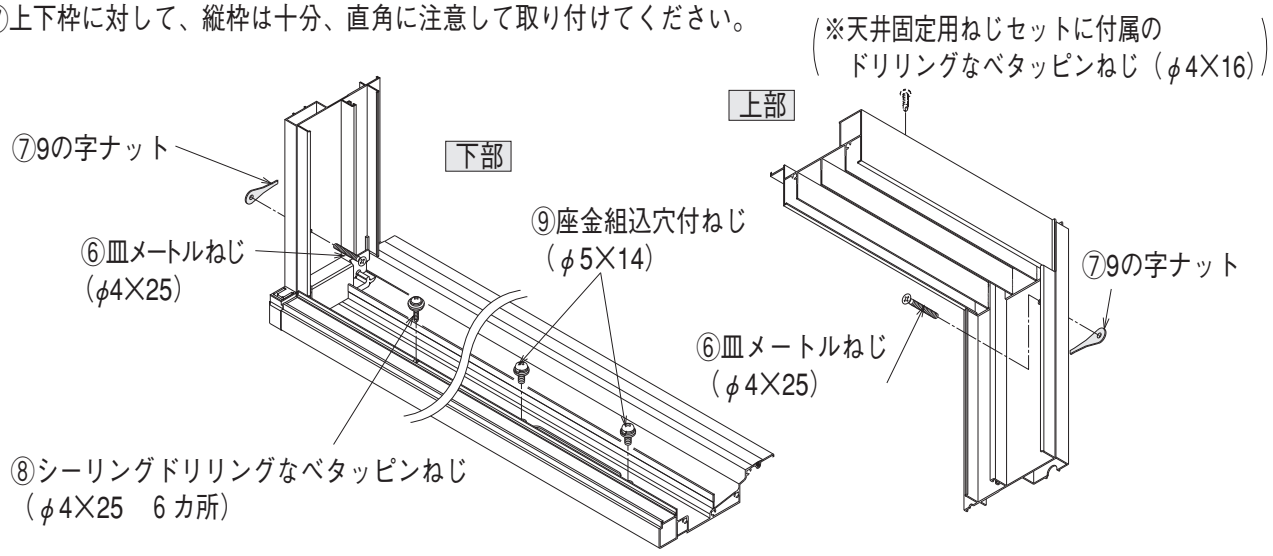



①開口部の水平・垂直・面違いを確かめてください。
②床パンのドア下排水ガイド上面の養生シートを剥がしてください。

施工上のご注意

ドア下排水ガイド上面の養生シートは必ず剥がしてください。
(養生シートを剥がさないと、水漏れの原因となります。)

③床パンのサッシ枠取り付け部(壁パネル開口部)に浴室外側からサッシ枠をのせてください。
④⑨座金組込穴付ねじでドア下排水ガイドと確実に固定し、下げ振り・水準器・巻尺などを使用し、
水平・垂直・対角寸法を確認してください。
⑤枠の左右出入を調整します。
枠内部を⑥皿メートルねじと⑧シーリングドリリングなベタッピンねじでしっかりと固定してください。
⑥天井固定用ねじセットに付属のドリリングなベタッピンねじで、枠を天井に固定してください。
⑦上下枠に対して、縦枠は十分、直角に注意して取り付けてください。



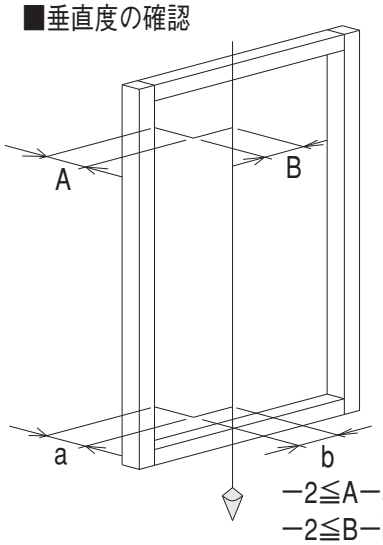

施工上のご注意

・シーリングドリリングなベタッピンねじは専用のものを
使用してください。
(専用のものを使わないと、水漏れの原因となります。)
・ねじは全数を浮きがないように確実に固定してください。
(全数確実に固定しないと、水漏れの原因となります。)

## 開口部について

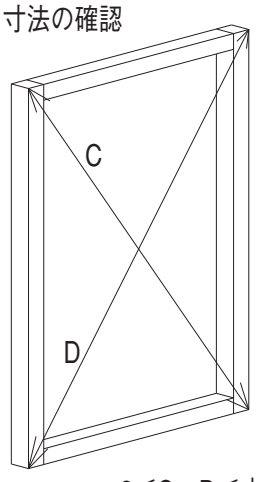
枠取付時には、以下の寸法をお守りください。
垂直度(前後・左右)・対角寸法は、±2㎜以内としてください。
枠のねじれ・広がり・狭まりのないように注意してください。

■垂直度の確認



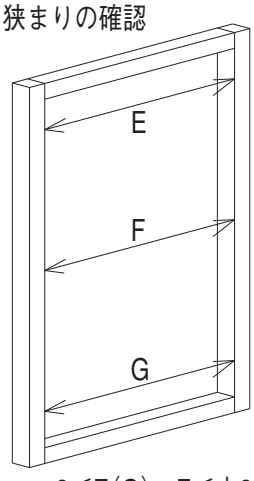

−2≦A−a≦+2
−2≦B−b≦+2

■対角寸法の確認




−2≦C−D≦+2

■広がり・狭まりの確認




−2≦E(G)−F≦+2

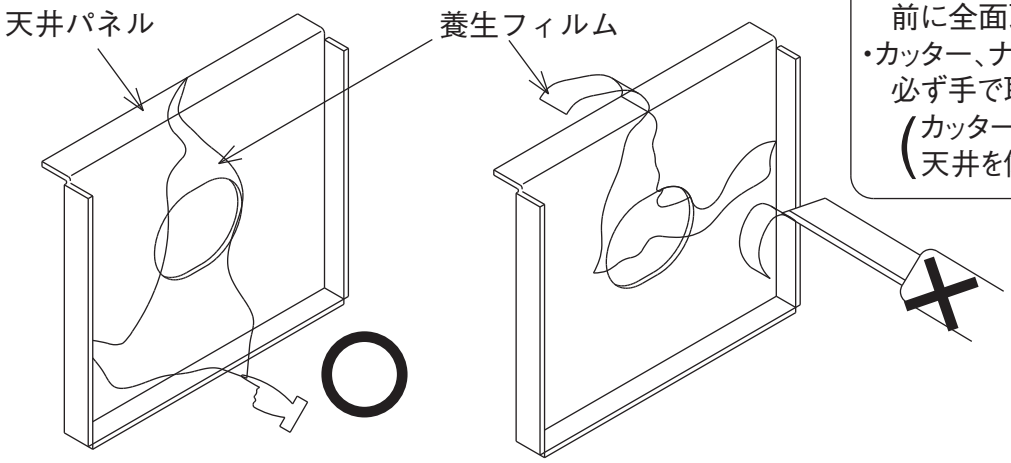
# 5　天井の取り付け

## 天井養生フィルムの取り外し

組み立て前確認、準備

① ユニットタイプとパネル番号及び枚数を確認する。

② 養生フィルムの取外しと併せてパネル表面の損傷の有無を確認する。




パネル端面より手で全面取り除いてください。

### 施工のポイント

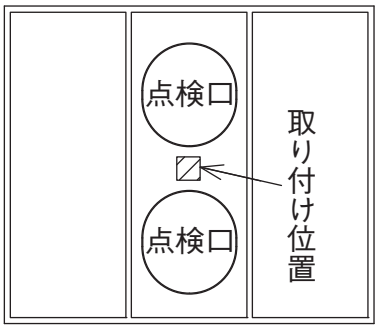
・天井パネルの養生フィルムは組み立て前に全面取り除いてください。

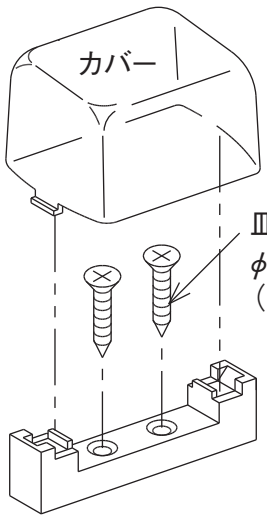
・カッター、ナイフなどの使用は厳禁です。必ず手で取り除いてください。

（カッター、ナイフなどで取り除くと天井を傷付けるおそれがあります。）

## ジョイントボックスの取り付け

天井裏面の□100合板に取り付けてください。

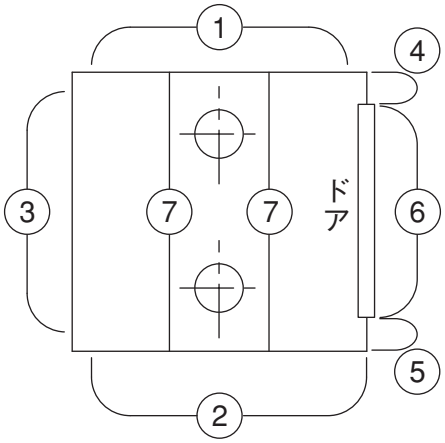


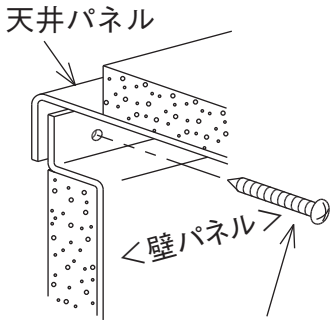
# 天井パネル固定順序

天井パネルを固定してください。

天井一壁固定順序 ①→②→③→④→⑤→ドア建て起こし（下記参照）→⑥→⑦

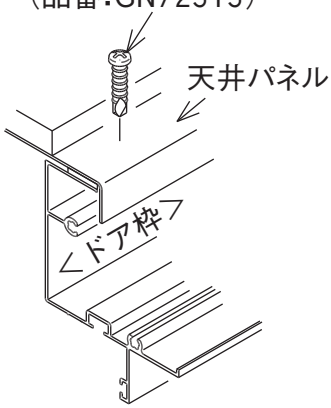



## 天井一壁固定 ①②③④⑤



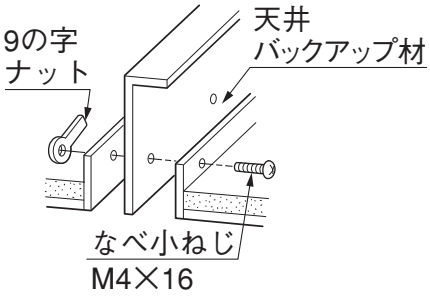

※ウォールウォッシャー照明部分と壁パネルを固定する時は、ドリリングなべタッピンねじ φ4×16（品番:GN72313)を使用してください。

## ドアー壁固定 ⑥



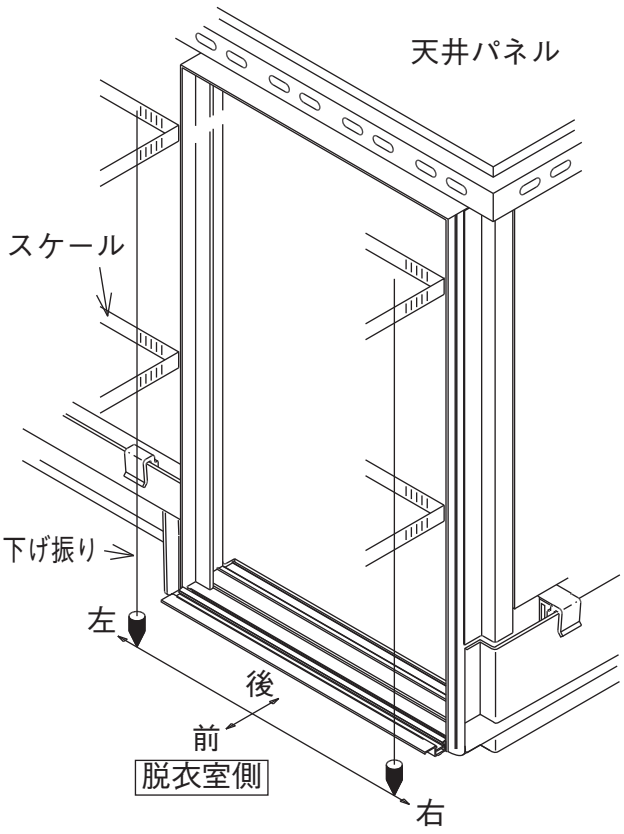

ドア建て起こし調整後に固定してください。

## 天井一天井固定 ⑦



# ドア枠鉛直度の調整（ドア建て起こし）

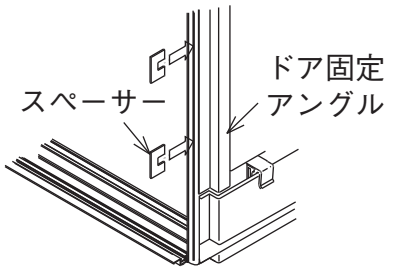
Ⓐ 下げ振りを使用してレベルを調整しながら、
必要に応じて縦枠内側よりスペーサーを挿入する。




## 施工のポイント

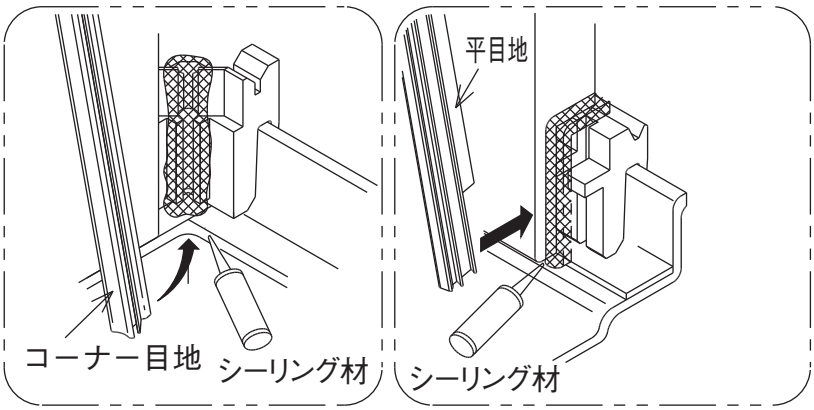
・ドア枠の前後・左右の垂直度（たおれ）を測定し、たおれは2mm以下に調整してください。
・あわせてドア枠（先端）の位置を再確認してください。
・ドア枠の建て起こし調整は天井～ドア枠のビス固定時の調整とあわせて、ドア縦枠～ドア固定アングルの間にスペーサーを入れて調整してください。
（建て起こし調整を行なわないと、ドア開閉がスムーズに出来なくなるおそれがあります。）

Ⓐ ドア固定アングルとドア枠の間にスペーサーを入れて調整する事もできます。



# 壁パネル目地の打ち込み

① 壁パネルジョイント（平、コーナー）部の下端にシーリング材を下図のように塗布してください。

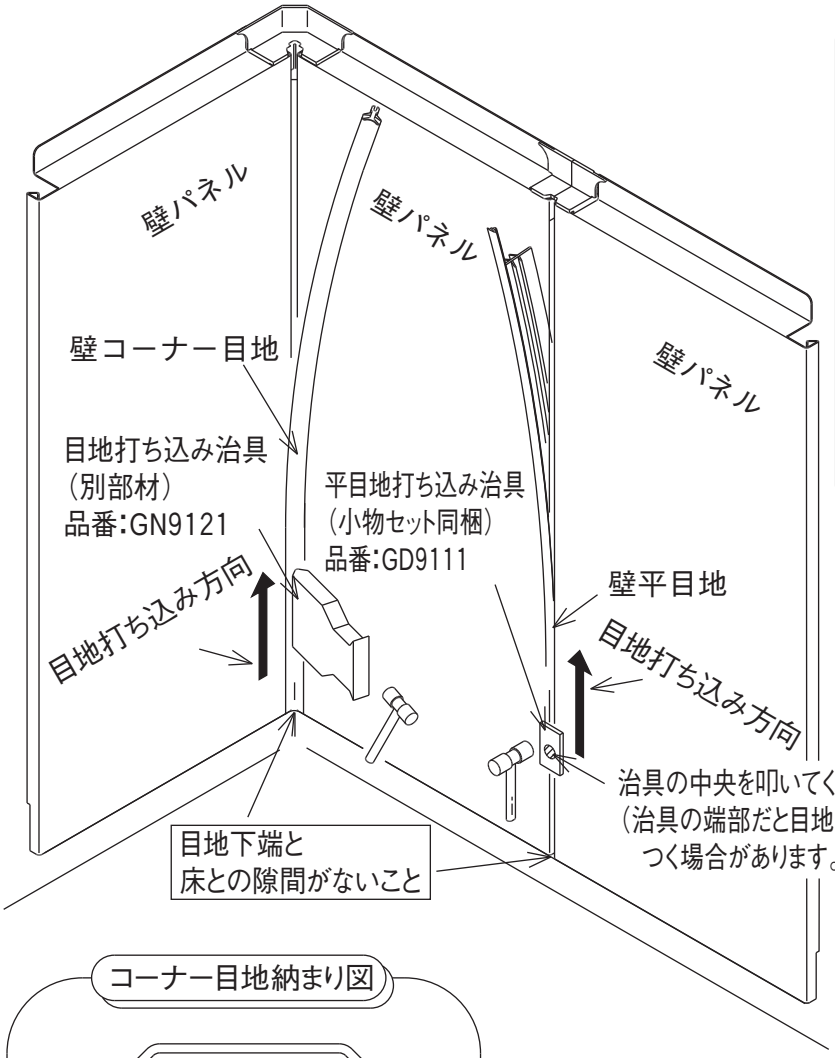



**⚠注意**

必ず守る

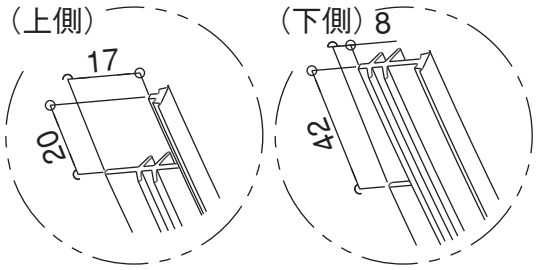
・シリコンシーリングは、
確実に行ってください。
（シリコンシーリングしないと、
水もれの原因となります。）

② 仮打ちした仮固定目地をはずし、打ち込み治具を使い、平目地、コーナー目地を下から打ち込んでください。




## 施工のポイント

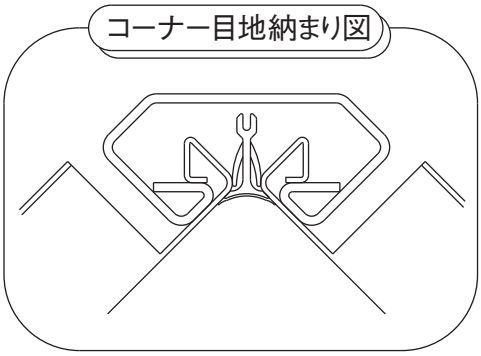
平目地の上下の見分け方
切り欠きの大きさで区別してください




## 施工のポイント

・壁平目地は一度に打ち込まないで
徐々に叩き込んでください。
（一度に打ち込むと、
目地が破損する原因となります。）

コーナー目地納まり図

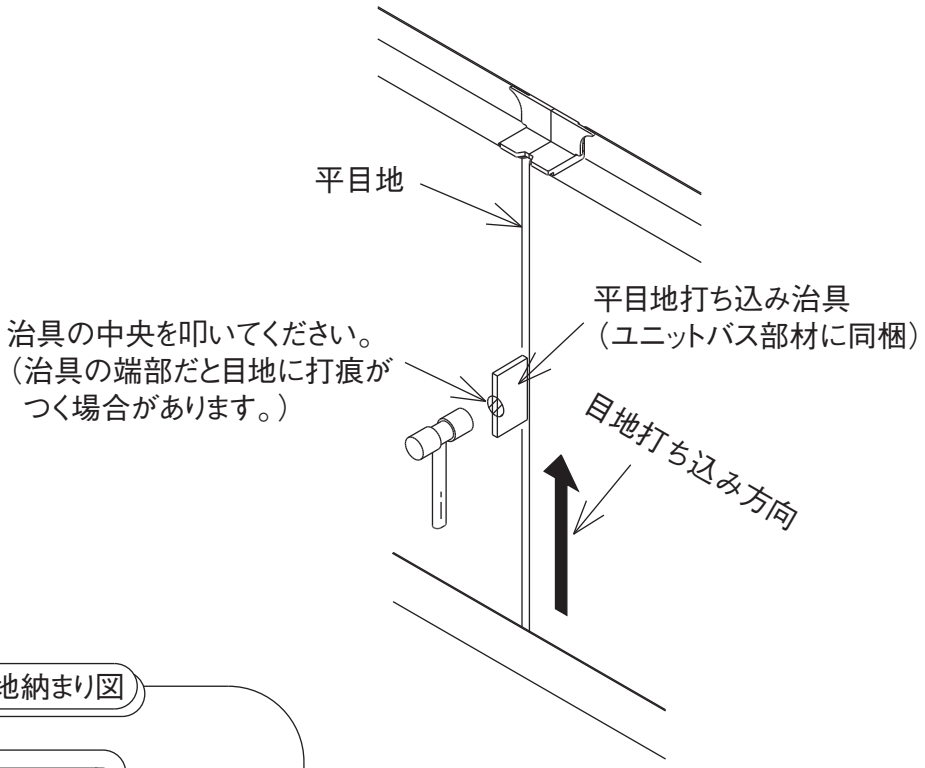


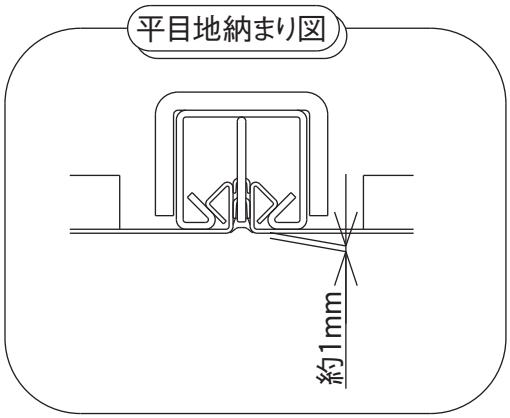
**⚠注意**

必ず守る

・目地は、必ず下から
打ち込んでください。
（下から打ち込まないと、
水もれの原因となります。）

③ 平目地は、治具を縦にし奥目地になるように、目地を打ち込んでください。
（平目地納まりは、下図参照ください）



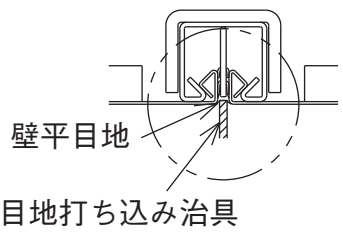

## ⚠注意

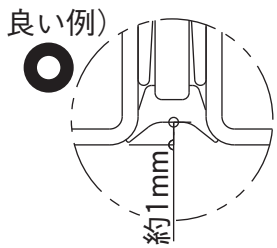
必ず守る

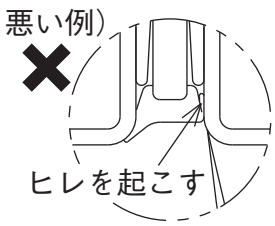
・目地は、必ず下から打ち込んでください。
（下から打ち込まないと、水もれの原因となります。）

## 施工のポイント

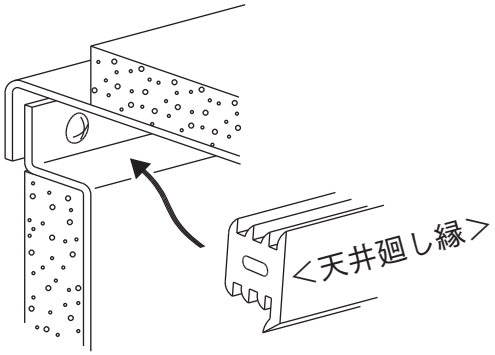
・壁平目地は一度に打ち込まないで徐々に叩き込んでください。
（一度に打ち込むと、目地が破損するおそれがあります。）
・打ち込み治具は平目地のセンターに当てて打ち込んでください。
（センターに当てないと、ヒレが入り込むおそれがあります。）
ヒレが入り込んだ場合は先がトガッタ物で壁を傷つけずにヒレを起こしてください。

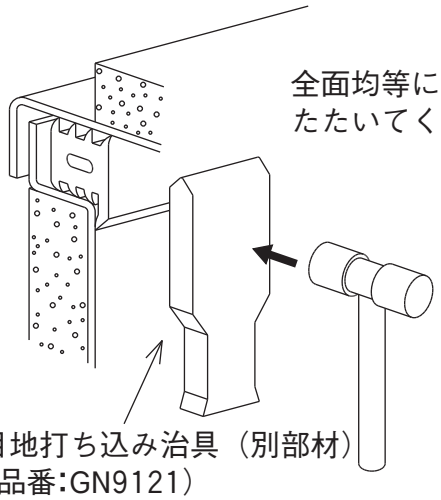


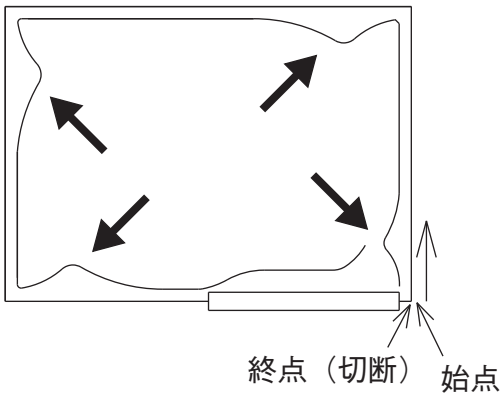



# 天井廻し縁の打ち込み



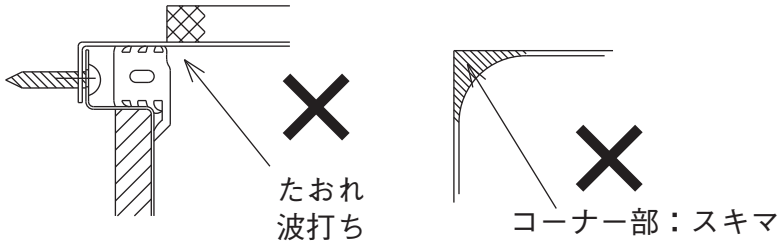

たるんだ部分をコーナーへ逃がす要領で、
打ち込んでください。




## ⚠注意

必ず守る

・必ず専用工具を使用してください。
（専用工具を使用しないと、
部材等が破損し水もれの原因となります。）




## 施工のポイント

・天井廻し縁を低温時にたたき過ぎないようにしてください。
（廻し縁が破損して水もれの原因となります。）

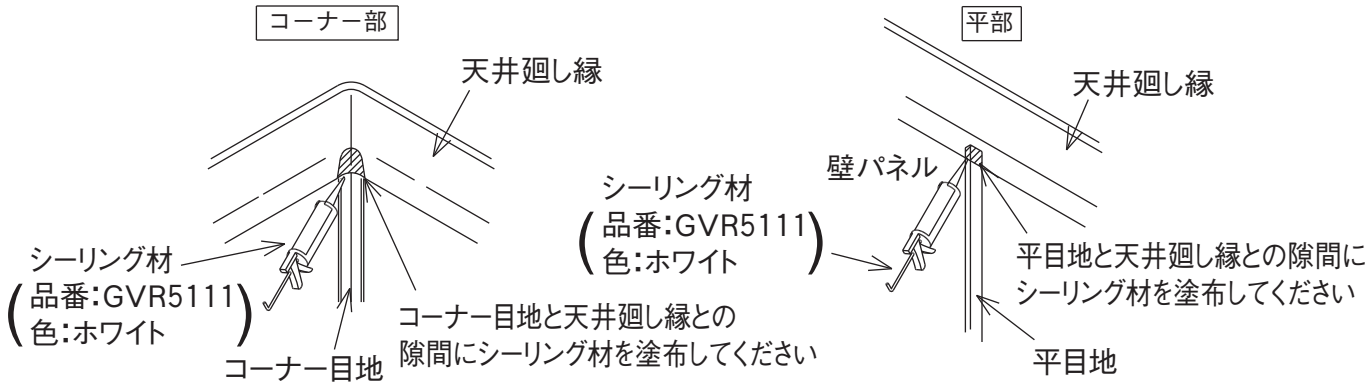
## ⚠注意

必ず守る

・天井廻し縁の継ぎ目は最終寸法調整（切断）後
シーリング材を注入し、打ち込んでください。
（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。）

# シリコンシーリング

・各廻し縁端部にシリコンシーリングをしてください




| 点　検　項　目 | 基　準 | 点検方法 |
|---|---|---|
| 1.天井廻し縁の納まり | たおれ、波打ちの無いこと | 目　視 |
| 2.天井廻し縁コーナー | コーナーのスキマが無いこと | 目　視 |
| 3.ドア枠 ～ 天井廻し縁 ＞ 継ぎ目 | シリコンシーリング | 目　視 |

## ⚠注意

必ず守る

・シリコンシーリングは、
確実に行なってください。
（シリコンシーリングしないと、
水もれの原因となります。）

# 6 最終作業

## 躯体チェック

ユニット廻りの建築間仕切り工事前に、床、壁、天井、建具等躯体各部のチェックを行なってください。
（各部の納まり寸法は施工図で確認の上チェックしてください）

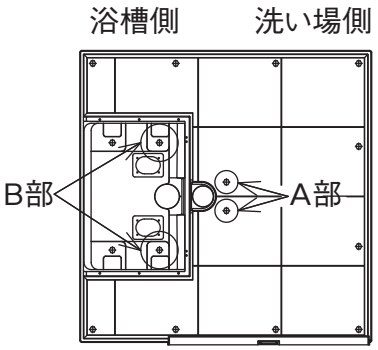
## 床 固 定

1.中央部の4本にゴムキャップがあることを確認してください。
（木造用の場合：中央部4本にゴム板を敷いてください）
2.中央部4本の調整をしてください。

A：洗い場下のボルトは1～1.5回転つき上げてください。

B：次に浴槽下のボルトを調整してください。（つき上げ不要です）

→ スパナが使用できませんので
プライヤーで回してください。



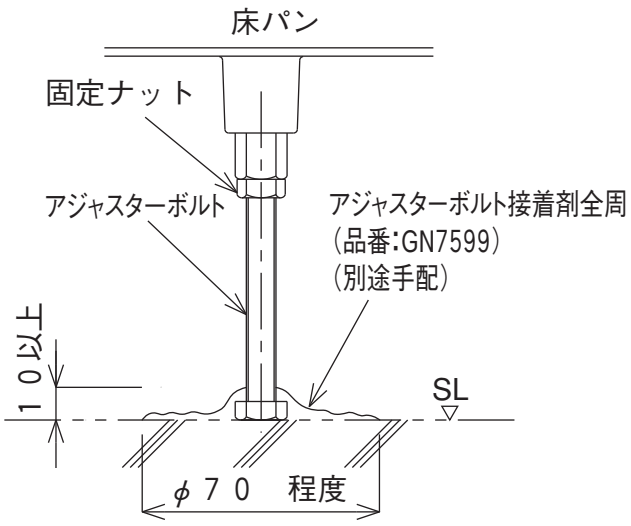

※本図は、ＡＲ勝手にて示す。

3.周囲12本を下図の要領で固定してください。
■コンクリート用アジャスターボルト：12本接着剤固定
■木造用アジャスターボルト：床外周開放部接着剤固定
（中央部4本は固定不要です）
4.中央部の4本のナットをロックしてください。

### 施工のポイント

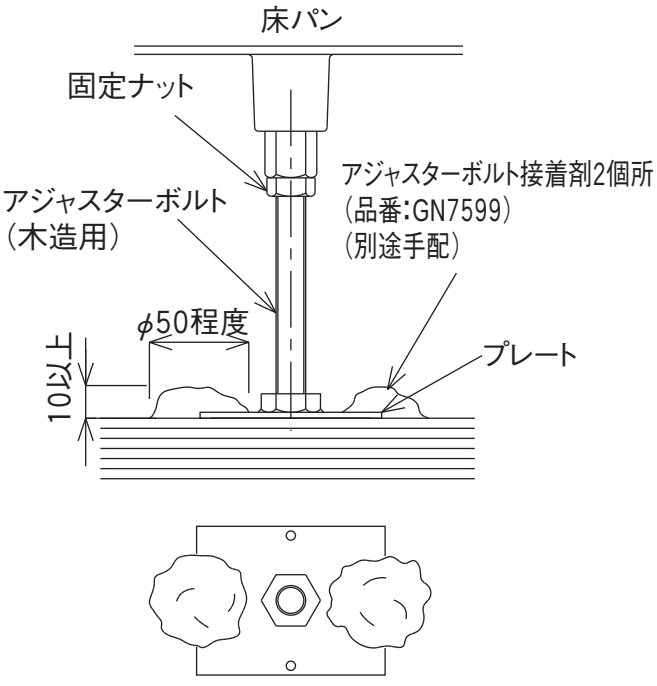
・固定前に床鳴りの無いことを確認してください。
（床パンの上に乗り足踏みして確認する）

■コンクリート用アジャスターボルト：接着剤固定




接着面の砂や塵、水、油等は、取り除いてから、施工してください。

■木造用アジャスターボルト：接着剤固定



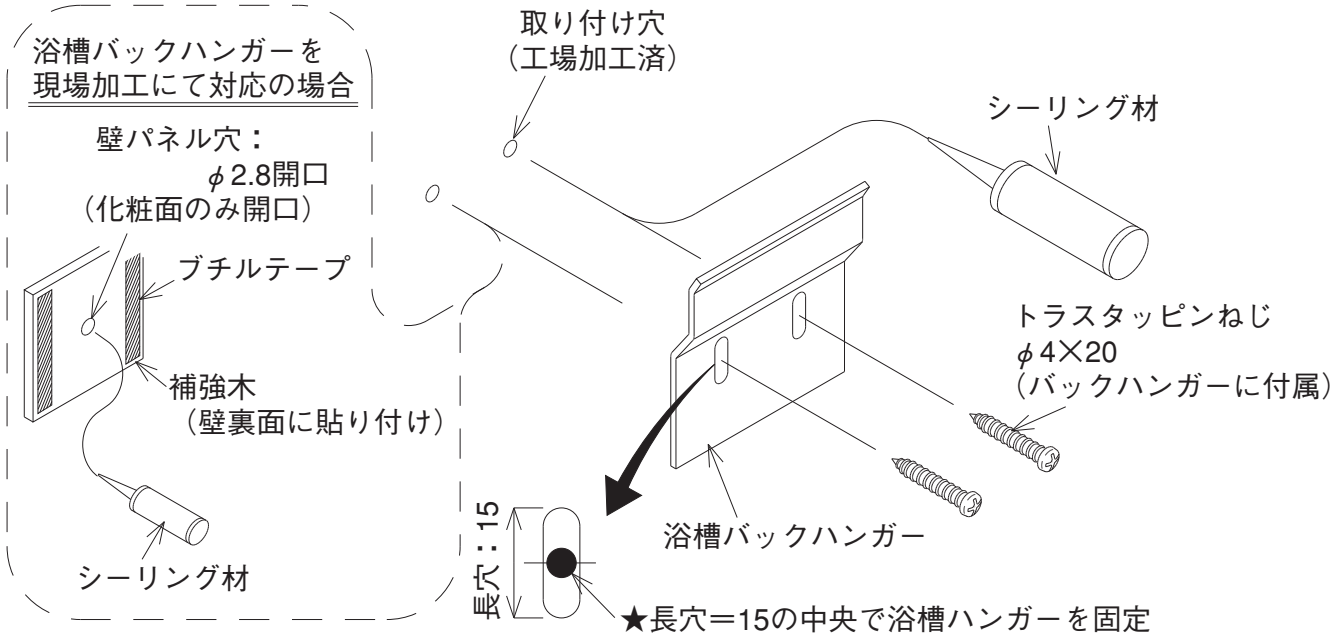

接着面の砂や塵、水、油等は、取り除いてから、施工してください。

# 浴槽バックハンガーの取り付け

①浴槽バックハンガーを取り付ける。（取り付け穴は、工場加工済）

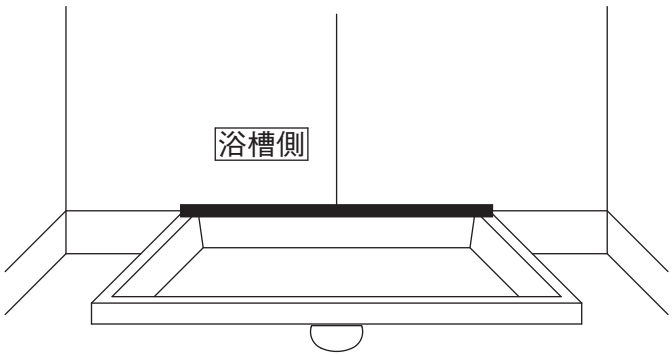
・浴槽バックハンガー取り付け穴にシーリング材を注入してください。

・浴槽バックハンガーは取り付け穴（長穴＝15）の中央で固定してください。




━━部をシリコンシーリングしてください。

浴槽据え付け前に、壁パネルと床パンの取合い部及び壁パネルと壁パネルの接続部（目地）をシリコンシーリングしてください。




## ⚠注意

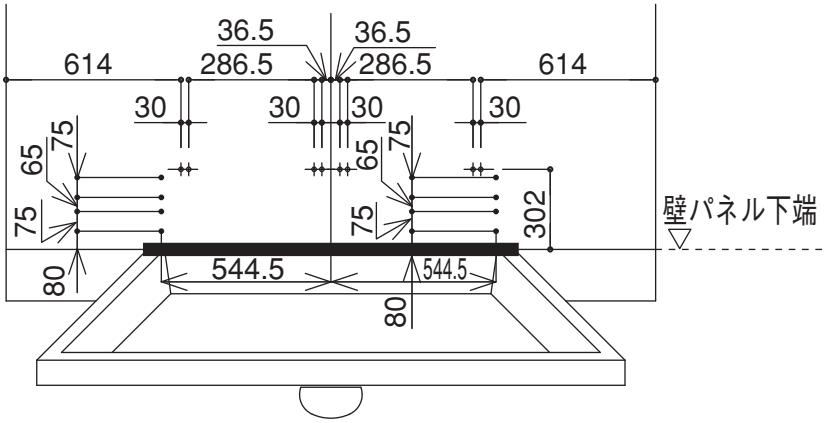
必ず守る

・器具取り付けの際、下穴に必ずシーリング材を注入してください。
（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。）

・壁パネルと床の接合部にシリコンシーリングしてください。
（シリコンシーリングしないと、水もれの原因となります。）

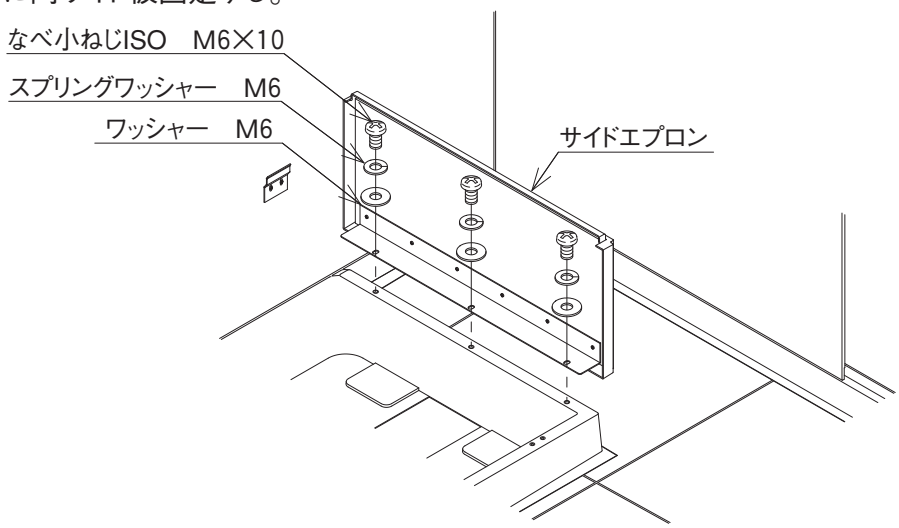
・浴槽バックハンガーの取り付けは、確実に行なってください。
（確実に取り付けないと、浴槽が倒れて、転倒やケガの原因となります。）

◆浴槽バックハンガー取り付け用下穴位置
（下穴φ2.8は壁裏面に合板貼り付け）
（8カ所）



# サイドエプロンの取り付け

1）サイドエプロンを床パンに両サイド仮固定する。

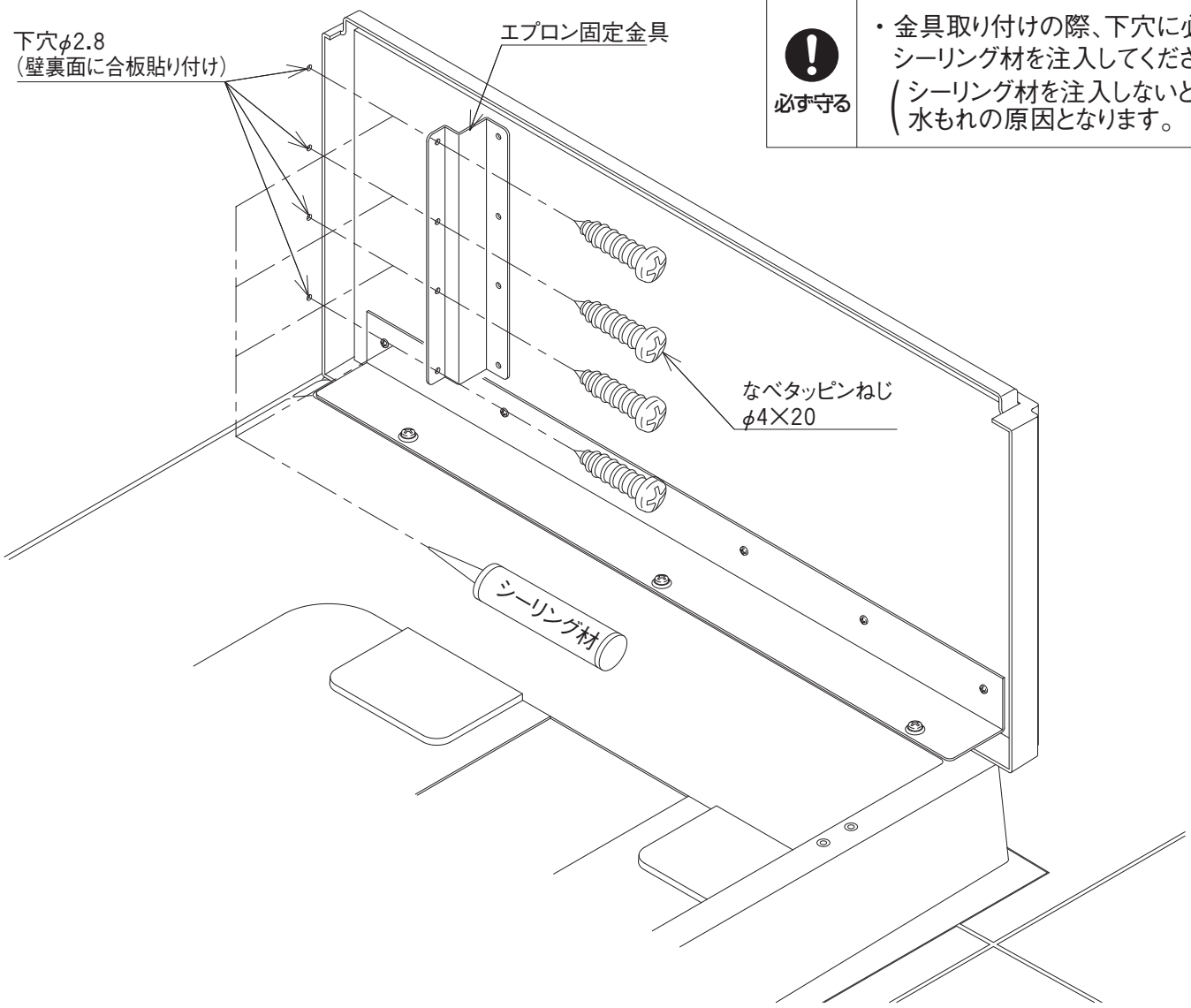



2）エプロン固定金具を壁に両サイド取り付ける。

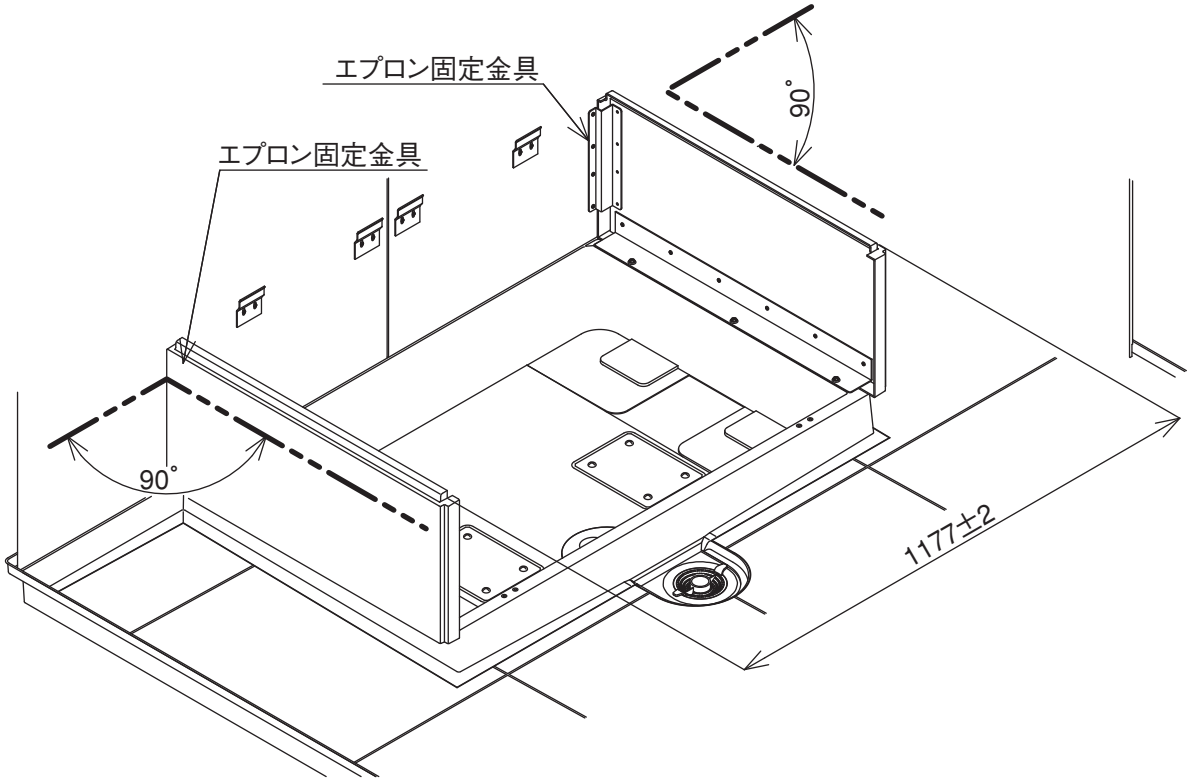
**⚠注意**

必ず守る

・金具取り付けの際、下穴に必ずシーリング材を注入してください。
（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。）

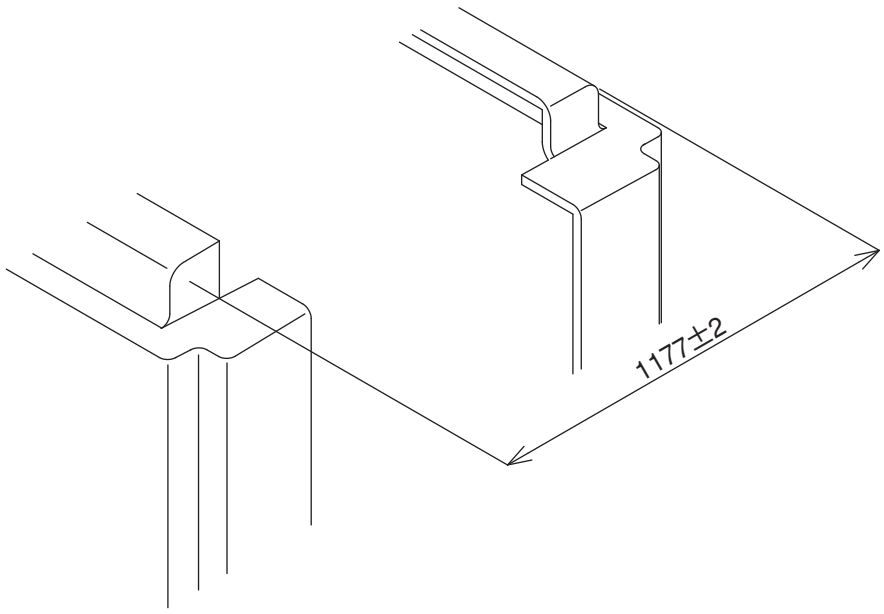


3）仮止めしているサイドエプロンの取り付け寸法を調整する。
※サイドエプロンは壁面に対して90˚に取り付くように調整してください。
※サイドエプロン取り付け寸法が1177±2以内になるように調整してください。



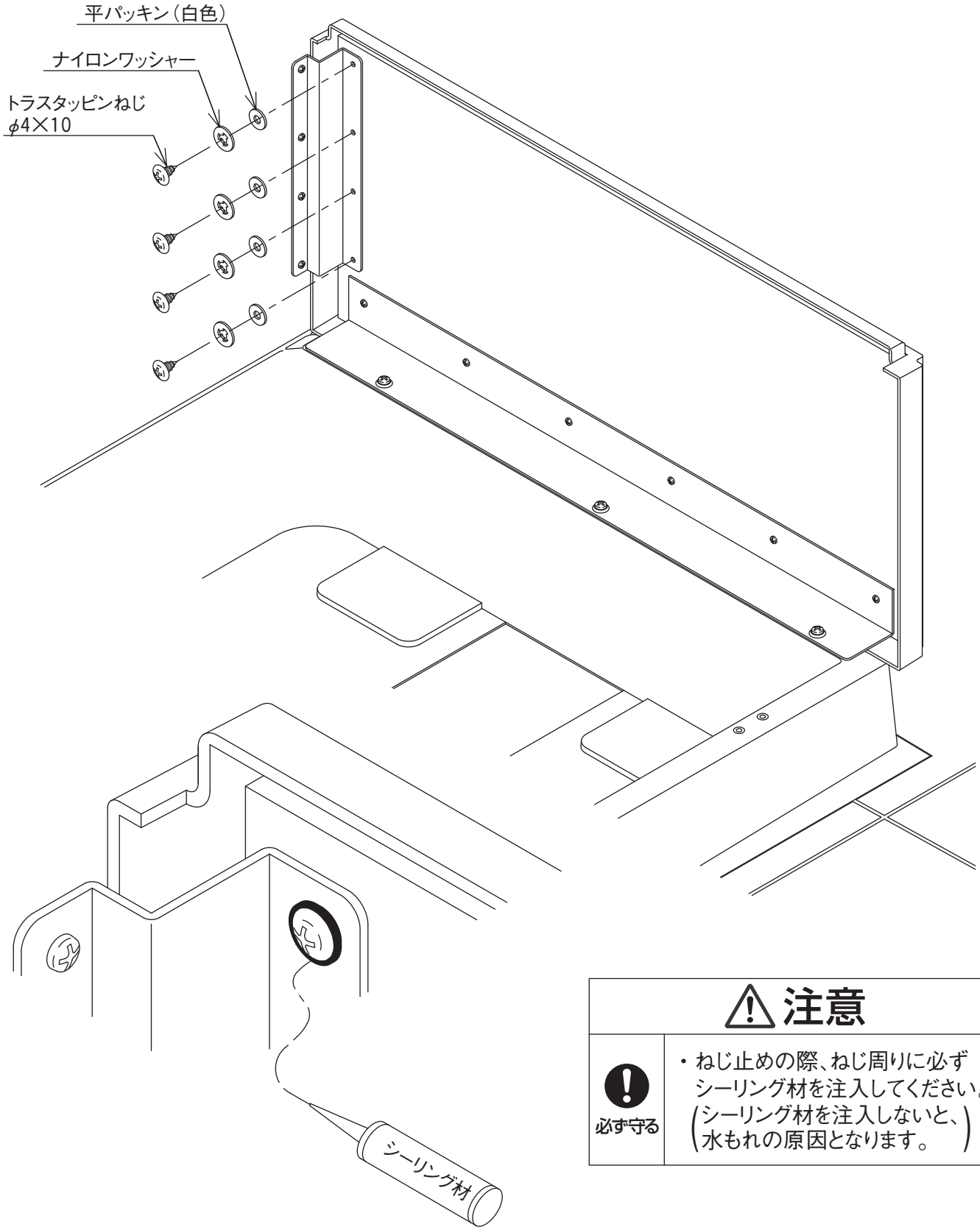

## 施工のポイント

・サイドエプロンは壁面に対して90˚に取り付くように調整してください。
（90˚に取り付けしないと浴槽が入らなくなります。）
・サイドエプロン取り付け寸法が1177±2以内になるように調整してください。
（1177±1以内に取り付けしないと浴槽が入らなくなります）




サイドエプロン寸法測定位置

4）サイドエプロン調整後サイドエプロンを固定する。
5）サイドエプロンとエプロン固定金具をジョイントする。
6）ねじ頭の周りにシリコンシーリングする。（4カ所）



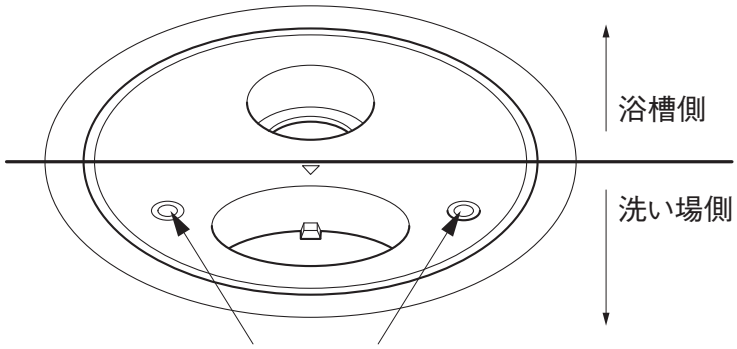

| ⚠注意 | |
|---|---|
| 必ず守る | ・ねじ止めの際、ねじ周りに必ずシーリング材を注入してください。（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。） |

# フロート弁付き目皿の前加工

・浴槽据え付け前に行なってください。

①浴槽に付いているフロート弁付き目皿のポップアップ排水ボタン側（片方のみ）を、φ8.5で穴開口する。

②浴槽下床パン排水口に取り付ける。

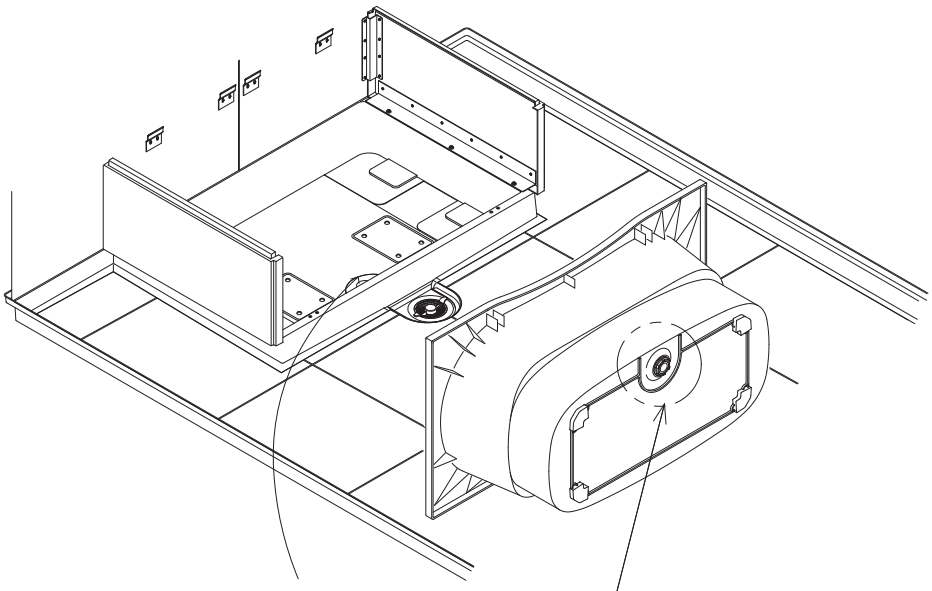



浴槽に付いているポップアップ排水ボタン側片方のみをφ8.5で穴開口する。

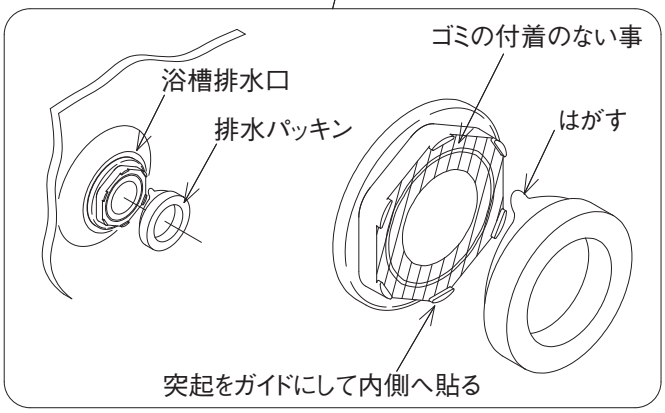
・フロート弁は外しておいてください。浴槽据え付け後に取り付けます。

# 排水パッキンの取り付け・浴槽の据え付け

①浴槽を床パン据え付け部に仮置きし、排水パッキンを取り付けてください。



浴槽下床パン排水口（ゴミの付着のない事）

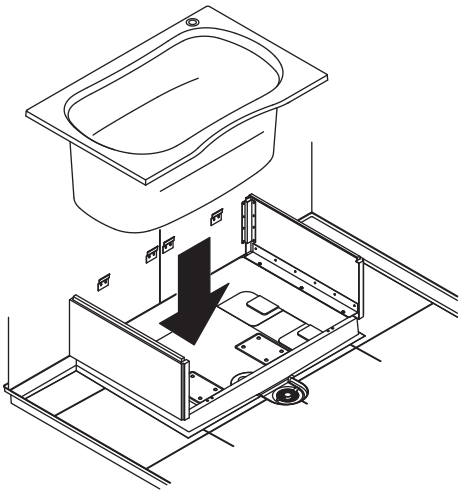



## 施工のポイント

・排水パッキンはユニットバスルームに浴槽設置する直前に、取り付けてください。
・浴槽排水口裏面および浴槽下床パン排水口にゴミの付着のない事
・排水パッキンのたおれ／ズレ等無きことを確認してください.

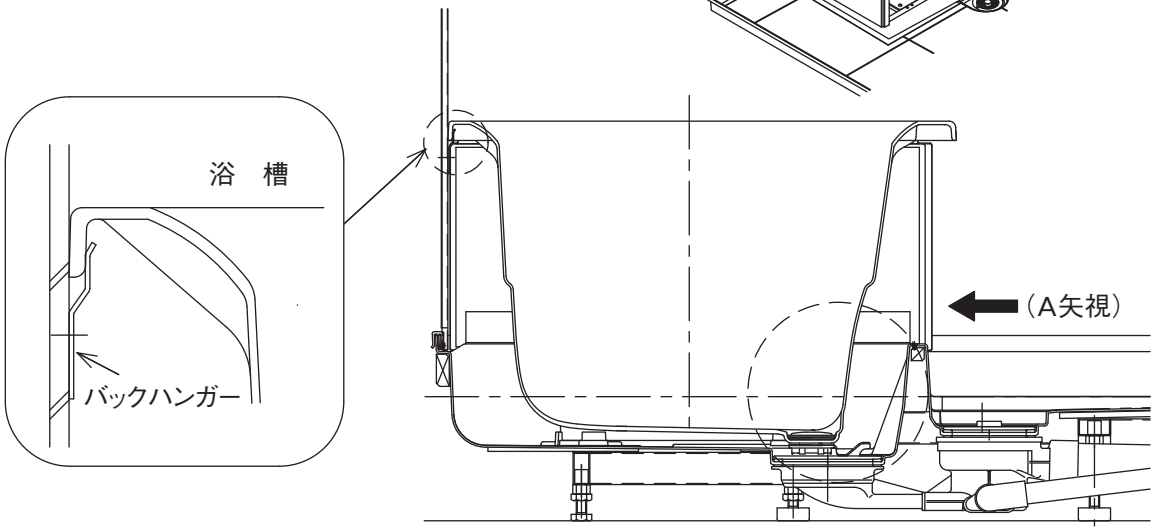
## 施工のポイント

・浴槽を据え付ける時点で必ず浴槽への追い焚き釜工事を行なってください。
（浴槽据え付け後の工事は出来ません。）

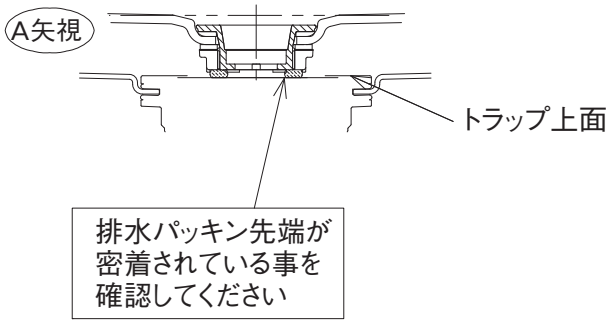


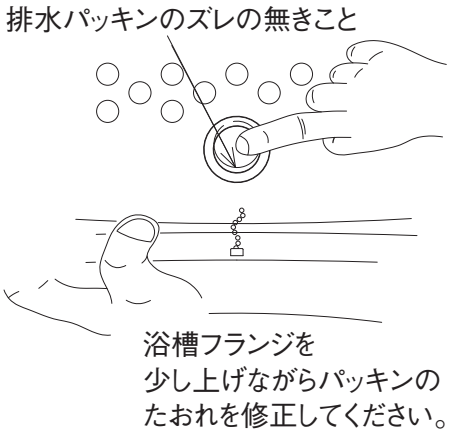
②浴槽をバックハンガーにはめ込み、据え付ける。

・浴槽据え付け時に、排水パッキンを破損しないようにしてください。




③浴槽据え付け時に排水パッキンを確実にトラップ上面に密着させる。




## ⚠注意

必ず守る

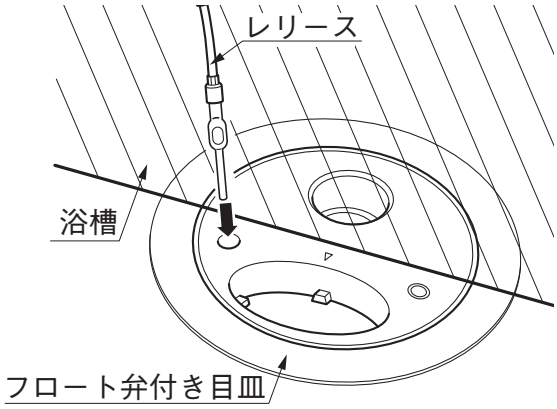
・排水パッキンが密着されてる事、ゴミ詰まりが無い事を確認ください。
（排水パッキンが密着されてなかったり、ゴミ詰まりがあると、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下排水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。）

## 施工のポイント

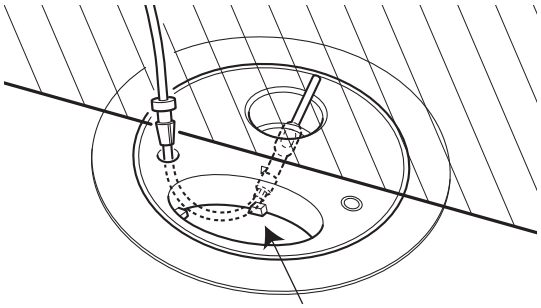
・排水パッキンはユニットバスルームに浴槽設置する直前に、取り付けてください。
・浴槽排水口裏面および浴槽下床パン排水口にゴミの付着のない事。
・排水パッキンのたおれ／ズレ等無きことを確認してください。

# ポップアップ排水栓の取り付け

①ポップアップ排水栓用レリースの先端をフロート弁付き目皿に開口した穴に差し込む。

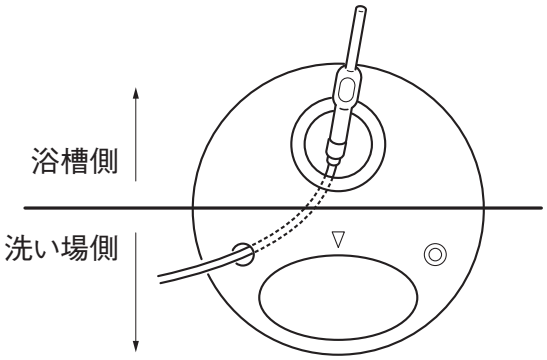



②フロート弁取り付け穴から指を入れて、レリースの先端を浴槽排水口へ送り出す。

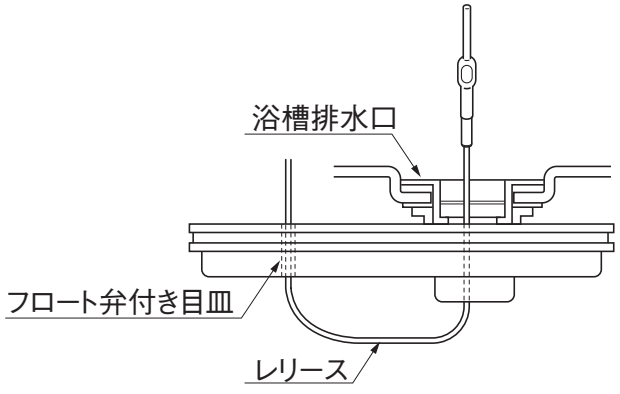


ここから指を入れて、先端を浴槽排水口へ送り出す。

〈真上から見た図〉

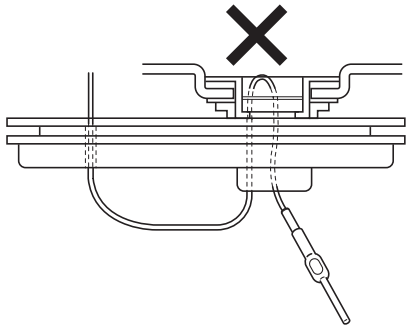



③浴槽排水口からレリースの先端を引っ張り出す。



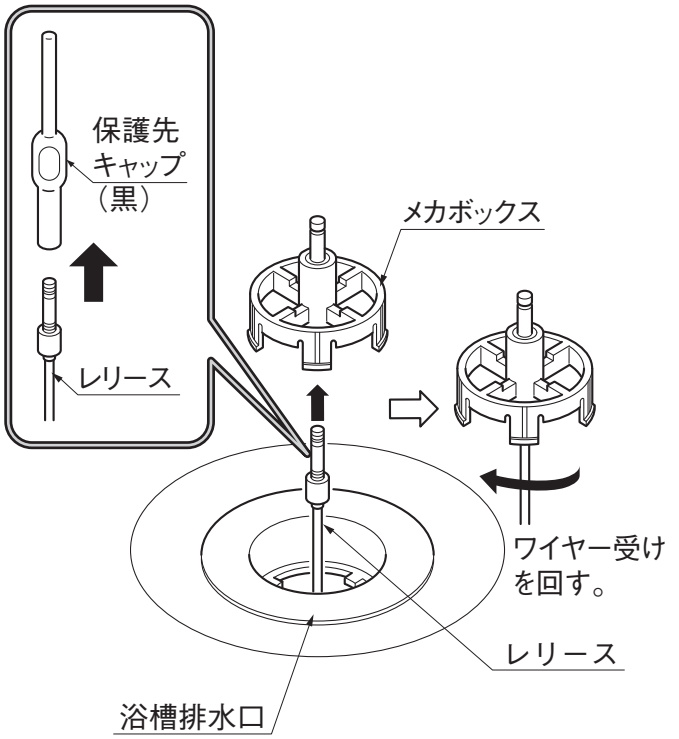

## 施工のポイント

・レリースのワイヤー部分を折り曲げて引き出さないでください。
（ワイヤー部分を折り曲げると、ポップアップ排水栓が開閉しにくくなるおそれがあります。）



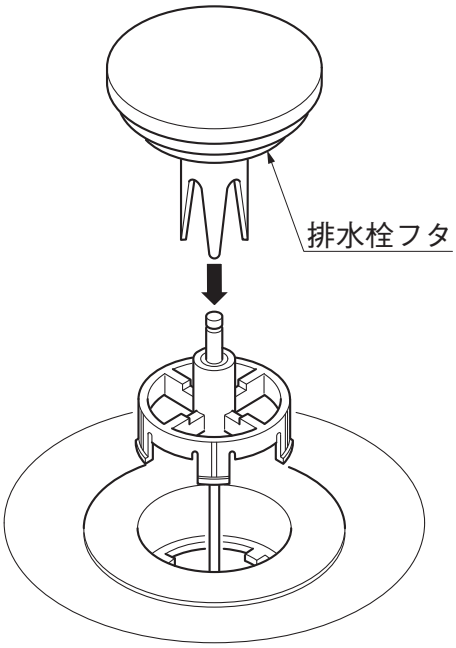
ワイヤー部分を折り曲げない。

④レリース先端の保護先キャップを取りはずし、メカボックスを取り付ける。

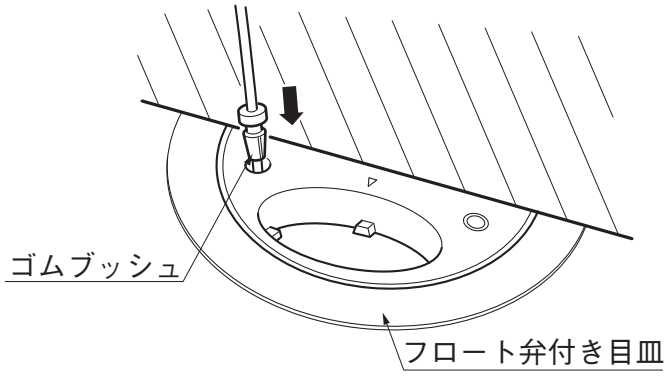



⑤メカボックスを浴槽排水栓に押し込み、レリースの先端に排水栓フタを取り付ける。

・排水栓フタはカチッと音がするまで押し込んでください。




⑥ゴムブッシュをフロート弁付き目皿の穴に押し込み、レリース位置を固定する。




⑦以上の取り付け作業が終わったら、ポップアップ排水栓を 2 ～ 3 回開閉させて、異常がないかチェックする。

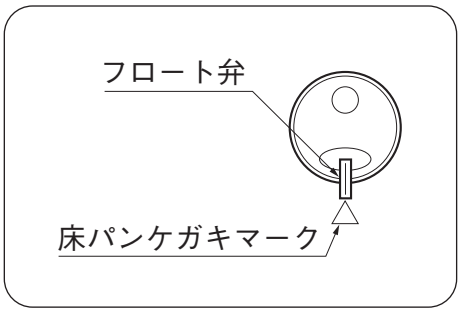
・以下の点をご確認ください。

## 施工のポイント

- ポップアップ排水ボタンを押すたびに、排水栓フタが正しく上下することを確認してください。
- 排水栓フタが下がった状態の時、スキ間ができていないことを確認してください。
- ポップアップ排水ボタンを押す際、引っ掛かりや異常に重い感じがしないことを確認してください。
- 水張り検査を行ない、排水栓フタから水抜けがないことを確認してください。

# フロート弁の取り付け

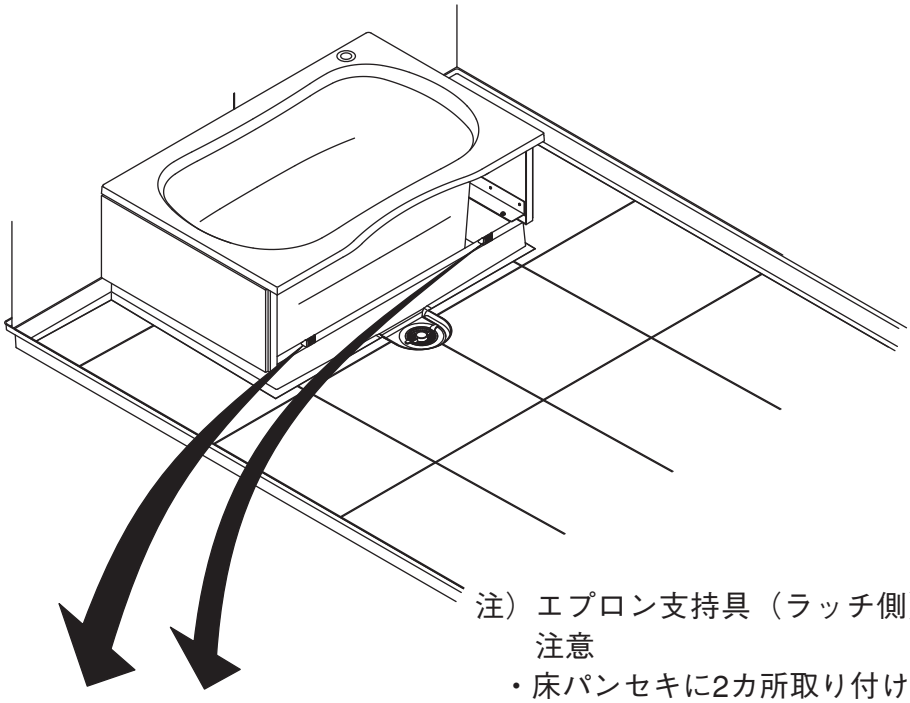
①浴槽排水口と接続したフロート弁付き目皿にフロート弁を取り付ける。



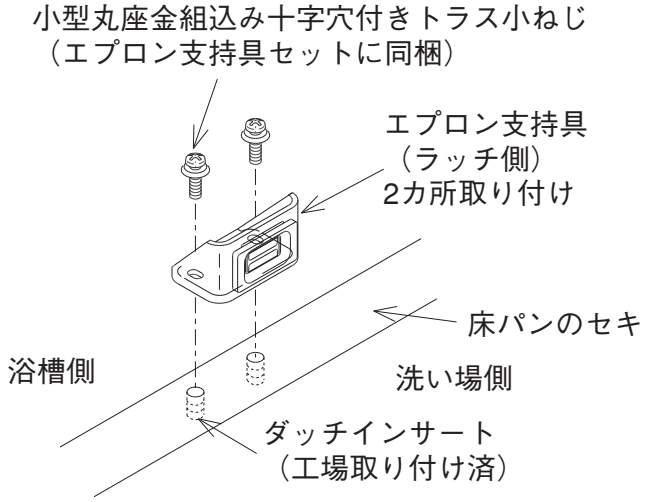

| ⚠注意 | |
|---|---|
| 必ず守る | ・フロート弁は床パンのケガキ（△マーク）に合わせて取り付けてください。<br>（位置を合わせないと、浴槽設置後、浴槽排水口とトラップ排水口の穴がずれ、浴槽排水時に床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下排水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。） |

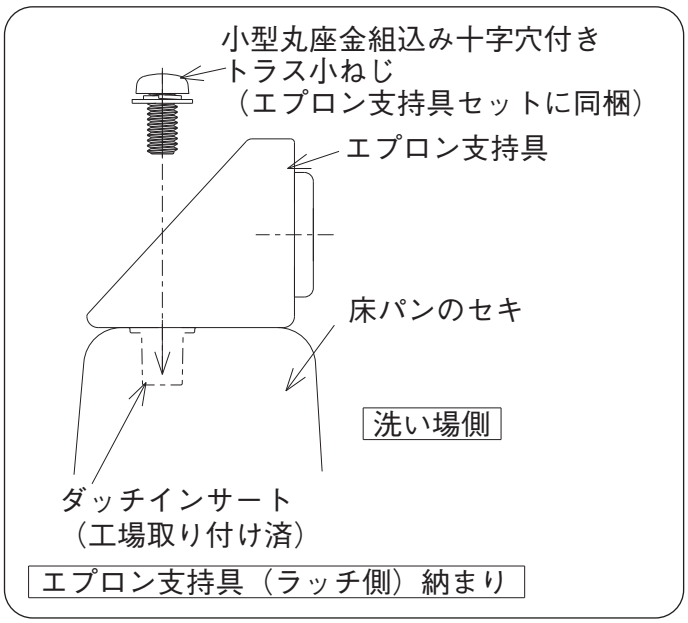
# エプロン支持具の取り付け

①床パンのセキに、エプロン支持具を小型丸座金組込み十字穴付きトラス小ねじ（ばね座金、平座金組込みねじ）にて取り付ける。



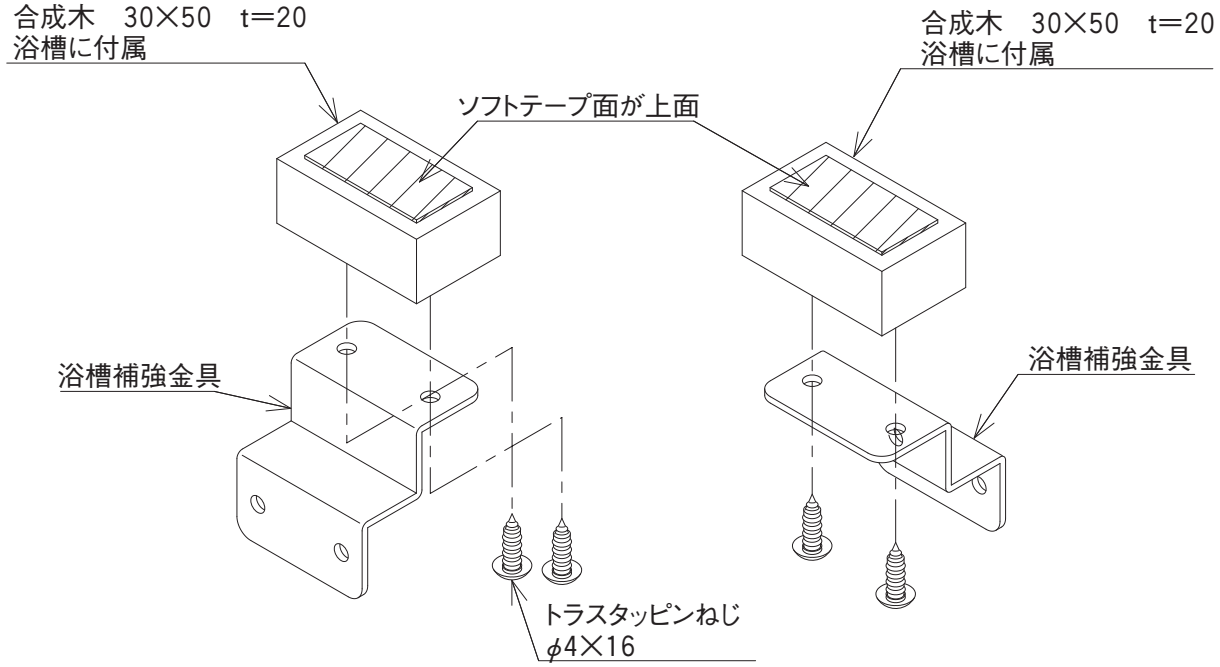
注）エプロン支持具（ラッチ側）取り付け方向に注意
・床パンセキに2カ所取り付ける。



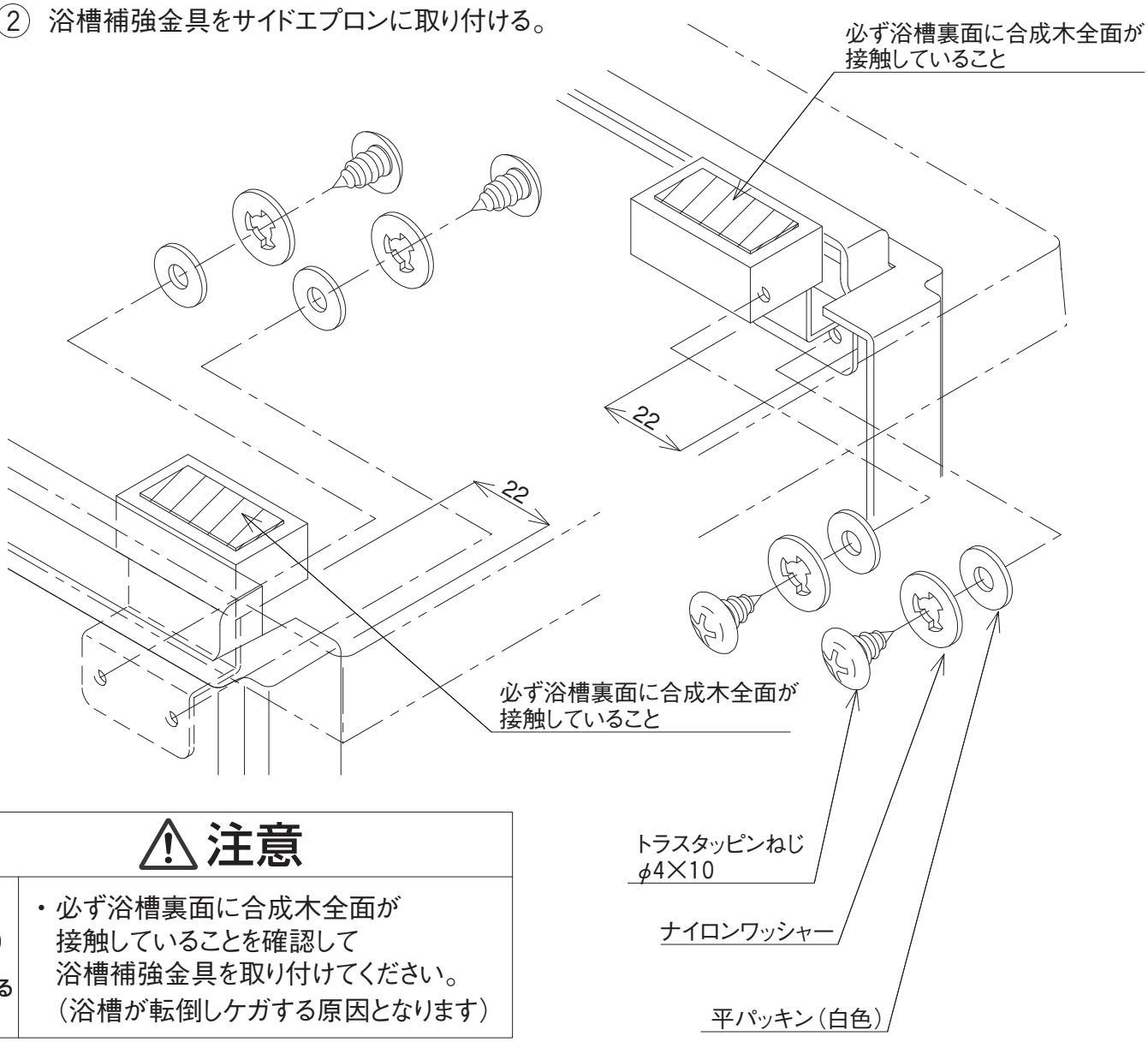



# 浴槽補強金具の取り付け

① 浴槽補強金具に浴槽に付属している合成木を取り付ける。



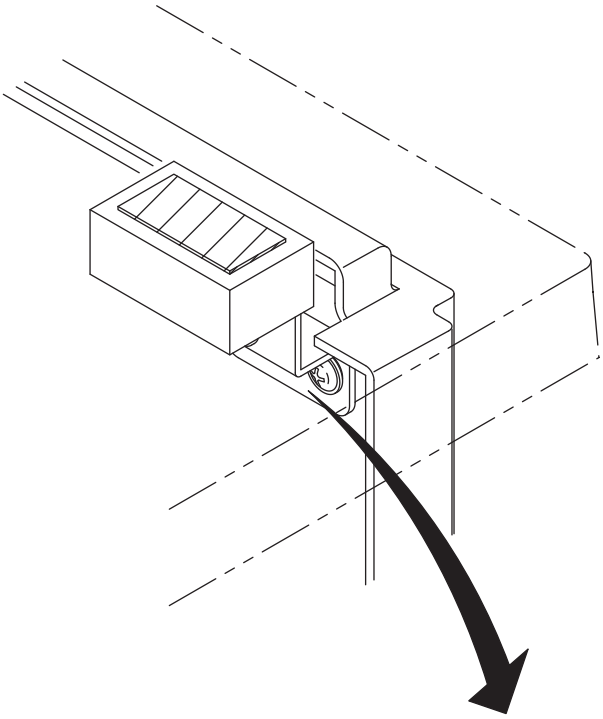

② 浴槽補強金具をサイドエプロンに取り付ける。

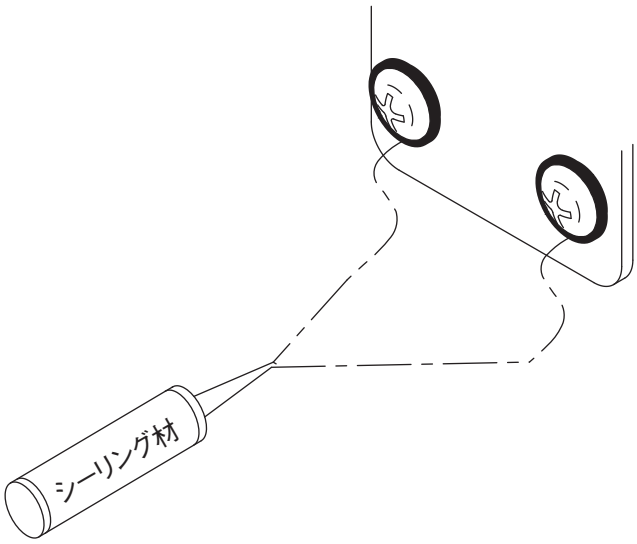



## ⚠注意

| | |
|---|---|
| 必ず守る | ・必ず浴槽裏面に合成木全面が接触していることを確認して浴槽補強金具を取り付けてください。（浴槽が転倒しケガする原因となります） |

③ サイドエプロン側の固定ネジ頭周りにシリコンシーリングする。





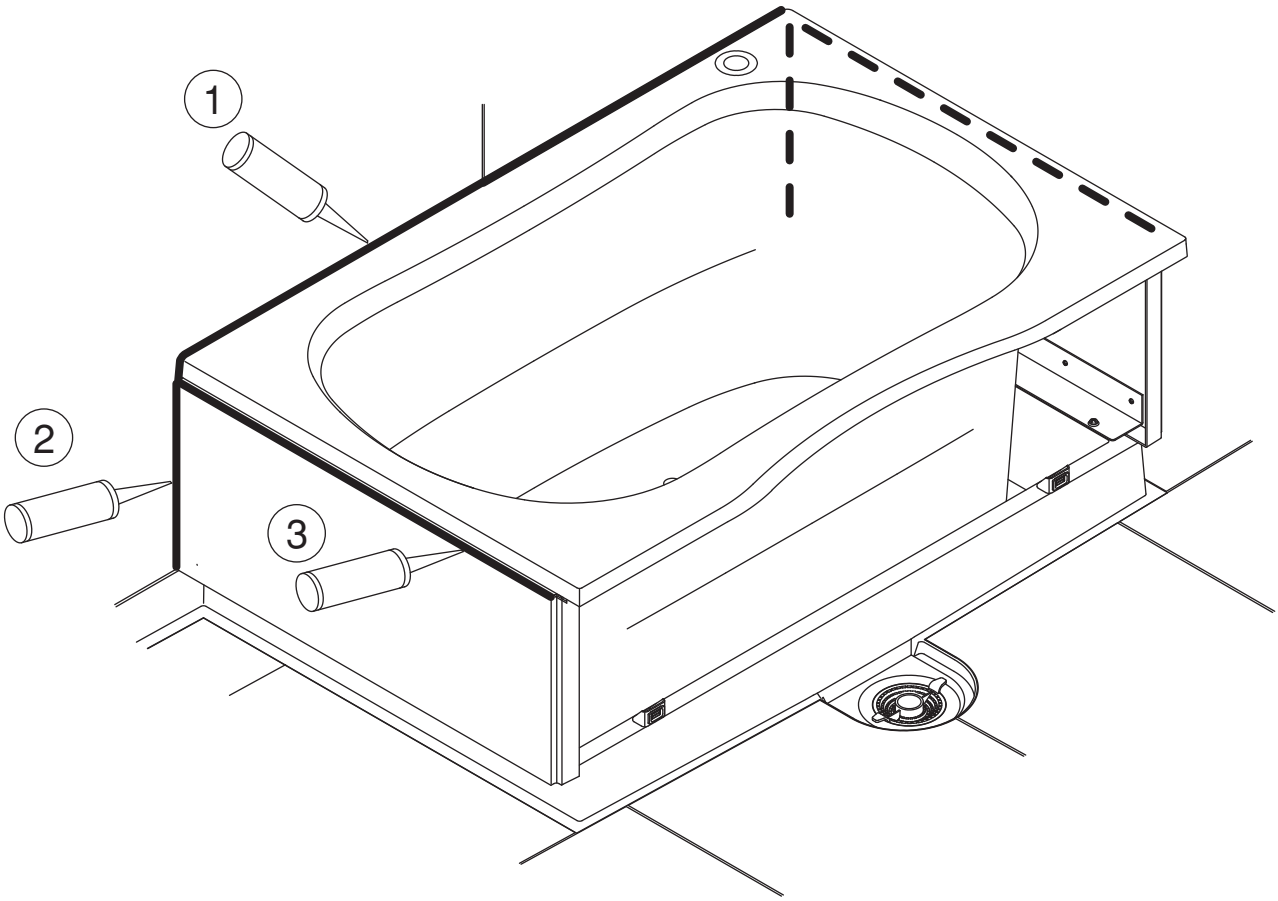

| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| 必ず守る | ・ねじ止めの際、ねじ周りに必ずシーリング材を注入してください。<br>（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。） |

# シリコンシーリング（浴槽周り）

・浴槽周囲のシリコンシーリングを行なってください。

## 施工のポイント

・シリコンシーリングは必ずエプロンを取り付ける前に行なってください。




| 番号 | 部　　位 | 品番（色） |
|---|---|---|
| ① | 浴槽～壁 | VAGVR5111（ホワイト） |
| ② | 壁～サイドエプロン | |
| ③ | 浴槽サイド～エプロン | |

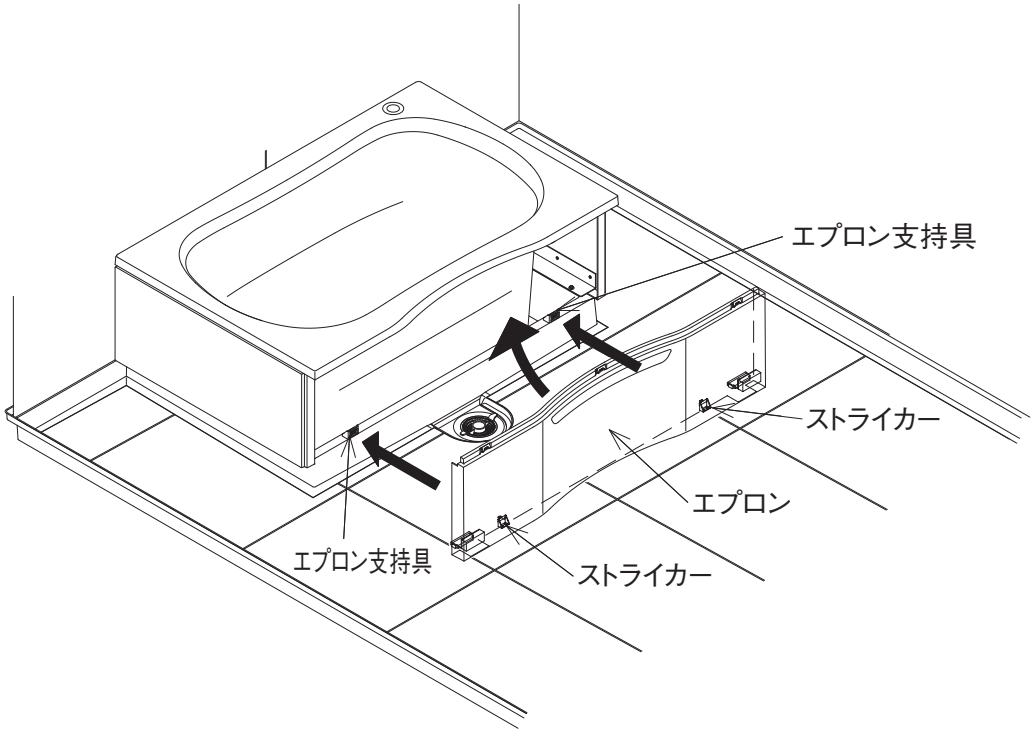
## ⚠注意

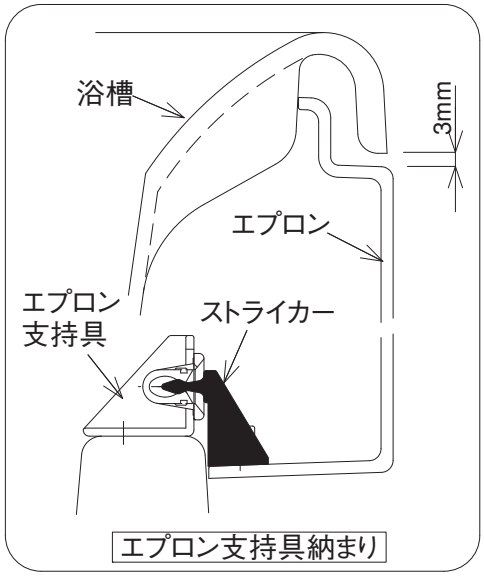
| | |
|---|---|
| 必ず守る | ・シリコンシーリング箇所の汚れ、水分などは事前にきれいにふき取ってください。<br>・シリコンシーリングの必要箇所は確実にシリコンシーリングを行なってください。<br>（必要箇所にシリコンシーリングをしないと水もれの原因となります。） |

# エプロンの取り付け

①エプロンを浴槽フランジにはめ込む。

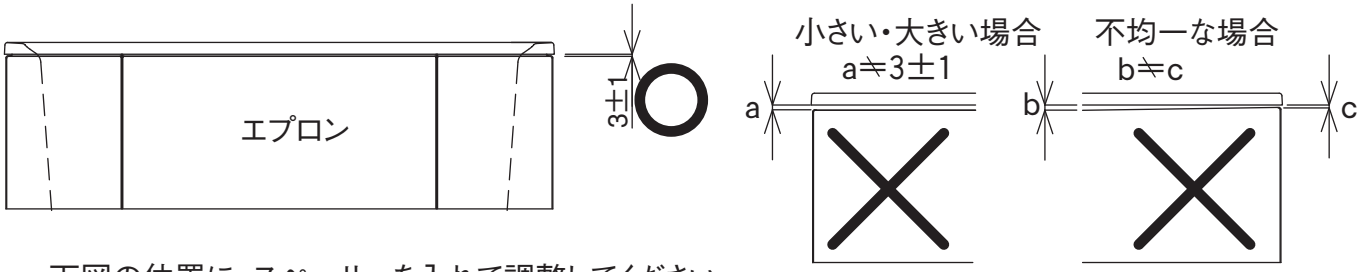
②エプロン下端にあるストライカーを、エプロン支持具にはめ込む。



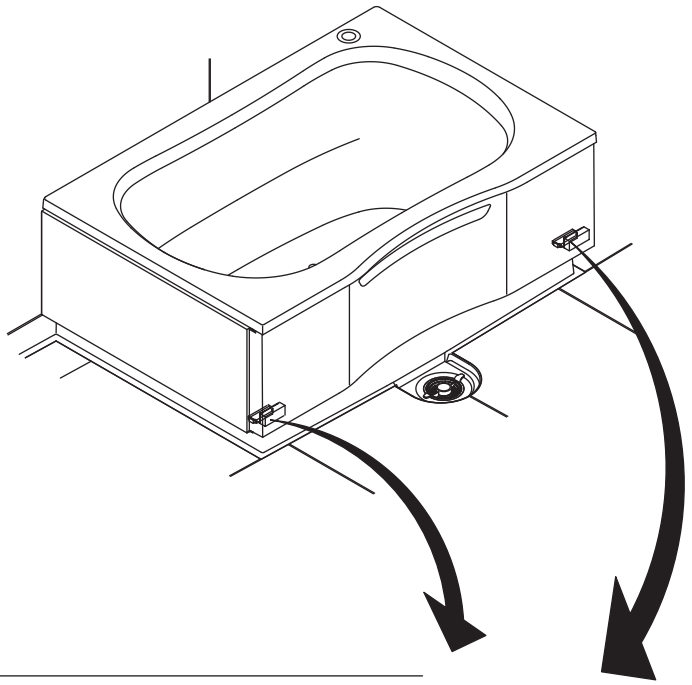



# エプロンの高さ調整

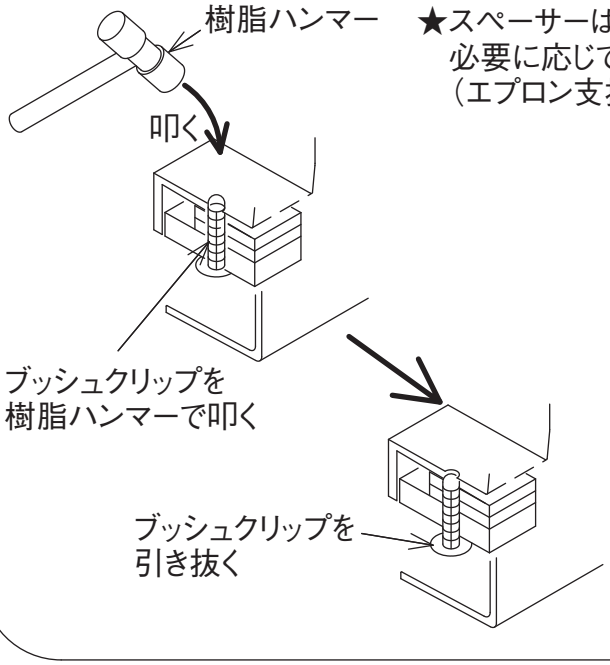
エプロン下スペーサーの使用
浴槽フランジ下端とエプロンの隙間が大きい場合、
また、不均一な場合はエプロン支持具に付属のエプロン下スペーサーを使って正しい納まりに調整してください。




下図の位置に、スペーサーを入れて調整してください。
★スキマ調整用スペーサーは、エプロン支持具セットに付属

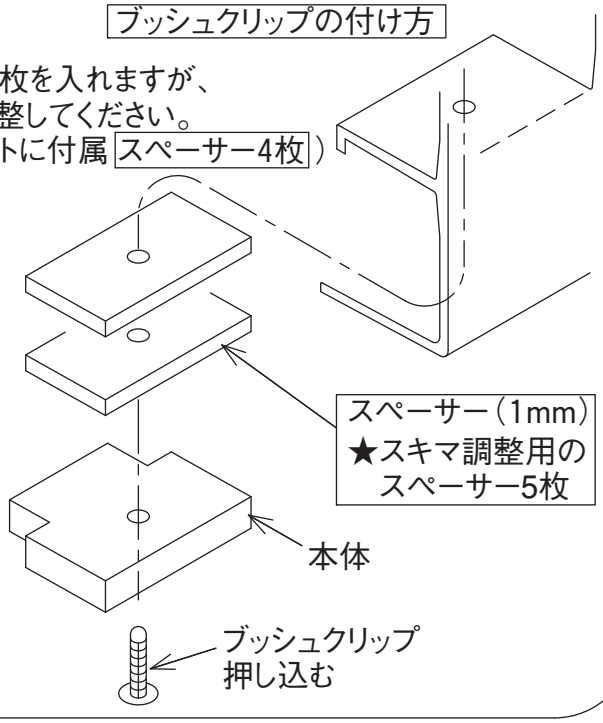


ブッシュクリップの外し方



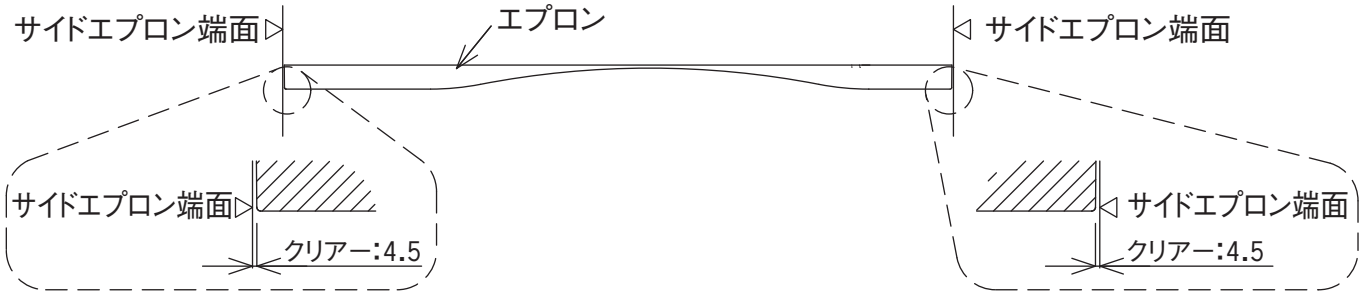

ブッシュクリップの付け方

★スペーサーは、基準5枚を入れますが、
必要に応じて高さ調整してください。
（エプロン支持具セットに付属 スペーサー4枚）



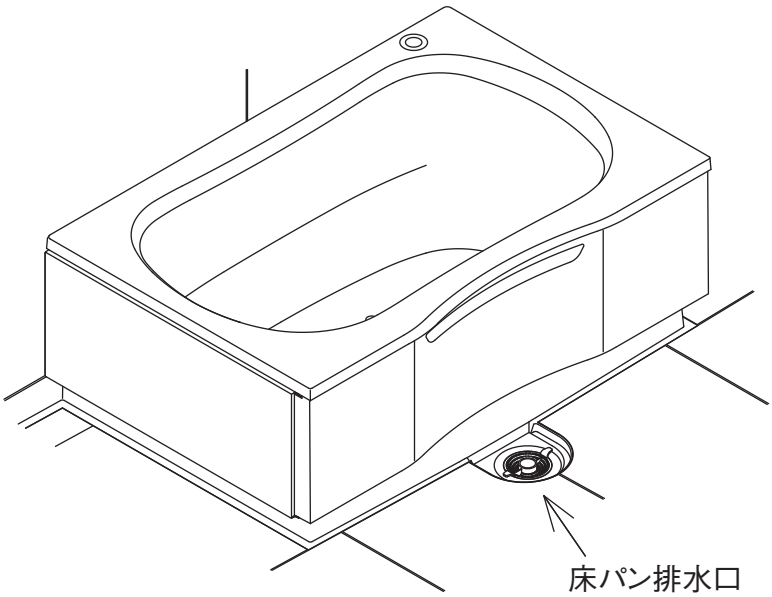
## エプロンの調整

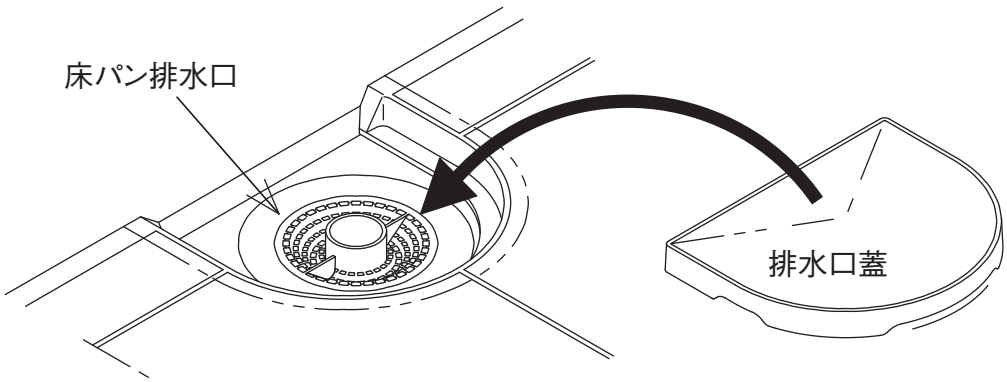
・下記寸法を目安に、浴槽エプロン位置を調整してください。




## 排水口蓋の取り付け

・床パン排水口に排水口蓋を取り付けてください。

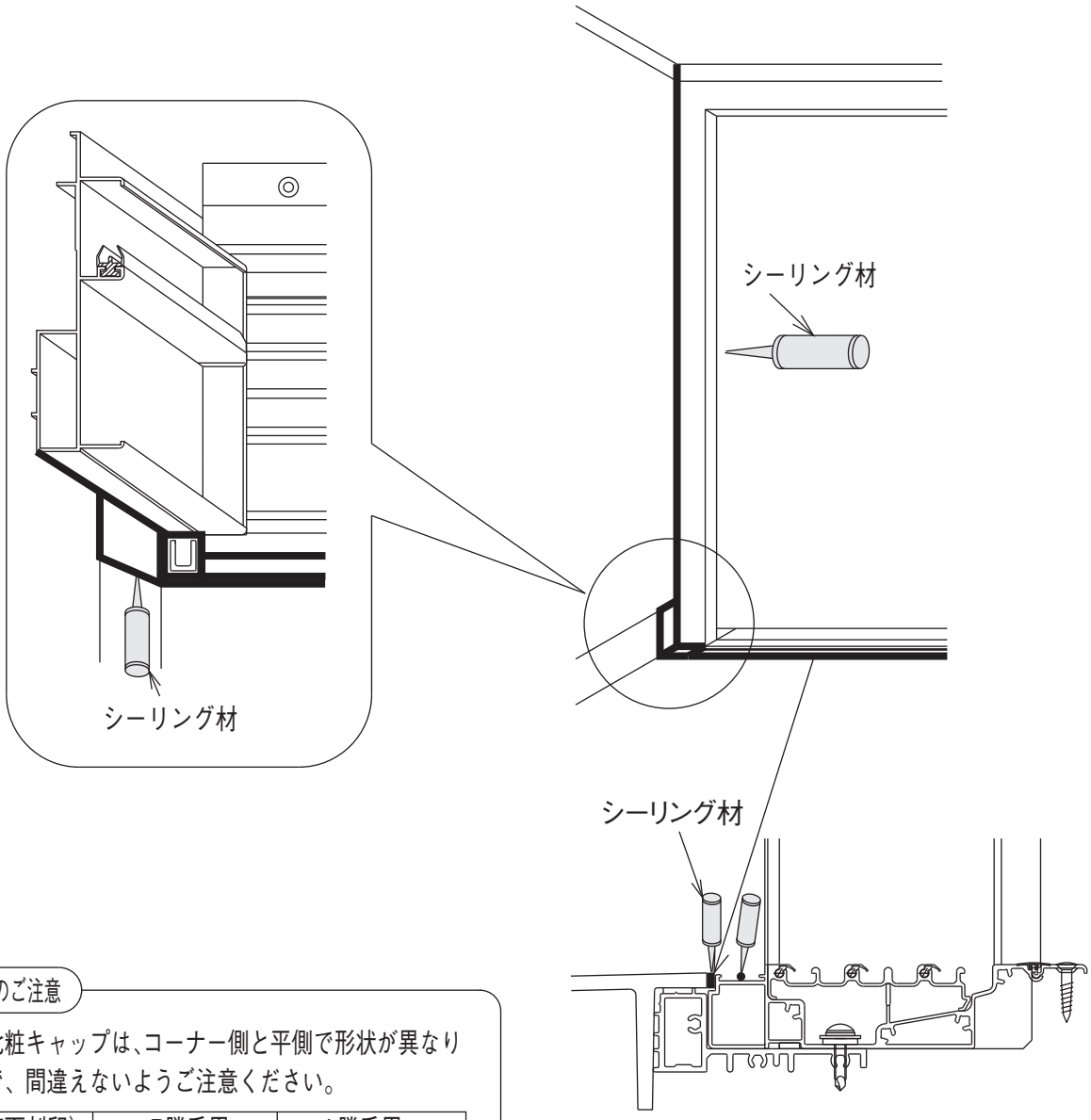


# ドア周り仕上げ（W1600サイズ3枚引き戸の場合）

※W1400サイズ3枚引き戸については、専用の施工説明書をご覧ください。

①浴室内側よりドア枠周辺（ ▬ ）にシリコンシーリングをしてください。




施工上のご注意

・ドア隅化粧キャップは、コーナー側と平側で形状が異なりますので、間違えないようご注意ください。

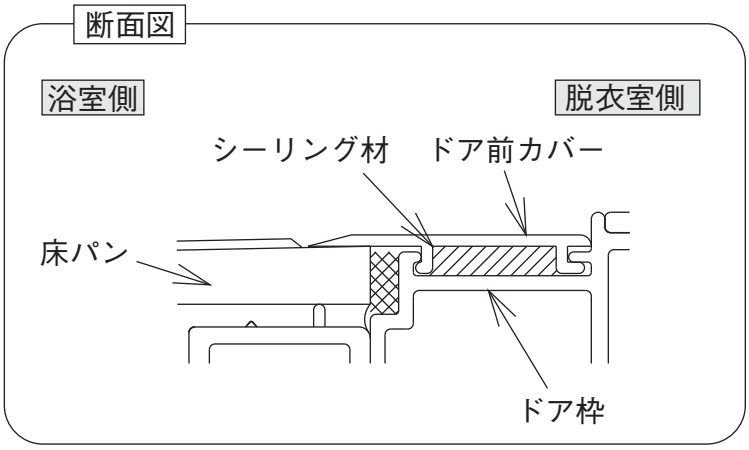
| 品番（裏面刻印） | R勝手用 | L勝手用 |
|---|---|---|
| 平側用 | GVGF10102 | GVGF10101 |
| コーナー側用 | GVGF10103 | GVGF10104 |
| コーナー、コーナー用（R・L勝手共通） | GVGF10103のコーナー　1個 | |
| | GVGF10104のコーナー　1個 | |

## ⚠注意

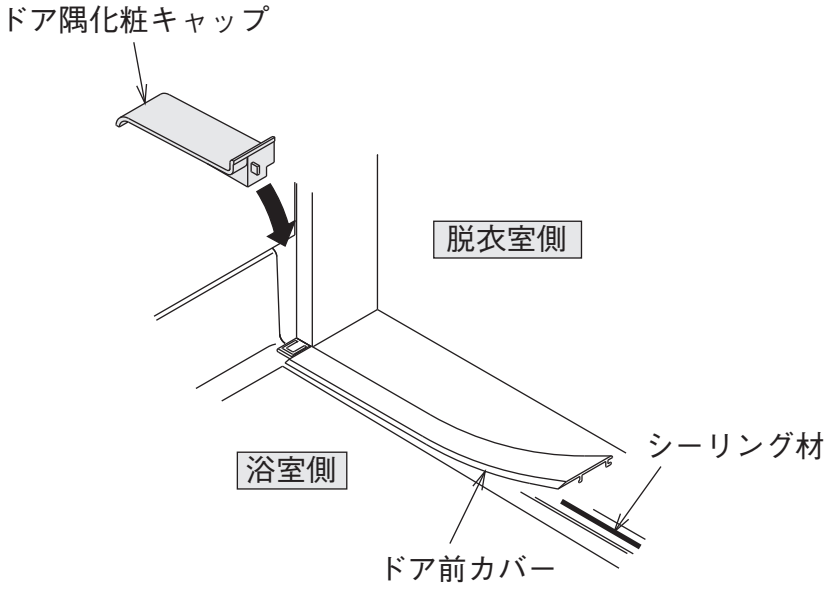
必ず守る

・シリコンシーリングは、確実に行なう。
（シリコンシーリングを確実に行なわないと水漏れの原因となります。）

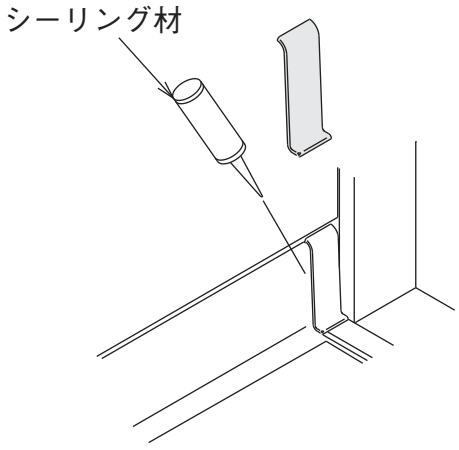
②ドア前カバーをはめ込んでください。（向きに注意してください。）




③ドア隅化粧キャップを取り付けてください。

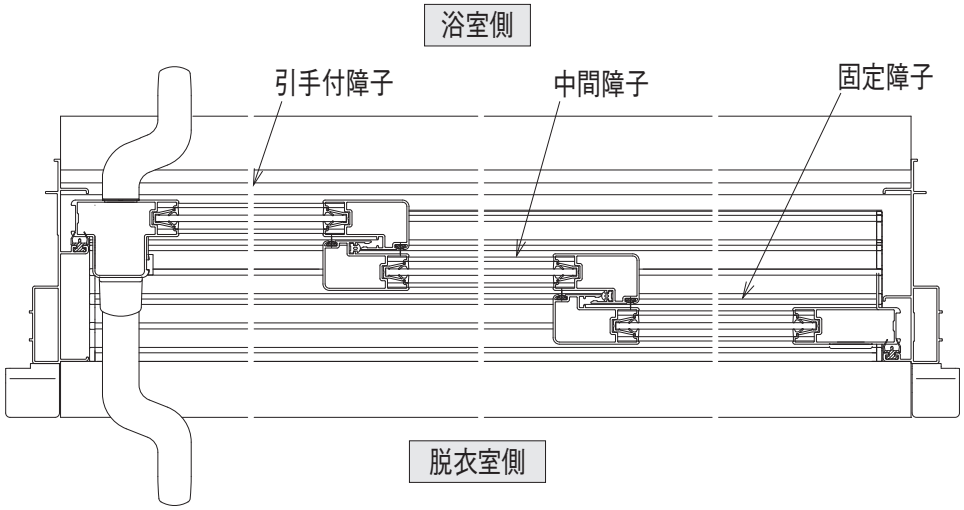


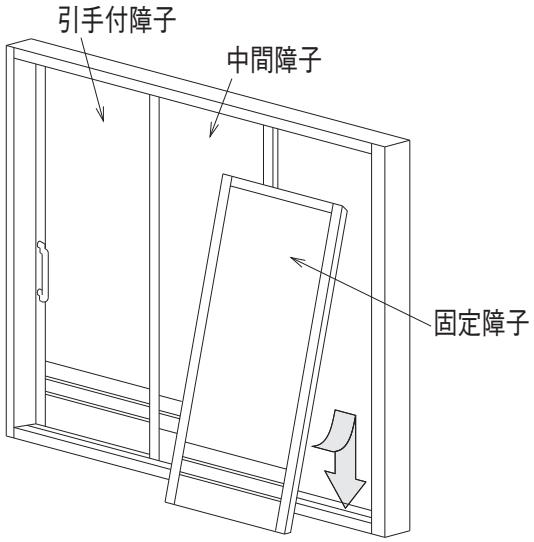

④ドア隅化粧キャップ部にシリコンシーリングをする。

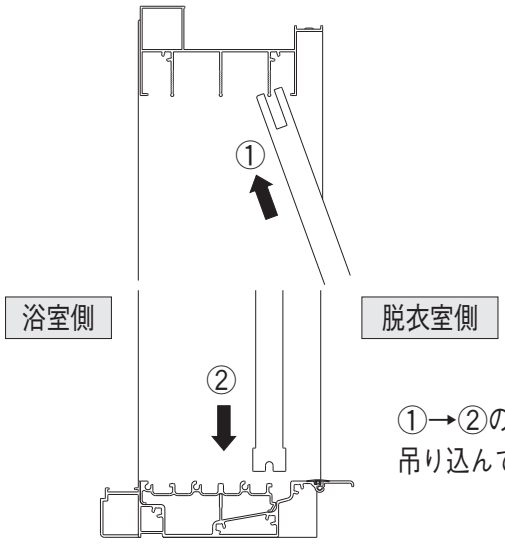


# ドアの吊り込み

・障子を引手付障子→中間障子→固定障子の順に吊り込んでください。



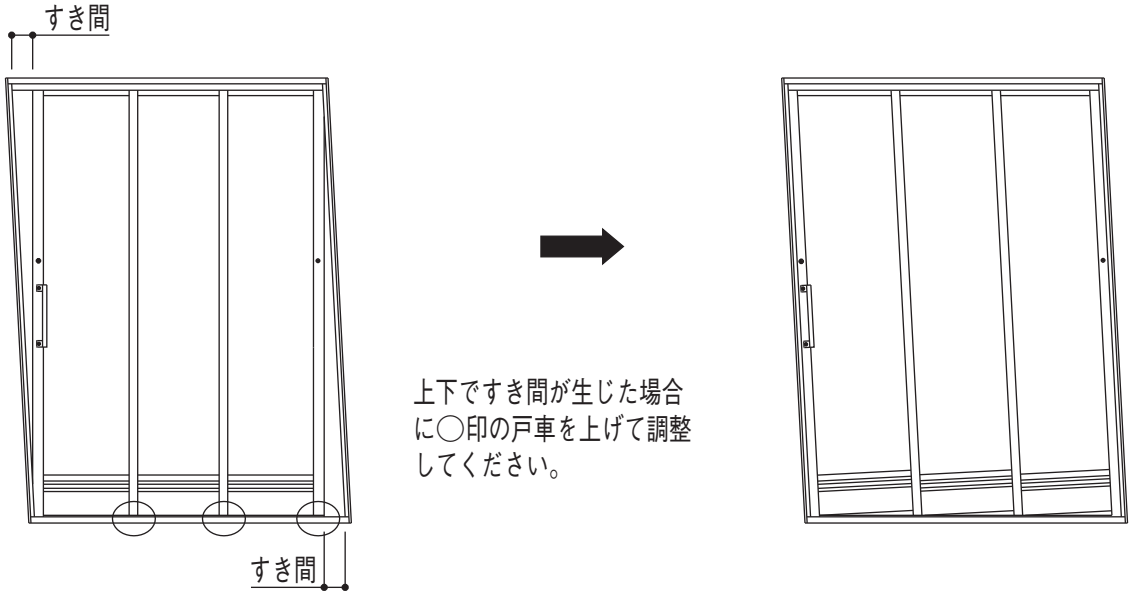



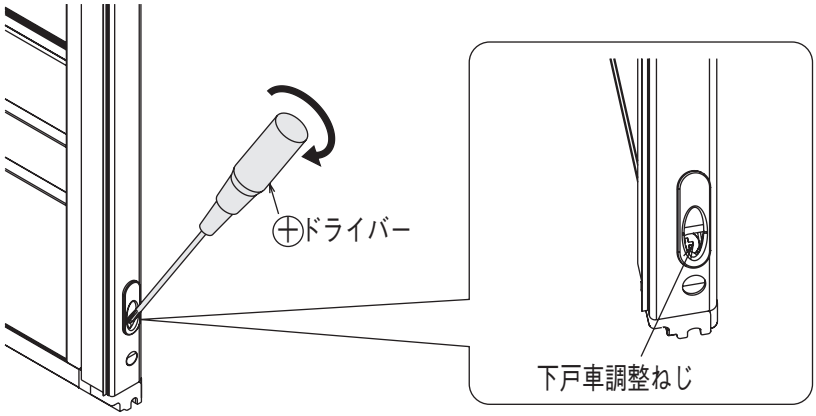




①→②の順にケンドン式で障子を吊り込んでください。

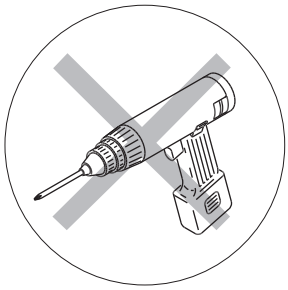
# ドアの戸車調整

・取り付け後、建付が悪い場合、戸車を上下することで調整してください。
※⊕ドライバーで戸車調整ねじを時計回りに回すと障子が上がります。（3.5㎜まで調整可能）
・引き戸の戸車調整は、枠の対角差がずれ、縦枠と障子の間にすき間が生じたり、3枚引き戸で障子どうしの戸当りが片当りする際に行ないます。



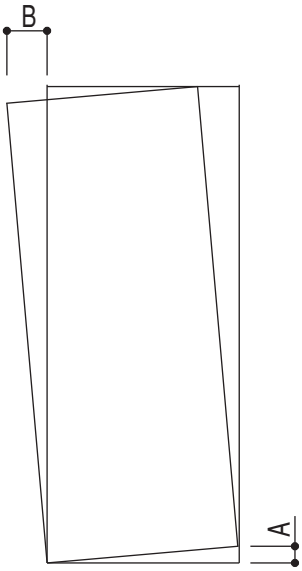




電動ドライバー禁止



施工上のご注意

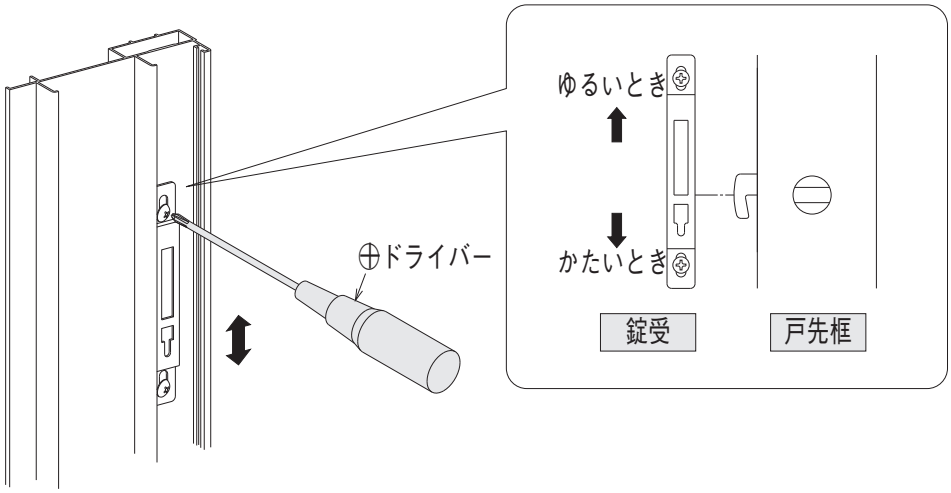
・調整ねじの初期設定は障子が一番下がった状態です。
初期設定から反時計回りに回しても障子は動きませんのでご注意ください。
・電動ドライバーを使用するとねじの頭がつぶれ、戸車調整が出来なくなりますので使用しないでください。




戸車の初期状態は一番下がった状態に設定されています。右回しで最大3.5㎜まで上げることが可能です。
1回転で約0.6㎜上がります。
障子の長短比の関係から調整量はA：B＝1：4が目安です。

# ドアの軸受け調整

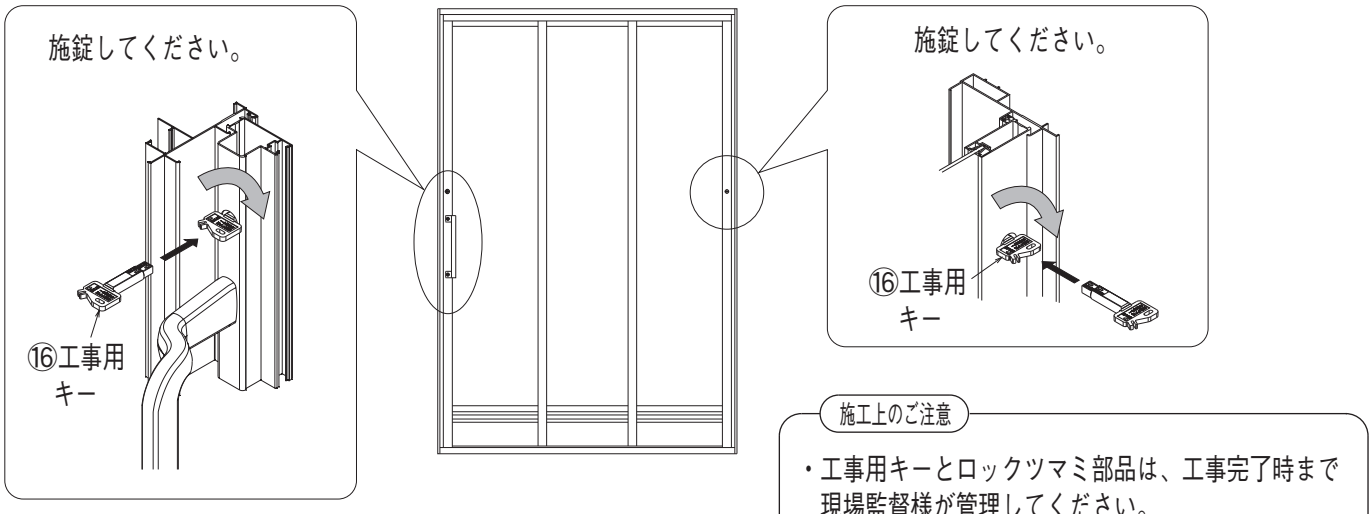
・錠のかかりが悪い場合、錠受け取付ねじを⊕ドライバーでゆるめて上下方向に調整し、再度ねじを締めなおしてください。




施工上のご注意

・鎌錠の首部下面が、錠受け側のリブ上面と同じ高さになるよう調整してください。

# 引手付および固定障子の固定

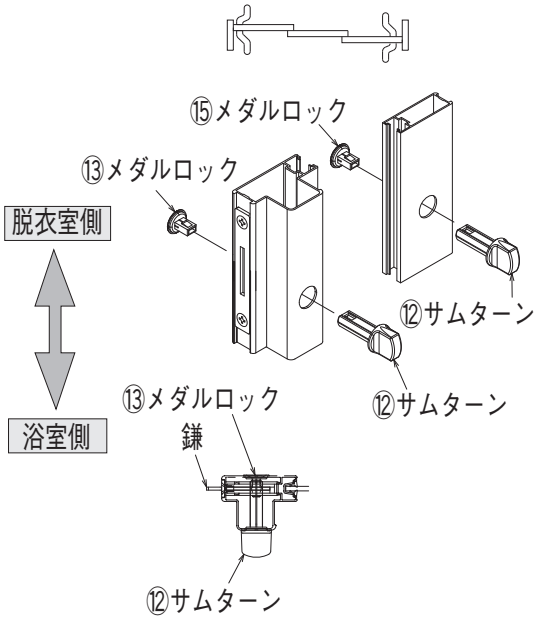



施工上のご注意

・工事用キーとロックツマミ部品は、工事完了時まで現場監督様が管理してください。

# 錠部ツマミの取り付け

・工事完了後、ロックツマミ部品を浴室ドアへ取り付けてください。




施工上のご注意

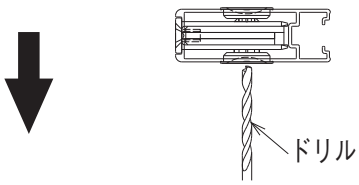
大型引手が取り付く戸先框へは
- 浴 室 側…サムターン
- 脱衣室側…メダルロックとなるよう必ず取り付けてください。

※誤って内外逆に取り付けてしまった場合は、サムターンのツマミ部をウエスなどで覆ってからペンチで引き抜き、再度図の向きに取り付けてください。

# 錠の交換方法（参考）

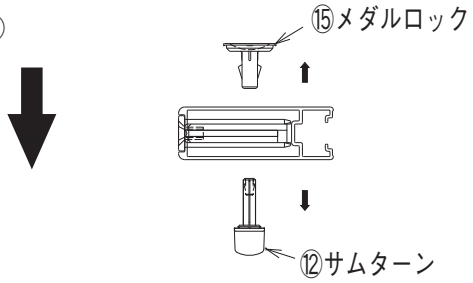
・錠が万一、壊れる等して交換が必要な際は、下記の要領で取り替えてください。

①



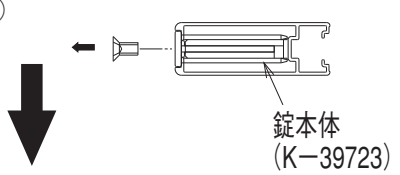

● φ5位のドリルでメダル回しの中間部に穴をあけ、貫通させてください。

②




● メダルロックとサムターンを図のようにして取りはずしてください。

③




● フロントのねじをはずし、次に錠ケースをはずしてください。

④ 逆の手順で新しい部品を取り付けてください。

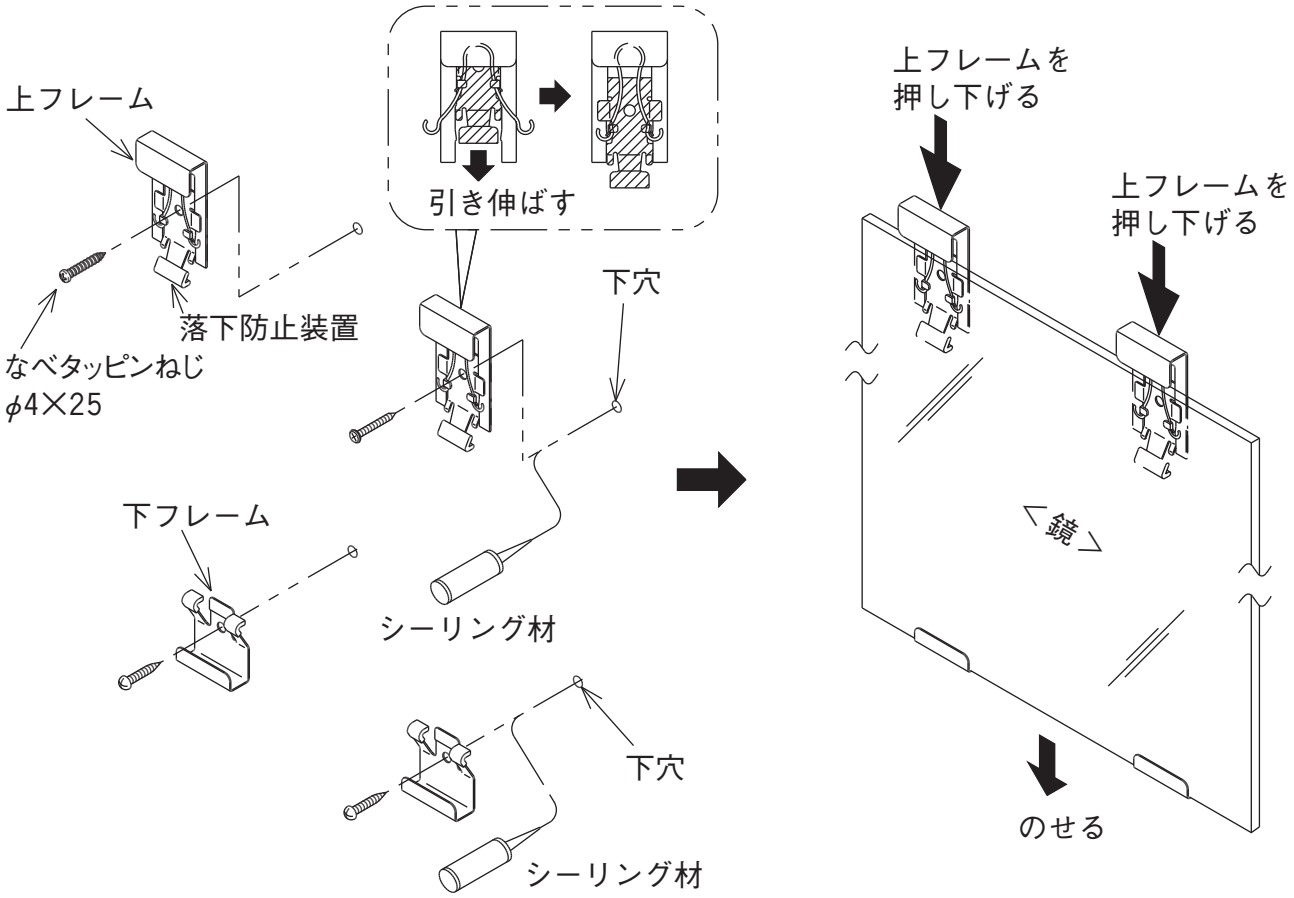
# 縦型鏡の取り付け

1.下フレームを付属のビスにて固定する。(4カ所)

2.上フレームの左右2カ所にある落下防止装置を引き伸ばし、上フレームを付属のビスで固定する。(4カ所)

3.鏡裏面に貼り付けている両面テープのはくり紙をはがし、鏡を下フレームにのせる。

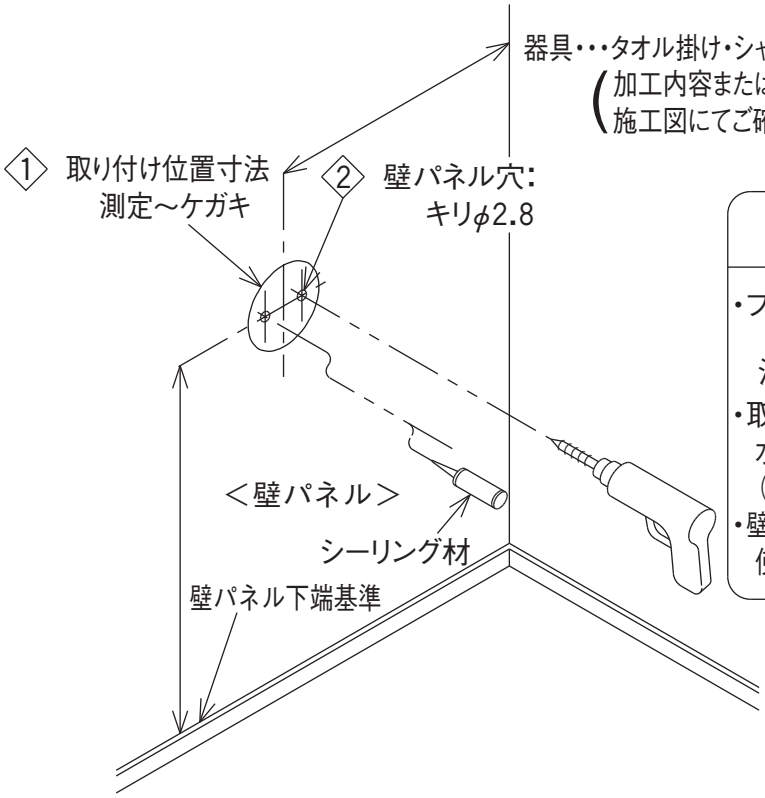
4.鏡を壁に押しつけながら、上フレームを押し下げる。




## ⚠注意

| | |
|---|---|
| 必ず守る | ・鏡受け金具取り付けの際、下穴に必ずシーリング材を注入してください。<br>(シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。)<br>・鏡および鏡受け金具は取付指定位置に確実に取り付けてください。<br>(確実に取り付けないと、使用中に外れたりしてケガの原因となります。) |

# 器具取り付け用穴あけ




## 施工のポイント

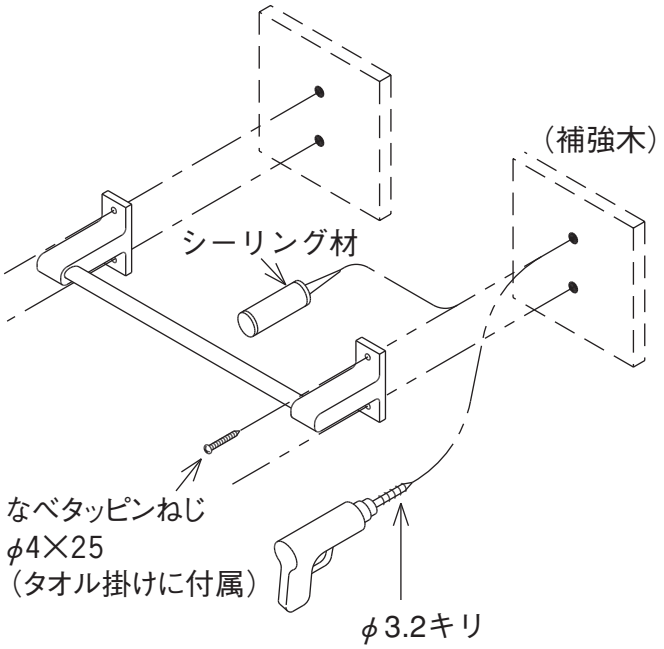
・フィッシャーアンカーは使用しないでください。

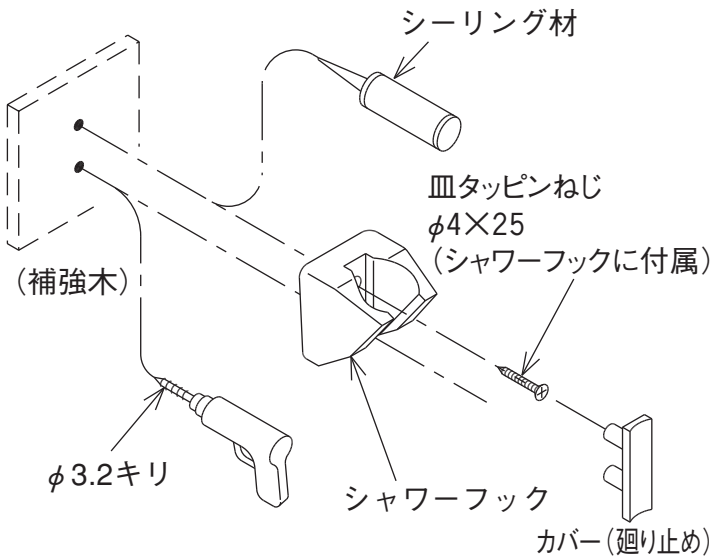
注意

・取り付け位置寸法のケガキは、鉛筆（シャープペンシル）又は水溶性の筆記具を使用してください。
（穴あけに必要な最小範囲でケガキをしてください。）
・壁パネルに補強木が施されている箇所の穴あけのキリはφ3.2を使用してください。（補強木の有無は施工図にてご確認ください）

# タオル掛け（オプション）・シャワーフック（混合水栓）の取り付け

＊取り付け位置は施工図にてご確認ください。



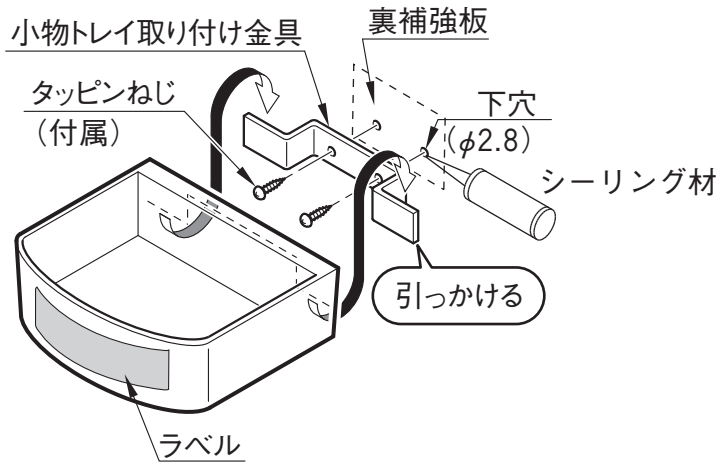




## ⚠注意

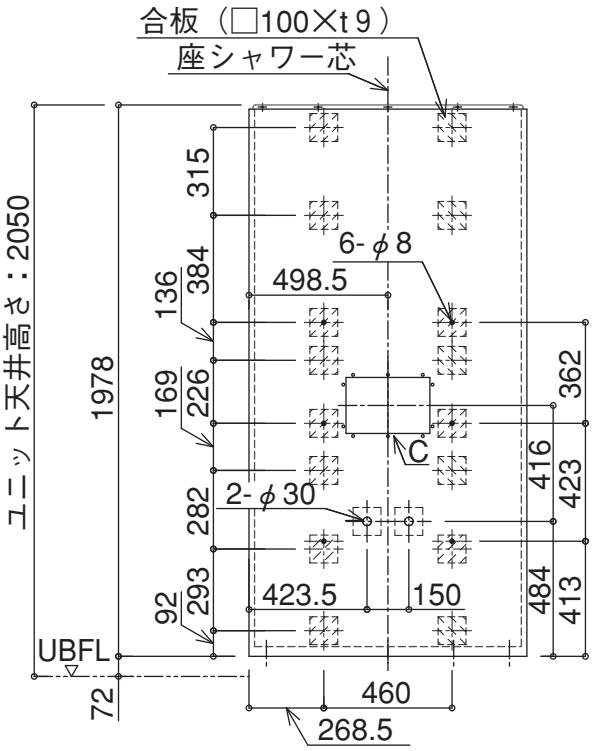
必ず守る

・器具取り付けの際、下穴に必ずシーリング材を注入してください。
（シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。）
・タオル掛け・シャワーフックを取り付け指定位置に、確実に取り付けてください。
（確実に取り付けないと、使用中に外れたりしてケガの原因となります。）

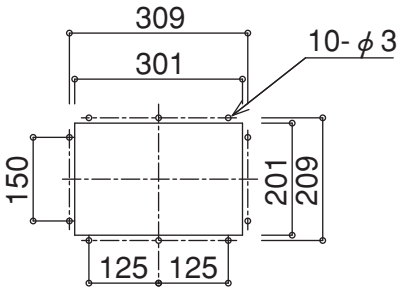
## 小物トレイの取り付け




## 座シャワー：補強金具の取り付け

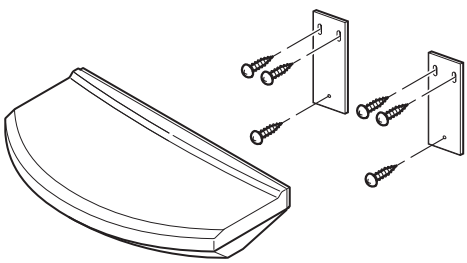


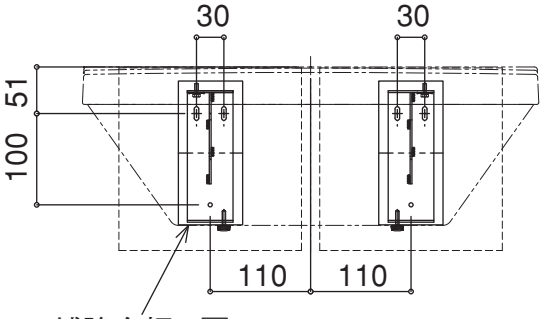

座シャワー：補強金具取付加工高さ




C部詳細図（壁点検口加工）

## 洗面器置き台の取り付け





## 混合水栓の取り付け

※施工手順に従い混合水栓を取り付けてください。
取り付け方法は混合水栓同梱の施工説明書をご覧ください。

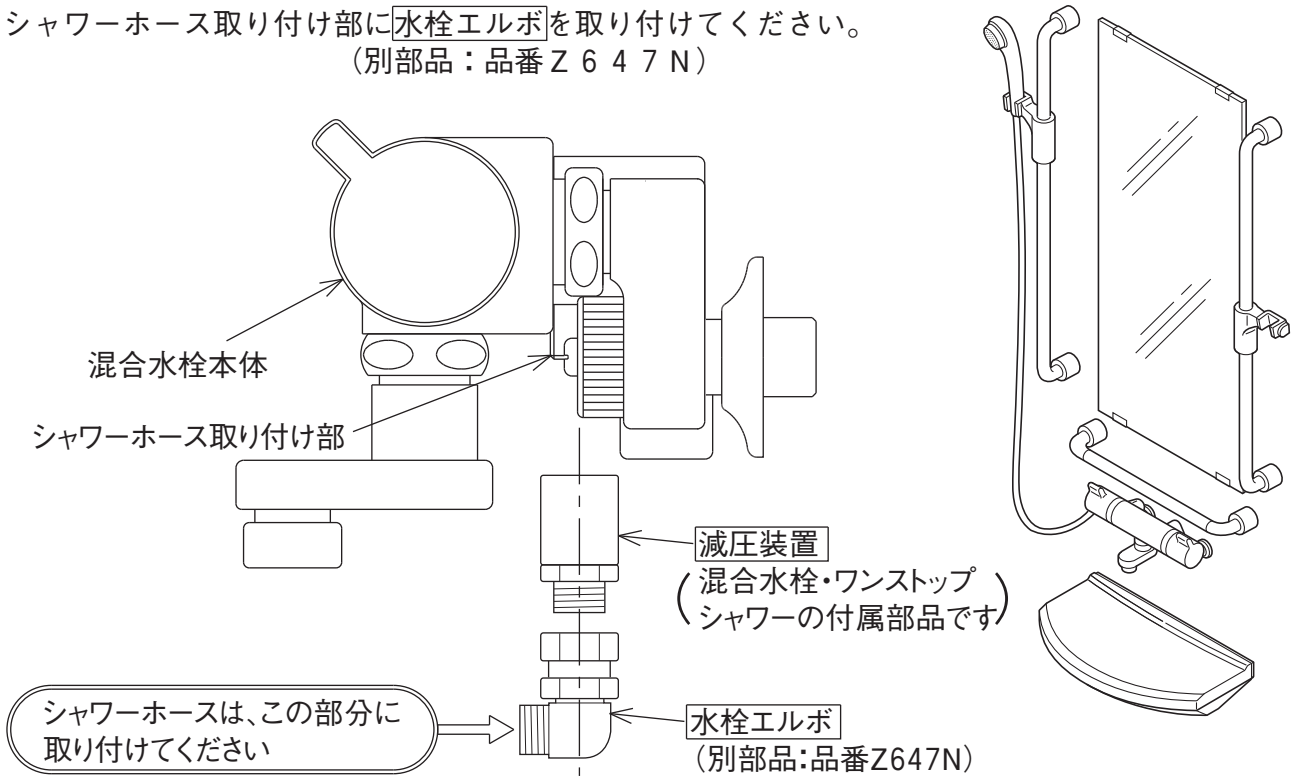
### 施工のポイント

・混合水栓本体の組み立てにつきましては混合水栓に同梱の施工説明書をご覧ください。
・混合水栓の取り付け時期は設備配管の水圧テスト・通水時期工程の打合せ調整の上、決定してください。

---

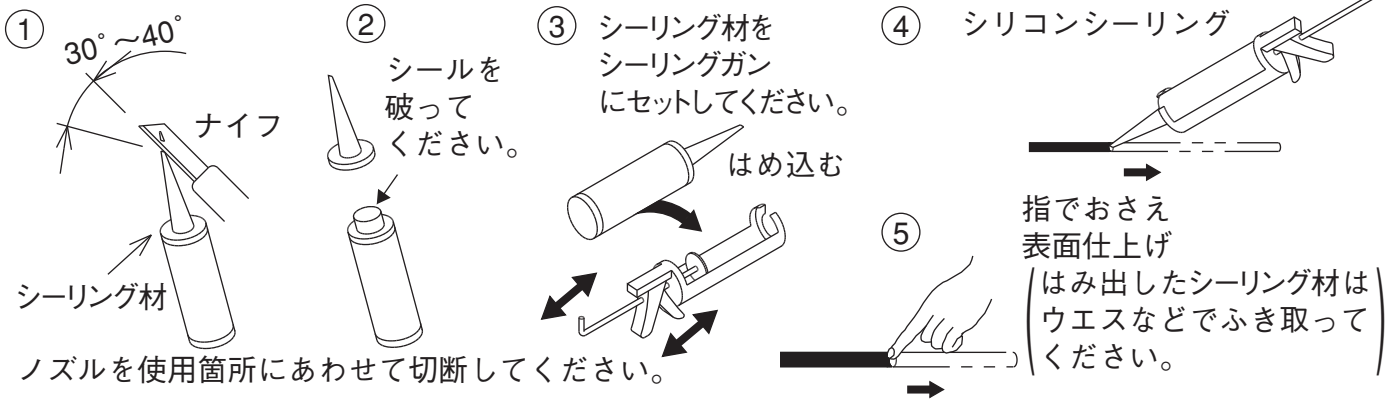
## 水栓エルボの取り付け

・シャワーホース取り付け部に水栓エルボを取り付けてください。
（別部品：品番Ｚ６４７Ｎ）



# シリコンシーリング

（シール幅に合わせて養生テープ貼り付け後に実施）




ノズルを使用箇所にあわせて切断してください。

（はみ出したシーリング材はウエスなどでふき取ってください。）

## ⚠注意

必ず守る

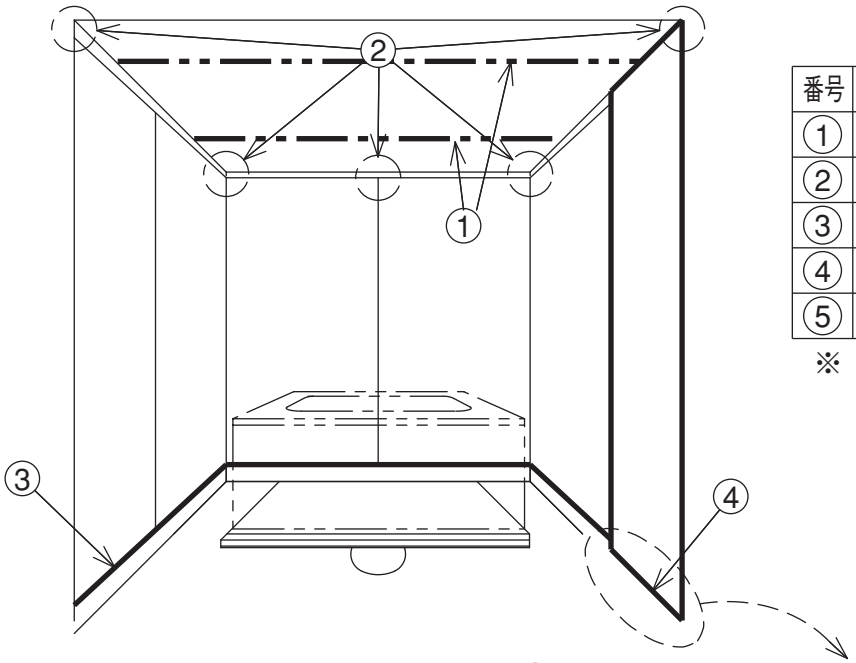
- シリコンシーリング箇所の汚れ、水分等は事前にきれいにふき取ってください。
- シリコンシーリングの必要箇所は確実にシリコンシーリングを行なってください。

（必要箇所にシリコンシーリングをしないと水もれの原因となります。）

## 施工のポイント

- パッキンとシーリング材の併用止水部については中部に空気が入り込まないよう、ゆっくりとシリコンシーリングを行なってください。

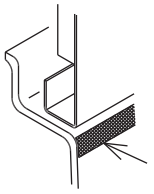
**（注） 同梱のシーリング材を必ず使用してください。**




| 番号 | 部　位 | 品番（色） |
|---|---|---|
| ① | 天井ジョイント部 | GVR5111（ホワイト） |
| ② | 天井廻し縁～壁目地接合部 | |
| ③ | 床～壁取り合い部（全周） | 壁柄に統一（下表参照） |
| ④ | ドア枠廻り（上部以外） | |
| ⑤ | 器具類取り付けビス穴 | |

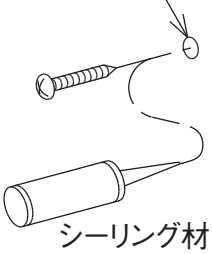
※ ② はP45を参照ください。

床・洗い場側にはマスキングテープを使用してください。

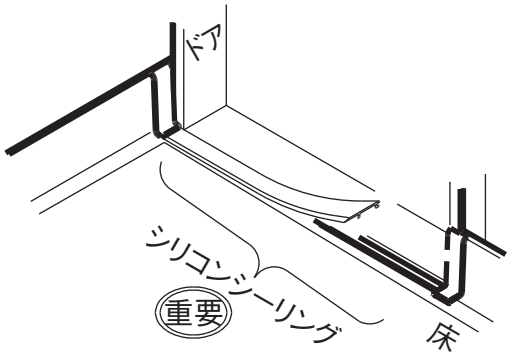


マスキングテープ
（品番:GD7721）
（小物セットに同梱）

⑤ 器具類取り付けねじ穴



シーリング材

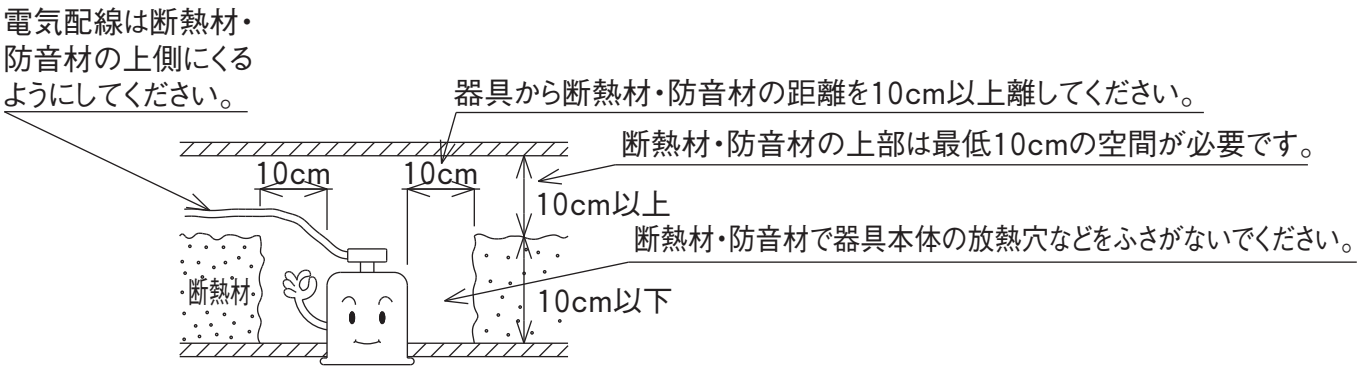



| 全周 | 品番（色） |
|---|---|
| ライトノーブルウッド柄 | VA231066（ライトベージュ） |
| サニーベージュ柄 | VAGVR5111（ホワイト） |
| パラレルピンク柄 | VAGVR5111（ホワイト） |
| パラレルグリーン柄 | VAGVR5111（ホワイト） |

| アクセントパネル | | 品番（色） | |
|---|---|---|---|
| アクセントパネル | 周囲パネル | アクセントパネル（間） | 周囲パネル |
| ライトノーブルウッド柄 | サニーベージュ柄 | VA231066（ライトベージュ） | VAGVR5111（ホワイト） |
| サニーベージュ柄 | パラレルホワイト | VAGVR5111（ホワイト） | VAGVR5111（ホワイト） |
| パラレルピンク柄 | パラレルホワイト | VAGVR5111（ホワイト） | VAGVR5111（ホワイト） |
| パラレルグリーン柄 | パラレルホワイト | VAGVR5111（ホワイト） | VAGVR5111（ホワイト） |
| パラレルホワイト | ライトノーブルウッド柄 | VAGVR5111（ホワイト） | VA231066（ライトベージュ） |
| パラレルホワイト | パラレルピンク柄 | VAGVR5111（ホワイト） | VAGVR5111（ホワイト） |
| パラレルホワイト | パラレルグリーン柄 | VAGVR5111（ホワイト） | VAGVR5111（ホワイト） |

# 断熱材．防音材をご使用の場合の施工上のご注意

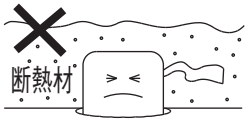
・ダウンライト施工上のご注意。




## ⚠注意

禁 止

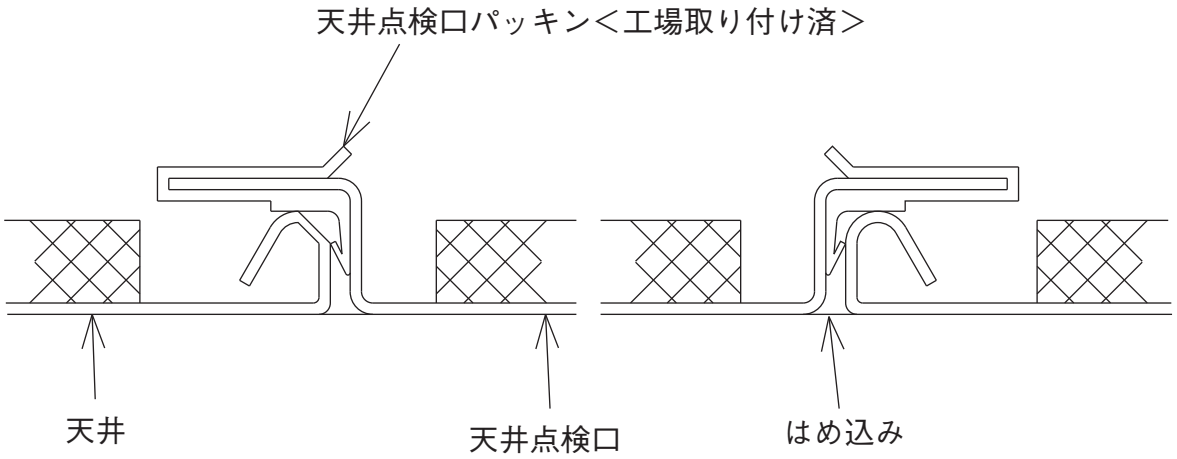
・ダウンライトには、断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。
（火災の原因となります。）




# 通水（排水）チェック

通水～排水のテストは通水日、パイプシャフトの開栓順序、階別順序など
詳細打合せの上、通水～排水状態、水もれの有無を確認してください。

## 点検口取り付け




（養生フィルムは必ず取り外してください。）

### 施工のポイント

・養生フィルムは必ず取り外してください。
・その際、天井点検口パッキンをはずさないよう注意してください。

---

## 清掃仕上げ

取扱説明書・スノコ支え
床排水口カバー・お手入れラベル貼り付け

清掃仕上げは通水、通電その他現場の仕上げ状況を確認、打合せの上、着手してください。養生材や残材などは前もって搬出し、各部の清掃とあわせて混合水栓の止水状態、床、壁、天井、建具、器具類、の損傷の有無も点検してください。

・床～排水トラップ、浴槽等は工事中のゴミ、砂などがたまる場合があります。必ず点検してください。

・床パン、浴槽部は水洗いしてください。（各目地部のシーリング完了まで水洗いは厳禁）水洗いでおちない汚れは「中性洗剤」や「リグロイン」などで拭いてください。（中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。）

・壁、天井部は隅々まで布ふきしてください。

・水洗い時に器具類にかかった水滴は乾いた、きれいな布で拭きとってください。

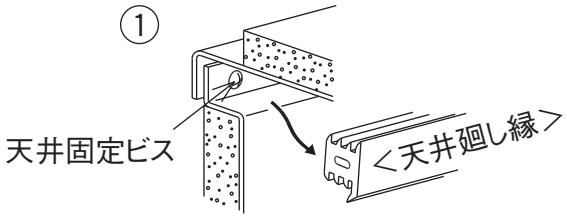
・床排水口（トラップ）に床排水口カバーをセットしてください。

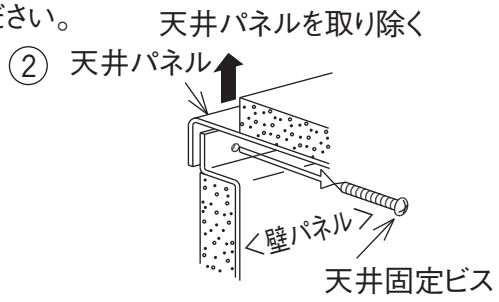
・"件名No.ラベル"・"使用上のご注意ラベル"・"床排水口お手入れラベル"・"エプロン脱着ラベル"などを指定位置に貼ってください。（次ページ参照）

・"取扱説明書"はタオル掛け、ドアノブなどに取り付けてください。

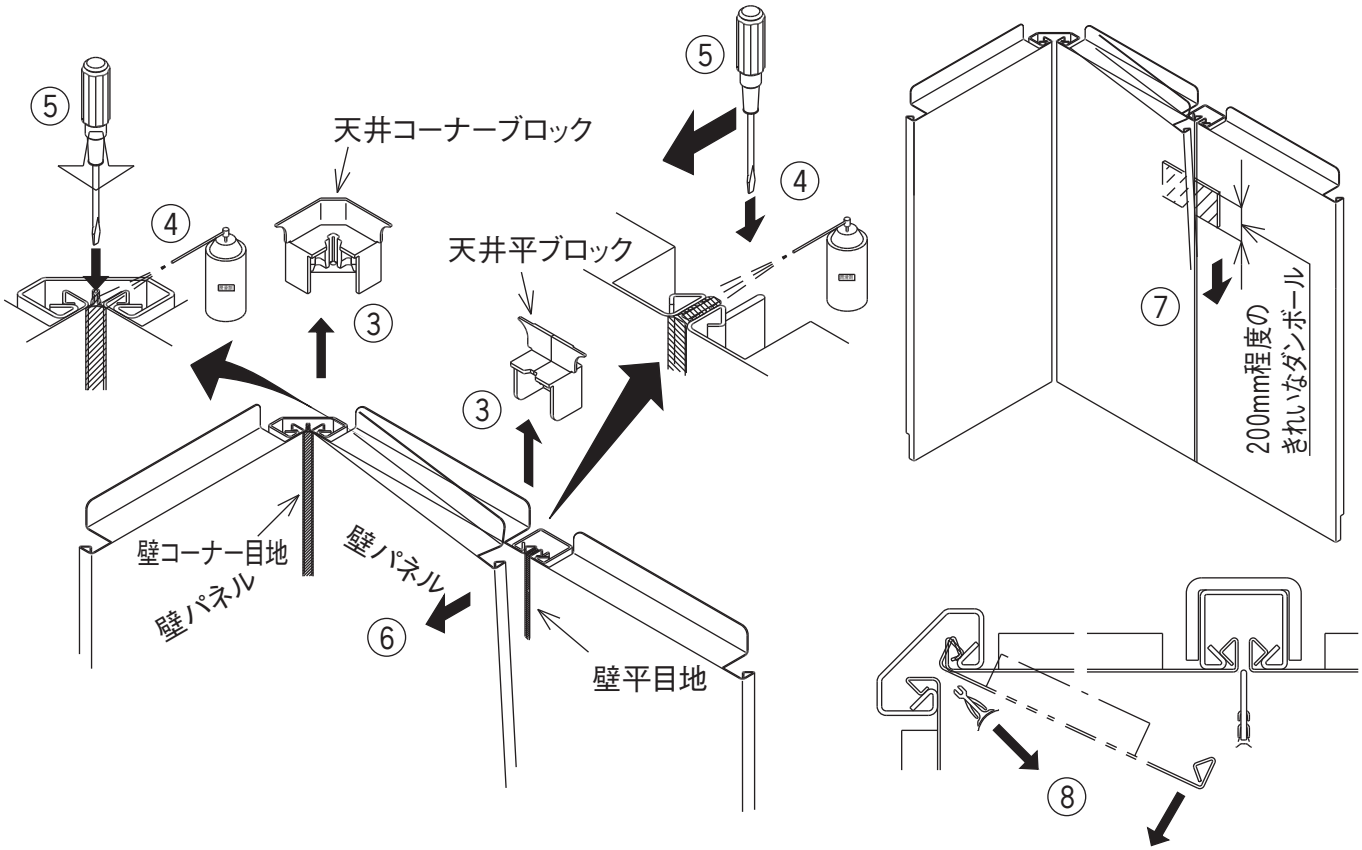
# 乾式目地の取り外し方

① 天井廻し縁を取り外してください。
② 天井固定ビス取り外し、天井パネルを取り除いてください。




③ 天井コーナー・平ブロックを取り外してください。
④ 潤滑剤を壁コーナー・平目地のヒレ部に、噴きつけてください。
（潤滑剤） 呉工業（株） KURE CRC 5―56
⑤ マイナスドライバー等で、目地を引っ掛け、先端部を引き抜いてください。
⑥ 平目地側の壁の上部を持って、引っ張ってはずしてください。
⑦ 壁とのスキマに、きれいなダンボールをはさんで下にスライドし、壁と平目地をはずしてください。
※壁及び目地を折らないように少しずつ慎重にはずしてください。
⑧ コーナー目地は一方の壁をはずして折りたたむようにすると簡単にはずせます。




## ⚠注意

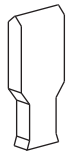
| | |
|---|---|
| 必ず守る | ・目地を取り外した後、再び目地を挿入する場合は、<br>壁パネルに付着した潤滑剤を、十分に拭き取ってください。<br>潤滑剤を噴きつけた目地は、たとえ外観に問題のない場合でも、<br>再使用をしないでください。<br>（目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。） |

# ビスセット

| | | | セット品番 | VAGVR4161 |
|---|---|---|---|---|
| 品番 | 名称 | 仕様 | 用途 | 数量 |
| GN7211 | なべ小ねじ | ISO　M4×16 | 天井ー天井 | 9 |
| GVR8114 | ドリリングなべタッピンねじ | φ4×16<br>(株)ヤマヒロ　ジャックポイント | ドアジョイナー、他 | 16 |
| GN7281 | 9の字ナット（小） | ISO−4 | 天井ー天井 | 16 |
| GVRY121 | スペーサー | t=1　硬質塩ビ | ドア枠、<br>カウンター調整用 | 20 |
| GVRY122 | スペーサー | t=2　硬質塩ビ | ドア枠、<br>カウンター調整用 | 20 |
| GN7230 | 十字穴付きなべタッピンねじ | φ4×20　SUS304 | 壁ー天井、<br>エプロン固定金具 | 53 |
| | 十字穴付きトラスタッピンねじ | φ4×10　SUS304 | エプロン固定金具、<br>浴槽補強金具 | 12 |
| RL9568 | 平パッキン | EPDM　色：白 | エプロン固定金具、<br>浴槽補強金具 | 12 |
| | ナイロンワッシャー | タッピンねじ用セット　W5<br>KOV06　5×12　t=1 | エプロン固定金具、<br>浴槽補強金具 | 12 |
| | 十字穴付きドリリングトラスタッピンねじ | φ4×16　SUS304 | 浴槽補強金具 | 4 |
| | なべ小ねじ | ISO M6×10　SUS304 | サイドエプロン固定用 | 6 |
| | スプリングワッシャー | M6　SUS304 | サイドエプロン固定用 | 6 |
| | ワッシャー | M6　SUS304 | サイドエプロン固定用 | 6 |

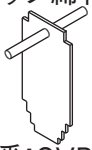
# 施工に必要な工具

目地打ち込み治具



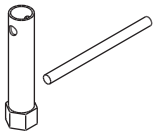
（品番:GN9121）

トラップ締付工具



（品番:GVR7102）

浴槽側アジャスターナット固定治具

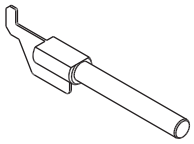


（品番:GVR7101）

水栓固定金具
締付工具

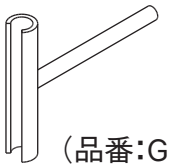
（品番:GR818188）

梁欠き施工治具



（品番:GN9294）

ドア調整工具

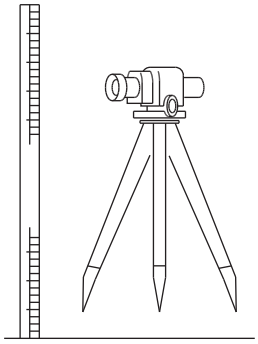


（品番:GR818111）

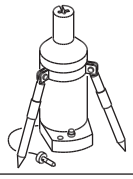
アジャスターボルト調整レンチ

（品番:GD7301）

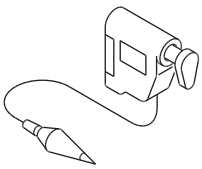
レベル



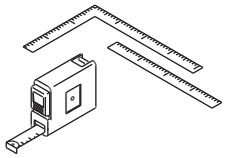
レーザー墨出器



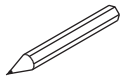
下振り（2ケ）



コンベックス・鋼尺

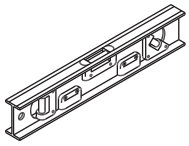


鉛筆（ケガキ用具）

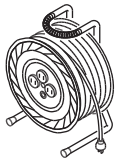


墨つぼ・墨さし

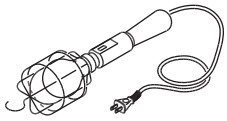
水平器



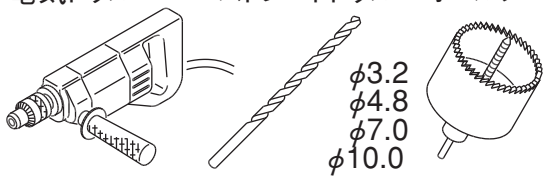
キャプタイヤードラム



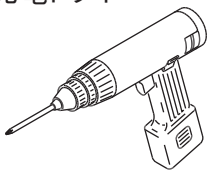
作業灯



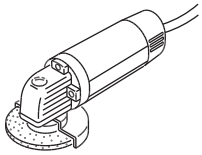
電気ドリル　ストレートドリル　ホールソー



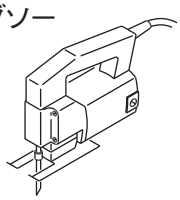

充電ドライバー



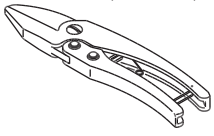
サンダー



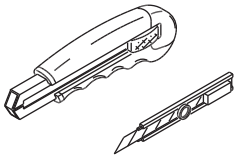
ジグソー



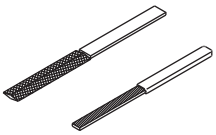
天井廻し、目地用
カッター（ハサミ）



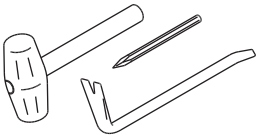
カッター（大・小）



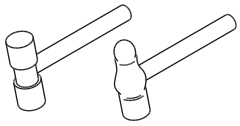
ヤスリ（中目・細目）



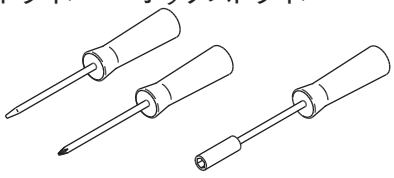
チス・ハツリハンマー
バール（1.5m）



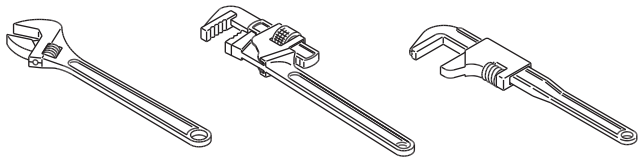
プラスチックハンマー
・片手ハンマー



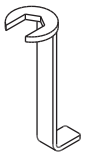
ドライバー・ボックスドライバー



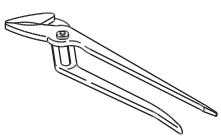
モンキーレンチ・パイプレンチ・モーターレンチ



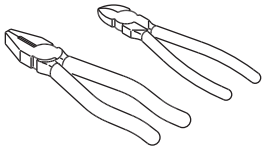
水栓用L型レンチ



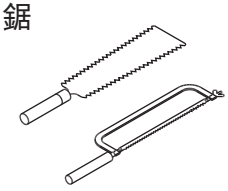
アンギラス



ペンチ・ニッパー

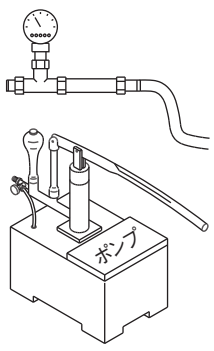


鋸



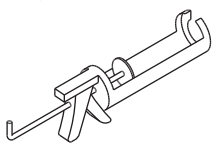
バケツ・スポンジ
・ウエス

水圧テストポンプ

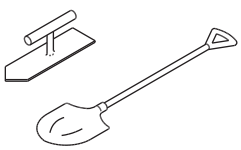



脚立

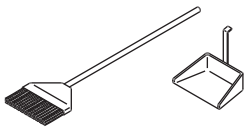
シーリングガン



金コテ・スコップ



ほうき・ちりとり



MEMO

MEMO

□ 施工後のチェック

本表は、施工後に行なう検査チェックリストです。本表に従いチェックしてください。
（物件毎の組み合わせにより該当しない部位もあります。）

| 項　　目 | チェック |
|---|---|
| 1.床・浴槽・カウンターに傷・割れはないか | |
| 2.壁・機能パネルに傷・割れ・変形はないか | |
| 3.天井に傷・割れ・変形はないか | |
| 4.電球のランプサック（電球保護カバー）は取り外されているか<br>（火災の原因となります。） | |
| 5.照明グローブのゆるみ、照明カバー固定用化粧ねじのゆるみはないか | |
| 6.各器具の取り付けは行なったか、各器具にガタツキはないか、点灯に異常ははないか | |
| 7.シーリング材の必要箇所にシリコンシーリングは行なったか | |
| 8.目地の浮き、はずれはないか（天井廻し縁、壁目地、浴槽目地等） | |
| 9.水張り試験は行なったか、排水トラツプ接続部・排水管の水もれはないか | |
| 10.給水・給湯管、水栓固定金具からの水もれはないか | |
| 11.浴槽の浮き・ガタツキはないか | |
| 12.鏡の取り付けにガタツキはないか、鏡受金具のかかりは確実か | |
| 13.握りバーは確実に固定されているか | |
| 14.ヘヤーキャッチ・排水口カバー等は正しく取り付けられているか | |
| 15.配管点検口は正しく取り付けられているか（ある場合） | |
| 16.天井点検口は正しく取り付けられているか | |
| 17.ラベルを所定の位置に貼り付けたか | |
| 18.取扱説明書はタオル掛・ドアノブ等に取り付けられているか | |
| 19.ドアに傷・割れ・変形はないか、開閉はスムーズか | |
| 20.ドア開閉時にフラップが正常に作動しているか | |
| 21.ドアのレール部分が清掃されているか、<br>ドアヘアキャッチにゴミ等が詰まっていないか | |
| 22.逆止弁付フロートが正しく取り付けられているか、ゴミ等が詰まっていないか | |
| 23.雑排水管の勾配を1'10"（1.17°）に確保できているか | |

浴槽の廃棄処分について

人造大理石およびFRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
浴槽の取替え等では、浴槽の材質をご確認ください。

お願い

床パンに貼り付けた養生フィルムは、施工引き渡し直前まで外さないようお願いします。

パナソニック株式会社　エコソリューションズ社
エイジフリービジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2013